

地方史情報 138

2019年4月

社告 冊子版「地方史情報」次号で終刊とします。

すでに「新刊ニュースの裏だより」でお知らせしているように、この「地方史情報」は次号（139号、2019年9月刊行予定）をもって、冊子版の発行を終刊とします。現在も冊子版と同じ内容をPDF版で岩田書院のウェブサイトで公開していますが、以後はPDF版での公開のみとなります。ご了承ください。

近年は、冊子版の発行頻度が年に3回程度になってきて、情報の公開が遅れていましたが、これからはPDF版更新の頻度をあげて最新の情報をお伝えできるようにしますので、今後とも、雑誌・図書をご寄贈くださいますよう、お願い申し上げます。

また、本誌の情報をもとに『地方史文献年鑑』を刊行していますが（最新版は、2017年版、2018年10月刊、通巻21巻）、これは継続刊行します。こちらも引き続きご協力くださいますよう、お願い致します。

なお、冊子版の終刊にともない、毎年この時期にお送りしていた年間購読料送金用の郵便振替用紙は、今年からは同封しません。創刊（1997年6月）以来22年、長い間、ご支援ご協力いただき、ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

前記のように、「地方史情報」PDF版は引き続き刊行致しますが、ひとまず、冊子版終刊のご挨拶とさせていただきます。

2019年4月

岩田書院 岩田 博

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目
1-1 コーポ望 TEL011-728-6400 年5000円

◇69 2018.8 B5 12p

第22回アイヌ語地名研究大会終わ

る／平成30年度 定期総会終わ

る「アイヌ語地名の風景」会

報に連載(新規企画)

ボンとポロとホロの解釈 山下 栄光

謎のアイヌ語地名「クロマント」

の一考察 山本 修平

鳴海英之さんの主な著書

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11

TEL011-761-8014 年3000円 1985年創刊

www2.ocn.ne.jp/~history/

◇64 2018.10 B5 80p 1000円

表紙絵図 飛蝗を描いた『北海道

蝗害報告書』(明治15年1月、開

拓使札幌勧業係編)

巻頭言 屯田兵からの伝承文化 後藤 良二

決意新たに開村140周年祝う 江

別屯田兵村遺族会会長 田村邦

雄さん 聞き手・梶田博昭

北海道農法と屯田兵(下)―「三澤

日記」に見る兵村の農業

杉村賢一／江口憲人

人物点描 北海道における戦前の

歴代長官・県令の足跡 武石 詔吾

一節抜粋 森山祐吾著『りんご侍

と呼ばれた開拓者』(K)、前田

桂子著『北海道開拓を支えた高

知県人』(H)

古地図の散歩道

北海道蝗害國郡圖(明治14年)

随風飛翔 越山踰水の痕跡 梶田 博昭

道都札幌は軍隊が置かれたまち

一北の守りの屯田兵 遠征の足

跡をたどる 田澤 道雄

屯田兵のデザイン考 もやい井戸

(新琴似屯田兵中隊本部展示)

兵村の絆を生んだ思い相い

屯田兵の父 永山武四郎の生涯を

辿る(上) 北国 諒星

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220

hokkaido-bunkazai.jp 1961年創刊

◇368 2018.7 A4 8p

レプンアツモリソウのいま 藤澤 隆史

探検家・上川開拓の先駆 高畑利

宜展を見る 舟山 廣治

6月2日 文化財講演会 歴史家

と写真家のまなざしに想う「北

海道史が問われること」―地貌

は読み解かれたであろうか 北室かず子

ことはじめ 日本最古の稼働セメ

ント工場 森 靖裕

北海道150年記念式典 8月5日

きたえーる 早田 武志

博物館ひろば 羅臼町郷土資料館

「羅臼のひかりごけ」の保護増

殖と展示活用 天方 博章

◇369 2018.9 A4 8p

天狗の火渡り(積丹町美国神社) 阿部 剛

道内文化財めぐり 普及・啓発に

大きな成果 充実した資料と解

説／施設の内部見学と案内 田山 修三

北海道150年記念式典 舟山 廣治

足寄動物化石博物館20年 デスモ

スチルスの変身をめざして 澤村 寛

「木彫り熊」ことはじめ

八雲の木彫り熊 大谷 茂之

特別展「タカシマアイヌを描いた

絵巻物」 菅原 慶郎

博物館ひろば

模索続く 浦幌町立博物館 持田 誠

定着した共同開催 “今年はお城”

石堂 聡

城郭の魅力紹介 新谷 慈啓

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大

学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇145 2018.10 B5 84p

元禄八・九年飢饉下の弘前藩にお

ける牢死について(上) 館山 誠

書評と紹介

関根達人著『墓石が語る江戸時

代 大名・庶民の墓事情』長谷川成一

福田友之著『東北北部先史文化

の考古学』工藤 清泰

佐藤信・小口雅史編『古代史料

を読む』上・律令国家篇、下・

平安王朝篇 黒須友里江

本田伸著『シリーズ藩物語 八

戸藩』 薦谷 大輔

小口雅史編『古代国家と北方世

界』 鈴木 琢也

『青森県史 通史編1 原始・古

代・中世』(原始～縄文) 須藤 隆

『青森県史 通史編1 原始・古

代・中世』(中世) 伊藤 清郎

『青森県史 通史編2 近世』 兼平 賢治

『青森県史 通史編3 近現代

民俗』(近現代) 竹永 三男

『青森県史 通史編3 近現代

民俗』(民俗 総論) 川島 秀一

史料紹介 ジョン・イングによる

弘前初の洗礼記録 北原かな子

二〇一八年度東北史学会・弘前大

学国史研究会 合同大会記事

考古学部会

ロシア極東における新石器時代

の石器使用痕研究の実践と課

題 鹿又 喜隆

小川原湖周辺地域における縄文

早期貝塚の一樣相―青森県三

沢市山中(1)貝塚発掘調査成

果から 齊藤 慶史

沖縄県北谷町平安山原B遺跡出

土の亀ヶ岡系土器の製作地と

製作者 関根達人／柴正敏

出土イネの形態・DNA分析か

らみた東北における稲作の普

及 上條信彦／田中克典

X線マイクロトモグラフィーに

よる北東北地方縄文時代晩期

の藍胎漆器研究の進展

片岡太郎／上條信彦

青森県内出土中世馬の動物考古

学的研究 植月 学

日本古代中世部会

天平十五年金光明最勝王經転読

と陸奥国一福島県江平遺跡出

土木簡再考 堀 裕

古代日本における禁物規定と鉄

一日唐関市令の比較を中心に

武井 紀子
日本古代の水上交通と駅路一日
本海地域の交通路に着目して
堀内 和宏
聖寿寺館跡発掘調査からみえる
三戸南部氏の成立と最盛期の
様相 布施 和洋
古代畿外寺社の存在形態 五十嵐健太
日本近世近代史部会
一九三〇年代の盛岡における多
目的催事の変遷—公会堂から
百貨店へ 加藤 論
高照神社の宮内小人の神社業務
と生活の様相—青森県史編さん
グループ蔵「葛西家文書」
の紹介を通じて 薦谷 大輔
近世後期における大名「直捌」
の実態—弘前藩主津軽信明と
秋田藩主佐竹義和を事例に 清水翔太郎
寛政期における弘前藩領の山林
をめぐる諸相—山方と郡方の
対立を中心に 萱場 真仁
明治維新期外様分家大名におけ
る隣藩関係—七戸藩を事例に
中野渡一耕
「団子坂研究会」の非武装中立論
大谷 伸治
大久保利通と明治一〇年改革 小幡 圭祐

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊
◇275 2018.6 A4 8p
文化財が語る郷土の歴史(1)
萩内遺跡 土偶(重要文化財) 金子 昭彦
文化財保護制度の見直しについて
鎌田 勉

毛越寺の「刀八毘沙門天」 藤里 侑生
折爪岳のヒメボタル生息地 柴田 知二
北上川赤石渡船場について 長澤 聖浩
国指定名勝 イーハトーブの風景
地(4)「イギリス海岸」 酒井 宗孝
わが館の文化財(8) 芦東山記念
館 受け継がれた『無刑録』と
芦東山の理想 小味 浩之
被災地の発掘調査現場から(14)
間木戸Ⅰ遺跡 村田 淳

◆市史せんだい 仙台市博物館
〒980-0862仙台市青葉区川内26
TEL022-225-3074 1992年創刊
www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/
◇28 2018.9 A5 112p 500円
表紙写真解説 伊達輝宗日記(部
分)天正2年4月27日～5月2日 黒田 風花
慶長遣欧使節の目的をスペインと
の軍事同盟とする説について 平川 新
日本フィギュアスケートの発達と
仙台 菅原 友子
史料紹介
伊達政宗文書・補遺(12)
資料紹介 高橋親夫氏寄贈写真
—震災後の仙台の風景
『市史せんだい』収録論考総覧

◆道鏡を守る会 道鏡禅師を知ろう
道鏡を守る会
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方 TEL0229-22-7364
年3000円 1985年創刊
◇41 2018.9 B5 92p+ 1000円(抄)
道鏡講演会「行基と道鏡」概要 根本 誠二
供養祭二十首詠
道鏡禅師供養祭 はぎわらけんじ
八尾・奈良探訪旅行

弓削、志紀 故 弓削 達雄
由義寺跡への旅 田中 昭一
大和川の合流点に立って 佐藤紀代子
大阪弁、河内弁 藤村 望洋
唐招提寺拝観を知り 田村新太郎
称徳天皇陵 山口 久幸
称徳天皇陵はいずこ 田中 龍夫
称徳天皇陵比定をめぐり 杉本 信之
三悪人考 本田 義幾
「悪人説」発生時期に関して 田中 龍夫
道鏡さん、発掘、守る会 田村新太郎
互いに会に行く末を案じながら 幾島 一恵
「守る会」と「顕正」に関して 渡辺 力栄
目や体で確かめる事、発掘調査、
連携へ 森本 裕之
古代政変と疫病 和気 正芳
藤原百川寸考 船生 史郎
道鏡事件の真相と和気清麻呂の処
遇 和気 正芳
宇佐八幡神託事件はなかったか 大塚泰二郎
都造宮と河川のはたらき 和気 正芳
道鏡の出自をめぐって 中西 康裕
寒九の水で献盃
—大竹敏子氏を悼む 船生 史郎
弓削治氏のご逝去を悼みます 本田 義幾
おせわになりました 池田みどり
孝謙・称徳天皇生誕1300年に取り
上げるにあたって
「雑密」(古密教)と「純密」 森本 裕之
発掘から見た由義寺・由義宮(探
訪旅行時) 樋口 薫
道鏡借用經典一覧 根本 誠二
道鏡探究のために 本田 義幾
道鏡事件の背後にあるもの 荊木 美行
弓削浄人と弓削道鏡について 森本 裕之

◆東北文化研究室紀要
〒980-0862仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科 1959年創刊
◇59 2018.3 B5 87p
一般的信頼の形成において、多様
性は必要なのか?—大学生のサ
ークル・クラブを対象とした実
証的研究 鈴木 伸生
特集 東北の多文化社会を生きる
序—東北から多文化社会を考え
る 川口 幸大
日本人の多文化社会に対する意
識 永吉希久子
東北で働くブータン人技能実習
生 栗田 陽子
在日外国人のエンパワーとメン
タルヘルス—公益財団法人宮
城県国際化協会の活動を事例
として 一條 玲香
外国人結婚移住女性と「東北の
多文化共生」—「他者化」と
「不可視化」を乗り越えて 李 善姬

◆東北民俗 東北民俗の会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
学大学院文学研究科 宗教学研究室
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊
tohokuminzoku.com
◇52 2018.6 A5 110p 1000円
家屋敷と俗信—身近な異界と境界
常光 徹
釣師浜の震災前後の漁業 川島 秀一
防潮堤と屋敷神
—気仙沼市の事例から 小野寺佑紀
黒川郡大和町鶴巣地区ますざわ講
の伝承—話が伝わることと生ま
れること 小田嶋利江
現代における伊達政宗を祀る神社
の祭礼と観光化 劉 建華
「どんと祭」運営資料における使

用物品の分類と記述について：
宮城県仙台市泉区の事例から 高橋 嘉代
オオカミに守られている村
一福島県飯館村の狼信仰 石黒伸一朗
岩手県仙仙地方の鹿踊
一鹿踊伝播の歴史と特徴 及川 宏幸
岩手のチャセゴとカセドリ 稲 雄次
死者の弔いをめぐる司祭と信徒の
まなざし—中新田ハリストス正
教会の「木製十字架」の事例を
通して 佐崎 愛
第52回柳田賞の受賞について 佐藤 敏悦

◆ナジェージダ (希望)

石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方 TEL045-773-4643
deracine.foo.jp/wakamiya/
◇40 vol.17 2018.8 A4 32p
特集 高橋大輔講演会『漂流の島
極限を生きる』
講演会報告 本間 英一
「そこまでやる人」のすごさ 小林 郁
日刊誌「石巻かほく」連載『善六
ものがたり』第一部の挿絵
『善六ものがたり』第一部の全
挿絵
挿絵を描いて 太田 和美
石巻専修大学と若宮丸漂流民 石
巻専修大学図書館と『若宮丸』
資料展示について 千葉 直美
鎖国と死罪 佐藤三寿夫
23年前の石巻の風景 木村 成忠
新刊紹介 亀井功『文人の測量家
内藤多郎助』 小林 郁
自著紹介
『戦国日本の大航海時代』 平川 新
『北越戦争—戊辰戦争150年

宮城・中津山の侍たち』 阿部 和夫
戊辰戦争と若宮丸漂流民 大島 幹雄
シリーズ平成の善六(2)
ロシアで暮らした四半世紀 新井 滋
ゴンザのテレビ番組 木村 成忠
フェアバンクス便り 北極圏雑魚
釣りフルコースキャンプ 河内 牧栄
サンクトペテルブルク訪問 滝川 和美
牡鹿半島漂流記(4)
掘り起こす記憶と記録 太田 和美
もう一度観ておきたいこの一本
ハウ・シャオシェン「非情城市」
瀬之口政志

◆歴 史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大
学院文学研究科 日本史研究室
TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊
www.saltohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
◇131 2018.10 A5 74+26p
日本列島における前期旧石器時代
石器群の様相 柳田 俊雄
明天啓・紫綬期の考成法 時 堅
陸奥国における京都系の土器に関
する考古学的研究—多賀城跡出
土の古代末期の土器 館内 魁生
書 評
松尾剛次著『中世観尊教団の全
国的展開』 菅田 慶信
塩谷順耳著『秋田地方史の諸問
題—中世から近世へ』 白根 靖大
紹介 市川理恵著『正倉院写経所
文書を読みとく』 五十嵐健太
本会会長小野善彦先生の訃 浅岡 善治

◆秋田近代史研究会会報

〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 TEL018-807-3290 1958年創刊

www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm
◇180 2018.8 A4 4p
2018／春季研究会終わる
2018春季研究会研究報告要旨
秋田県の色街における公娼と私
娼 小松 和彦
秋田県の郡役所制度—調査研究
にあたって 柴田 知彰
横手市の公文書館問題について 高橋 務
史料保存利用問題シンポジウム
参加記 柴田 知彰
新刊紹介 小松和彦『村を守る不
思議な神像』、工藤一紘『小説
露月と子規』、『NHKスペシャ
ル 本土空襲全記録』

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8
秋田文化出版内 TEL018-864-3322
1973年創刊
◇44 2018.7 A5 35p 1389円
ナマハゲ伝導士養成考—ナマハゲ
伝導士認定試験を事例に 鎌田 幸男
たつこ伝説と信仰をめぐる問題 小田島清朗
オデンサマのこと 石郷岡千鶴子
書籍紹介 渡辺修著『秋田県の力
士像 力士さん見て歩き』 石郷岡千鶴子

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文
化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊
◇122 2018.6 B5 4p
式内社副川神社の北方移転につい
て 佐々木英雄

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55

古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇90 2018.5 B5 51p
内田先生との出会い 鷺谷 良一
「白山ノ源」(『混雑当座右日鈔』)
探訪 金沢 大士
キリシタン伝承覚書—『筆のまま
に』所収「船板のほとけ」の周
縁的問題 星野 岳義
菅江真澄と同時代の人々・人見蕉
雨と駒木根駒民 清水川 修
真澄が記録した小正月行事(2)
—予祝・ト占儀札行事を読み解
く 菊地 利雄
菅江真澄が見た能代や三種町周辺
の昔と今—「遊覧記・図絵」から
布施 久敬

真澄の一枚(22) 蛇頭骨と義経・
弁慶の笈 『粉本稿』より(大
館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄

◆北方風土 北方風土社

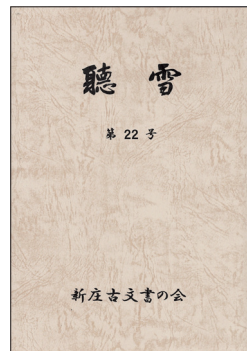
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇76 2018.6 A5 164p 2000円
戊辰戦争一五〇周年記念
戊辰戦争秋田戦線と箱館府との
関係—清水谷公考関係文書等
による新事実 神宮 滋
「武器拝借願」秋田藩長兼取締
・小野崎三郎の一考察(上)—
「戊辰戦争・秋田口」収束後
の軍事的状況を考察する 佐藤真喜夫
秋田出身「吾妻兵治」って何者？
加藤慎一郎

雪のアラカルト(3) 稲 雄次

マタギは真田鬼か 石山 憲二
 生保内節考 小田島清朗
 伊豆山神社・長福寺と鶴の羽形城 高橋富美雄
 「太平記」に見る常陸江戸氏祖・那珂通泰の奮闘と石見国の争乱 那珂 通義
 青森県八戸地方の中世の修験者たち 松橋 由雄
 家康書状の取次に活躍した鷹商の田中清六 神宮 滋

◆聴雪 新庄古文書の会
 〒996-0084山形県新庄市大手町2-65 大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊
 ◇22 2018.6 B5 110p
 大友義助講師逝く 新庄古文書の会三十周年を前に 大庭 英一
 特集 追悼「大友義助先生のご逝去を悼んで」
 特集を編集するに当たって 大庭 英一
 遺稿(1) 特別寄稿「私の古文書漫步」 秀吉・家康・義光の判物(その2)／「巳荒子孫伝」との出会い 大友 義助
 遺稿(2) 一粒一滴「言葉の謂れ」 付け木／松脂蠟燭／鋏台・械鋤／吹雪どり餅・雀こ餅／塵竈／そばえる 大友 義助
 大友義助先生を偲んで 回想の中から 伊藤 勉
 大友義助先生を偲んで 土屋 道郎
 大友義助先生と接した三年間 小嶋 智恵
 ありがとうございました 武田 晴美
 入門講座の学習(講師 大友義助・伊藤善一) 金山町一紙文書九点一佐藤家・松田家文書(解説 井関恭雄・小嶋智恵・

大津純一・武田晴美・神崎清次・佐藤寿也・伊豆倉公子・阿部一)
 解説 伊藤 勉
 印字 解説文(伊藤善一)・解説文(伊藤勉)
 入門講座の学習(講師 伊藤善一) 真室川町旧川内村新田家文書十四点(解説 佐藤周一・大友寿美代・早坂武昌・箱山伶・成澤清久・大場英一・川田健介)
 解説 土屋 道郎
 印字 解説文(伊藤善一)・解説文(土屋道郎)
 中級講座の学習(講師 大友義助・伊藤勉) 古瀬本『古老覚書 巻六』(解説 杉原實・大山昭徳・梁瀬平吉・武田清夫・沓沢正昭)
 遺稿(3) 解説 大友 義助
 印字・解説文(新國吉朗)／解説文(大泉友子)
 「人相書き」について 新國 吉朗
 新庄家中屋敷割絵図から 土屋 道郎
 「ふるさと古学野外研修」―横手内蔵の町「増田」の旅 武田 晴美



*2018年2月に89歳で逝去した大友義助氏を追悼し、特集する。同氏は山形県新庄市内の県立高校教諭・校長、県立博物館学芸員・館長などとして勤務する傍ら、20年余に亘って新庄市教育委員会が開催する古文書市民講座の講師を務めた。講座は1988年度で打ち切りとなるが、4月から、同氏の下で学んだ受講生(大友学級)が自主運営する形で、新庄古文書の会に発展させた。同氏は引き続き、亡くなるまで解説学習の指導に当たった。講座は当初地元古文書を中心とする中級講座として設けられ、会員数は毎年16人ほどであったが、1997年からは初心者にも親しめるようにと入門講座を併設したこともあり、現在では30人に増えている。何よりのことである。1997年には、前年度の学習成果を発表する場として『新庄古文書の会会誌』(年刊)を創刊し、第10号(2006.7)から現誌名に改題した。その命名も同氏によるもので、そこには、励まし学び合いながら、雪の音に耳を傾けるようにして古文書から先人たちの暮らしの声を掬い取ろうとの思いが込められている。
 同氏は『最上郡大蔵村小屋家文書：清水河岸史料』(大友義助、1968)を始め、膨大な著書と論文を遺している。事務局長 大場英一氏の「特集を編集するに当たって」によれば、古文書のみならず民俗分野にも取り組み、現場主義、原典主義を貫いて、専門的なものから一般向けまで多岐にわたり、中でも『新庄藩：羽州山間の厳しい風土に耐えて二四七年。動植物と共生した、自然への畏敬がいまこそ活きる。』(現代書館、2006、シリーズ藩物語)は、内容が濃く、それでいて読み易い市民向け著作の代表作であるという。会発足30年の節目の年に亡くなったのは残念であるが、冥福を祈るとともに、「大友学級」の継承を願ってやまない。

◆村山民俗 村山民俗学会
 〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 年3000円 1988年創刊
 www.geocities.jp/murayamaminzoku/
 ◇32 2018.6 B5 64p
 村山地方のシャーマニズムと極東ツウバの共通性(2) 鈴木 聖雄
 肥前長崎への旅日記 一道中での見聞と体験 野口 一雄
 東北地方の大黒さま行事・習俗を考える 菊地 和博
 前明石・堀込地名考(2) 清野 春樹
 アイヌが関わる「鮭の王の頼み」伝説の文献学的検討 村田 弘
 米沢藩領中山村絵図覚書補綴 岩鼻 通明
 仙台での「民話 ゆうわ座」という試み 小田嶋利江

◆村山民俗学会 村山民俗学会
 〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 TEL023-623-5687 年3000円
 www.geocities.jp/murayamaminzoku/
 ◇321 2018.7 B5 4p
 「三山登山案内」本道寺で創られた鳥瞰図(3) 岩鼻 通明
 昭和初期に於ける冬期間の年中(民俗)行事(3) 鈴木 聖雄

◆米沢史学 米沢史学会
 〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内 TEL0238-22-7330
 ◇34 2018.10 B5 183p
 《松田澄子教授 退職記念号》
 松田澄子教授の略歴と主要な業績
 米沢藩における上杉憲政の祭祀―怨霊から御家擁護神への転換 加藤 昌人
 村落定書の源流―注置状と置文 蘭部 寿樹

上杉神社所有大般若経の調査・研究
上杉神社所有大般若経の概要と
他本との比較について 藤田 励夫
上杉神社所有大般若経の伝来に
関する考察 角屋由美子
上杉神社所有大般若経にみられ
る連蔵院と関連事項について
宮田 直樹

史料紹介
「延暦貳一年金剛」銘の石碑に
ついて 清野 春樹
史料翻刻 福嶋県磐城国田村郡
移村字北移・宗像家文書
木村朱里／田村知華／原淳一郎
史料翻刻 文政三年十二月伊勢
参宮道中記(その二)
日本史学科第六研究室
明応七年丹波国山国莊黒田下村
の紛失定書二通 藺部 寿樹
『看聞日記』現代語訳(13) 藺部 寿樹

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history.fcp.or.jp
◇51 2018.6 A4 4p
戊辰戦争期の二本松藩と「広瀬静
樹家文書」 山田 英明
越後「五ヶ浜大工」阿部政蔵の足
跡 小野孝太郎
戊辰戦争期の会津領絵図と会津へ
の関心 小野孝太郎
県庁文書に記された世良修蔵暗殺
の顛末 渡邊 智裕
山川浩が取りまとめた磐梯山噴火
の義捐金 渡邊 智裕
沼沢湖のヒメマス、大正期の移植
藤谷 誠

◆ふぉーらむ・F 福島県民俗学会
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内 2011年創刊
fukushimafolklore.jimdo.com
◇8 2018.9 A4 4p
平成30年度総会報告
平成30年度公開講演会報告 「は
やま信仰の多様性について―福
島県の事例を中心に」 鈴木昭英
氏 二本松文雄
研究会報告
山口拓氏「会津の飴づくり」 富田 陽介
丹野香須美氏「天井に描かれた
民俗」 大里 正樹
シンポジウム参加記 「震災復興
における民俗芸能の役割と継
承」に参加して 齋藤りほん
Column 『山口弥一郎伝』の執筆
を目指して 江本 侑生

◆フークトープ通信 フークトープ通信社
〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12
号室 山田英明方 2015年創刊
◇26 2018.8 A4 2p
ユニークな町史『おだかの歴史』 若松丈太郎
フークトープ紀行(26)
塙代官所跡(塙町) 赤井 武史

関 東

◆茨城史林
茨城地方史研究会(発売:筑波書林)
〒310-0053茨城県水戸市末広町1-5-39
久信田喜一方 年3000円 1972年創刊
◇42 2018.6 A5 125p 1111円
地方史研究と史料保存 久信田喜一
古代常陸国河内郡嶋名郷について
久信田喜一
生方鼎斎殺害事件と金子健四郎

あさくらゆう
天文期における佐竹義篤の動向
一岩城氏・白川氏・那須氏との
関係を中心に 藤井 達也
『明治五年七月二十七日の炎 水
戸城放火』補遺―松延清之介の
自殺 小林 富雄
文政三年「遊歴雑記」に見る土浦
・牛久・取手・筑波 近江 礼子
史料調査版調査報告 鉦田市田山
文書・行方市大場家文書・水戸
市名越家文書の調査 久信田喜一
新刊紹介 永井博著『古文書で見
る幕末維新と徳川一族』 久信田喜一

◆史 境 歴史人類学会
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人文社会系内
TEL029-853-4047/4403 1980年創刊
◇75 2018.3 A5 86p 2000円
雑誌『アカネ』の再検討
一三井甲之研究の結論として 横川 翔

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
〒304-0056茨城県下妻市長塚乙77
TEL0296-43-3418 1976年創刊
◇43 2018.5 A5 129p
下妻三高と筑波山への特別な思い

川口 浩己
植木 正明
塔のもつ魔力
高野山奥之院に所在する多賀谷重
経の墓について 佐久間秀樹
飯村丈三郎と水戸鉄道の南線・北
線問題 塚越 節
四分の一桐壺源氏 笠島 明
研修視察記 五浦の六角堂・野口
雨情生家 粉川 孝

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇88 2018.6 A5 52p
青山延寿の号と『堦簾小集』 渡邊 拓也
幕臣の見た水戸―中神守節の「歌
林一枝」から 久野 勝弥
「水戸城下屋敷割圖」に水戸藩士
を追う 四 齋藤 郁子
誤謬の踏襲―金沢文庫と金沢八景
の研究をめぐる 梶山 孝夫
本丸随想 名越 時正
「東湖先生の反面」所収書翰正誤
表 宮田 正彦
「水戸史学既刊目録」(承前)

◆歴史文化研究(茨城)
歴史文化研究会(茨城)
〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-B
205 三石善吉方 TEL047-345-5323
年5000円 2014年創刊
◇5 2018.7 A5 136p
近世平須村の年貢の変遷 吉田 俊純
「潜規則」としての贈り物文化 関口 順
史料紹介 伊東甲子太郎の長州寛
典建言書について 千葉 隆司
会員の新聞紹介 渡辺義浩『三国
志よりみた邪馬台国―国際関係
と文化を中心として』 吉田 俊純

◆史 談 安蘇史談会
〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方 TEL0283-24-3232
年2000円 1985年創刊
◇34 2018.5 A4 282p
口絵写真説明 年末詳正月二六日
及び年末詳九月一八日豊臣秀吉
朱印状・佐野信吉宛 (海老原)

巻頭言 文化財の保存と活用の両
立を図りたい 海老原脩治
鏑木清方と三遊亭円朝が旅をした
田沼・唐沢山など 海老原脩治
県会議員田中正造の「勸業」伸張
活動 茂木 克美
史料紹介 森鷗村発行の『文明新
誌』(2)『文明新誌』第一号所
載の文章について 廣木 雅子
大川ノブ先祖を語る 大川 圭吾
忘れられた佐野小唄 篠崎 澄子
河口湖、そして甲斐の旅 松中 清子
師走の北海道周遊の旅、戊辰戦争
で最後の戦いとなった箱館戦
争、五稜郭の戦いの地・函館を
訪う 岡田 清
茶の湯と天命釜
天命鑄物師江田家の系譜 江田 薫
『犬の伊勢参り』について 永島 正夫
田沼家の家紋考(意次研究余話) 関根 徳男
「朝鮮通信使図絵馬」の奉納動機
一絵馬研究者としての見解 坪井 利剛
鷲川上流の水路について 川田 春樹
史料紹介 もう一つの高瀬家文書
高瀬家文書と山崎家文書 鴨志田智啓
古代および中世における下野国安
蘇郡の鷹場―『沙石集』にみえ
る鴛鴦塚物語を中心に 海老原脩治
ボーイスカウト日本連盟山中野営
場閉場式に寄せて 佐野常羽と
中央指導者実修所創設への道 大高八三郎
東国の覇者毛野豪族 高橋 昭夫
歴史に消えた青磁―高麗青磁が辿
った歴史の道(研究論文の為の
試論) 陳 賢 徳

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2

栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1992年創刊
◇27 2018.7 A4 109p 2000円
表紙写真 三井寺物語絵巻 上巻
(部分) 唐沢山神社所蔵 山本 享史
巻頭言 明治一五〇年を迎えて 荒川 善夫
本会第二七回大会関連論文
建築空間から読み解く信仰世界
一輪王寺常行堂をてがかりと
して 富島 義幸
日光山輪王寺常行堂阿弥陀如来
及四菩薩坐像について 大澤 慶子
瀧尾奉納の浄土三部経をめぐっ
て―中世日光山と地域社会 佐々木 茂
下野の板碑と中世的信仰世界の
転換 齋藤 弘
戦国期の銭阿寺領経営 中田 愛
『輪王寺文書』における「上様」の
語義について 小池 勝也
史料紹介 下野国大田原城主大田
原晴清宛徳川家康・秀忠につい
て 新井 敦史
書評 阿部昭著『二宮尊徳と桜町
仕法 報徳仕法の源流を探る』早田 旅人

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇108 2018.7 A4 4p
《特集 下野国から見る幕末・明治の社会》
下野国から見る幕末・明治の社会
堀野 周平
幕末期旗本知行所にみる自警の展
開―旗本畠山氏と「愿蔵火事」野村 晋作
武州金沢藩と下野の村々
一慶応四年を中心に 小林 紀子
明治初期の地方制度変遷に伴う村

方文書の引継ぎについて―栃木
県内の事例から 西村 陽子
新刊紹介
荒川善夫・新井敦史・佐々木倫
朗編『戦国遺文 下野編 第
一卷』 重藤 智彬
宇都宮伝統文化連絡協議会編・
著『うつのみやの伝統文化』宮田 妙子

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊 www.asahi-p.co.jp
◇51 2018.10 AB 36p
《嬬恋村地域特集》
歴史を掘る 上武士・堀北遺跡出
土刻書紡錘車 高島 英之
大学と地域を結んだ群馬学 小林 良江
石川薫記念地域文化賞受賞者特別
講座(1) 要旨 沼田藩主真田信
利の領内経営と改易 藤井 茂樹
発掘情報 ハツ場ダム地域の縄文
時代遺跡 山口 逸弘
図録ぐんま文化財
嬬恋村の指定文化財 樋 美沙樹
ぐんまの歴史入門講座
第193講 嬬恋村の原始・古代 松島 榮治
第194講 中世の嬬恋と修験 久保田順一
第195講 大笹宿の起こりと繁栄
下谷 通
第196講
消えた嬬恋村の硫黄鉱山 宮崎 光男
第197講 嬬恋村の石造文化財
石造文化財の見方(40) 秋池 武
古文書解説入門講座(38)―古文書
から歴史を読む「浅間焼一件
書留」吾妻郡嬬恋村 鎌原家文
書 鎌原 郷司

地域づくりと文化遺産 浅間山北
麓ジオパークを活用した嬬恋村
での村づくり 坂口 豪
ぐんまの地方豪族
鎌原氏について 鎌原 郷司
ぐんまの人物誌 中居屋重兵衛 黒岩 幸一
ぐんまの郷土芸能
嬬恋村の獅子舞 鈴木 英恵
ぐんまの地名 嬬恋村の地名 下谷 通
ぐんまのくらしと民俗
天明の浅間焼けとミゴダンゴ 関 俊明
研究・学習サークル活動紹介
嬬恋古文書の会 宮崎 光男
嬬恋さゆみの会 唐沢トミエ
出版情報 地域の刊行物紹介
嬬恋郷土資料館主事
事業紹介
郷土図書資料復刊POD案内 唐澤 至朗
ぐんまの自然と風土 浅間山北麓
の大地と人々の生活 黒岩 俊明

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒372-0831群馬県伊勢崎市山王町38-38
前澤和之方 年4000円 1957年創刊
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
◇334 2018.7 A5 78p
中世天皇家からみる新田荘の成立
野口 華世
天明の浅間押し・三十三回忌の記
憶 関 俊明
研究大会記念講演会記録 江戸時
代の災害と村人の暮らし―復興
を支えた共同の力 渡辺 尚志
平成29年度研究大会「災害と暮ら
し」参加報告 大野 秀彰
平成30年度群馬県地域文化研究協
議会総会並びに第24回地域研究
会(於中之条町)の開催 総会 編集事務局

平成30年度群馬県地域文化研究協議会総会
 前澤和之新会長あいさつ 前澤 和之
 退任あいさつ 人々に関心をもたれる会活動を 宮崎 俊弥
 記念講演会「吾妻修験と真田氏について」(久保康顕氏) 大野 秀彰
 地域研究会「岩櫃城の総合調査と保存活用」(吉田智哉氏)、「吾妻の蘭学と中之条」(山口通喜氏)、史跡見学会 中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 福田 義治
 桐生市の史料保存・活用事業について 小野里了一
 ぐんま絹遺産紹介(8)
 星尾風穴(南牧村) 石井 保
 大泉町文化むら資料館(旧対比地家住宅)(大泉町) 坂本 泰斗
 新刊紹介 石山幸弘著『大逆事件余波と群馬』(上)(下) 福田 博美
 口絵 橘陰郷土かるた【復刻】
 一群馬県立歴史博物館蔵品資料(135) 武藤 直美

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇255 2018.7 A5 57p
 草津を日本三名泉の一つに決めた人は? 井野 修二
 群馬の市街地地学ハイキング(6)
 渋川コース 火山噴火がつくる渋川の大地
 中村庄八／中島啓治／矢島祐介
 『白衣観世音建立之趣旨』再考
 一井出存義宛の井上保三郎の書簡を通して 田口 正美

前橋市西大室町の童具足「金箔押切付小札色々威赤玉紋様二枚胴具足」 浜岡 宗一
 群馬歴史散歩クイズ三十問 井野 修二
 歴史拾い読み(2) 終戦時の外務省官僚の「反共的性格」 石山 幸弘
 沼田を短歌に詠み語る随想記 宮崎 嘉久
 歴史散歩の報告(事務局企画)
 西郷どんと明治維新の足跡・薩摩 山崎 正
 熱海の史跡と初島の鎮守初木神社 山崎 正
 表紙写真 黒井峯遺跡からの榛名山・二ツ岳と伊香保温泉 中村 庄八

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1979年創刊
 ◇154 2018.6 B5 4p
 上毛野宿祢氏について 関口 功一
 ヘッピリザクラとヤマクワ 飯島 康夫
 ◇155 2018.9 B5 4p
 上武国境と国絵図・郷帳 佐藤 孝之
 第37回講演会の記録 小池淳一氏
 「歴史民俗学の組み立て」 鈴木 英恵

◆野外調査研究 野外調査研究会
 〒337-0003さいたま市見沼区深作1-9-2
 松浦茂樹方 https://saito.m.jimdo.com
 2017年創刊
 ◇2(通27) 2018.6 A4 189p
 平成29年度 野外調査研究会の普及・啓発活動(1) 高原 勇夫
 平成29年度 野外調査研究会の普及・啓発活動(2) 岡本 浩
 「翡翠フォーラム in 朝日町」の実施報告 春山 正樹
 第3回「翡翠フォーラム in 朝日町」

に参加して 斎藤ハルミ
 荒川低地中流部の開発と治水 松浦 茂樹
 埼玉県指定旧跡「板石塔婆石材採掘遺跡」から発見された矢穴列 本間 岳史
 神の水平来臨型祭祀の諸相 藤田富士夫
 スガリの編み材「カンスゲ」の保護増殖について 吉川 國男
 桶川陸軍飛行学校の遺構と特別攻撃隊 今井 正文
 旧・鳩ヶ谷市のカミキリムシ 藤波不二雄
 明治43年(1910)荒川大出水 松浦 茂樹
 「雲南の棚田と民俗を訪ねて」
 旅ノート 春山 正樹
 シルクロード西域南道の旅 吉川 貞夫
 調査概報 茅野市宮川の寒天製造について(1) 五味康／吉川國男
 古代高麗郡とは何か、その特徴 青柳 茂樹
 〈わが心の詩人〉佐藤春夫 純情に徹する詩魂 鳥居 哲男
 音を楽しむ 扇 和子
 野外研と私 安藤 恭枝
 野外研を手伝って 吉川 和子
 秩父への移住 野島 玲子
 追悼一故・堀口萬吉会員に学ぶ
 急逝された堀口萬吉先生を偲んで 吉川 國男
 実践的な歴史地質学をめざして 角田 史雄
 堀口萬吉先生と利根川・荒川河道変遷 松浦 茂樹
 フィールドワークの思い出 平社 定夫
 堀口萬吉先生と私一日曜の地学・文化財・自然史博物館 本間 岳史
 本の紹介
 野外研叢書10『蓑 美しき先人の技』の調査と出版にかかわって 尾澤千鶴子

『地球はもう温暖化していない』 深井有著 本間 岳史
 野外研通信 能勢が国の文化財に指定 吉川 國男
 コラム インドシナを踏破した岩 本千綱について 野口 孝宣

◆武蔵野 武蔵野文化協会
 〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5
 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
 年4000円 1918年創刊
 ◇357 (93-1) 2018.5 A5 56p
 《特集 武蔵野文化協会創立100周年記念展「解説図録」(1)》
 ご挨拶 “武蔵野”研究一〇〇年 坂詰 秀一
 武蔵野会の創立と“武蔵野”研究一〇〇年
 人物埴輪の発見と武蔵野会の創立・鳥居龍蔵の足跡・井上清の足跡 樋渡 達也
 文化財保護活動 岸本 昌良
 『武蔵野』の刊行と出版活動 三橋 広延
 文献図書が語る武蔵野の考古学 坂詰 秀一

武蔵野を掘る
 「武蔵野の考古学」の概観・全体構成と資料の充実 高麗 正
 旧石器時代の発掘と武蔵野文化協会活躍の時代・縄文時代の発掘と武蔵野文化協会活躍の時代・展示構成のもうひとつの狙い 高麗 正
 瀬戸岡古墳と武蔵野文化協会 伊藤 博司
 武蔵国分寺・武蔵国衙・緑釉皿・銅造釈迦如来倚像・銅像観世音菩薩立像・八王子城跡出土品 松原 典明
 武蔵野を語る

中世の武蔵野・武蔵武士・太田
道灌・後北條氏 加藤 功
武蔵野を描く
江戸を支えた武蔵野 根岸 茂夫
東京の都市づくり・東京及近郊
実測図・市区改正 樋渡 達也
東京の公園づくり・増上寺境内
と芝公園・寛永寺と上野公園
・浅草公園と大名庭園 樋渡 達也
昭和の武蔵野を描く 藤森 梨衣
武蔵野の文学 伊佐九三四郎
武蔵野の災害
自然災害・人為災害 加藤 功
武蔵野研究一〇〇年展出品一覧
出品一覧・前島康彦氏略年譜と
前島コレクション 事務局
終わりに 次回展覧会の予告・「武
蔵野事典」の刊行をめざして 樋渡 達也

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
abikosisiken.main.jp
◇197（通504）2018.7 A4 18p
歴史探訪部会・座学「土浦宿と助
郷一助郷の実態と農民の苦悩」茂木 勝己
郷土資料館設立推進について、連
携五団体が青木副市長を訪問
我孫子の社寺を訪ねる(30) 古戸
地区 稲荷神社・薬師堂・天満
宮・観音堂 近江 礼子
◇198（通505）2018.8 A4 10p
我孫子の社寺を訪ねる(31) 中里
地区(1) 中里薬師堂 中澤 雅夫
近隣市町の歴史資料見学記(6)
流山市立博物館 岡本 和男
◇199（通506）2018.9 A4 16p
平成30年史跡バス見学会のご案内

30年度初級古文書講座 好評裡に
終了 岡本 和男
2018年度「市民のチカラまつり」
に参加して 関口眞喜子
会誌『我孫子市史研究』創刊号・
『体験記 私たちの戦中・終戦直
後史』への投稿を！ 谷田部隆博
歴史講演会「久寺家の歴史と久寺
家城に参加して」共催：我孫
子市史研究センター 久寺家地
区まちづくり協議会 中嶋 正義
歴史探訪会「土浦を訪ねる」に参
加して 竹森 真直
我孫子の社寺を訪ねる(32) 中里
地区(2) 中里諏訪神社 中澤 雅夫
歴史探訪部会 9月の活動報告
歴史探訪「土浦市を訪ねる」長谷川秀也
◇200（通507）2018.10 A4 10p
会報第200号発行を記念して 関口 一郎
史跡バス見学会「開運の町小山市
を訪ねる」を終えて 長谷川秀也
歴史講演会報告「柴崎神社・黒
髪塚建立の陰に…」講師：越
岡禮子会員 東 日出夫
歴史講演会報告「柴崎神社・黒
髪塚建立の陰に…」を聴講して
原田 慶子

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843千葉県佐倉市中志津6-21-13
田中正志方 TEL043-489-7439
年2000円 2012年創刊
◇20 2018.9 A4 12p
佐倉地名研究会 第八代会長
新任のご挨拶 田中 征志
前会長
長い間お世話になりました 野村 忠男
志津の地名について(9) 田中 征志

千手院御開帳 小坂 義弘
地名コーナー(臼井地区)
石神と渡戸 伊藤 清
地名コーナー(志津地区)
加賀清水(井野の小字) 小坂 義弘
地名コーナー(佐倉地区)
飯田 小字上柏葉・下柏葉 松平喜美代
佐倉惣五郎はどのように語られた
か(3) 南信地方の宗吾信仰に
ついて 滝口 昭
バス研修旅行記
北武蔵国さきたまの地を訪ねる (伊藤)
会告 掛川健治さん御逝去 田中 征志
元佐倉部会会員 掛川健治さんを
偲ぶ 伊藤代々子／松平喜美代

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大
学文学部日本史学研究室 1985年創刊
◇39 2018.7 B5 12p
調査報告 大喜多町大戸区有文書
小松 愛子
史料研究ノート
天保五年鍛冶兼山争論および鍛
冶兼山の管理について 横山 浩貴
一九世紀初頭における夷隅郡大
戸村の水害と村の対応 金 炯辰

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学文学部内 TEL043-251-1111
年4000円 1982年創刊
chibareki.blog.fc2.com
◇72 2018.5 A5 116p
文化財保護法「改正」の動きにつ
いて 藤井 謙治
金石文調査に関わって 早川 正司
鍋島開墾一小間子牧を拓いた人々

徳永 暁
「日本国憲法発布日を紀元元年元
旦とすべし」 見城 悌治
養老五年下総国戸籍にみえる推定
寄口の考察 里館 翔大
古河公方足利利義氏と都市鎌倉一
特に「鎌倉様」段階を中心に 佐藤 博信
大会講演 千葉氏と京都一中世前
期を中心に 野口 実
史料紹介
「アイヌのフチ・オッケニ」関
係史料―「万里堂蝦夷日記抜
書 地」の一部 鈴木 哲雄
関宿藩尊王派暗殺をめぐる新史
料について 松本 松志
書評 加増啓二著『経典と中世地
域社会』 植野 英夫
新刊紹介
荒井秀規著『古代の東国3 覚
醒する〈関東〉平安時代』 野口 実
佐藤博信著『日蓮宗寺院の歴史
と伝承』 細田 大樹
市川市史編さん歴史部会(近世)
御用留研究グループ編『市川
市史編さん事業調査報告書
幕末期の御用留一曾谷村を廻
った文書群一』 丸山 善久
見学記 佐倉・城下町400年記念
事業総合展示「城と町と人と」
佐倉市律美術館 菅原 憲二
◆房総石造文化財研究会会報
〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-
404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊
◇138 2018.7 B5 8p
定期総会終わる！／講演会報告
小泉俊春氏「石を彫る一石工の

仕事」
29年度 石仏ゼミナール実施報告
「馬頭観音」
2月 石仏基礎研修の報告「石造物の実測について」
4月 第一回見学会の報告「千葉寺と周辺の石仏・石材散歩」
「女人講中」銘のある「小御嶽石尊大権現」石塔 蕨 由美
資料紹介 愛宕神社の庚申塔 佐倉市海隣寺町(板碑型・移動あり・計測未了) 早川 正司
◇139 2018.10 B5 6p
事例紹介 『四十九院』について 玉井ゆかり

◆アーカイブ通信
ネットワーク・市民アーカイブ
〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301
TEL042-540-1663 年6000円 2014年創刊
www.c-archive.jp
◇13 2018.7 A4 8p
開館4周年記念講演会報告「五日市憲法の発見とその現代的意義—半世紀前の明治100年キャンペーンに抗して」新井勝紘さん
2018年度定期総会終了～市民アーカイブは5年目に
ミニコミ紹介
ムルレ(糸車) 調布ムルレの会 坂内 宗男
はちとび (株)清水工房 増沢 航
市民アーカイブ多摩の資料棚から
(9) 子ども・児童福祉 鈴木 清隆
シリーズ“現場”を訪ねる(2)
浪江虔の思想を場と資料から辿る 中村 修
第4期緑蔭トーク報告 第1回
日大闘争の資料を国立歴史民俗

博物館へ寄贈して 矢崎薫さん 町村 敬志
記憶と記録の場をめぐる旅(11)
不屈館—瀬長亀次郎と民衆資料
平和で基地のない沖縄を！ 江頭 晃子

◆あしなか 山村民俗の会
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇312 2018.6 B5 24p
表紙解説 金龍山浅草寺本尊・聖観音御札 編集室
松平定信制作・谷文晁筆『公余探勝図』—誕生の時代背景と、描かれた風景をさぐる(中編) 鷲頭 隆
栗ヶ岳の雪形(1) 一新潟県中央部 山崎 進
多摩川下流・羽黒社と民俗信仰(後編)—『江戸名所図会』巻三「中丸子羽黒権現」を絵解く(2) 岡倉 捷郎
旅の草ぐさ(25)「木呂子」という地名を追って—埼玉県小川町周辺はタタラの里か 荒井 俊昭
文献紹介 『山の怪異譚』河出書房新社編刊 (塩)

◆明日を拓く
東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1993年創刊
www.hblri.org
◇116 (43-1 通199)
2018.6 A5 100p 1000円
《特集 『東日本の部落史』全3巻刊行》
計報 石田貞氏の逝去を悼む 東日本部落解放研究所
『東日本の部落史』全3巻を読んで

『東日本の部落史』の発刊に寄せて 山岡 尚哉
世代間ギャップを埋める学習教材 戸田 眞
本書を読んで
—主に埼玉を中心にして 石川 享助
『東日本の部落史』Ⅲを読んで 岩崎 徹
座談会『東日本の部落史』をいかに読んだか、どう活用するか 今井照容／大熊照夫／久保田宏／戸田眞／松本勝／藤沢靖介／松浦利貞／吉田勉／井桁碧(司会)
著者に会いたい 『東日本の部落史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』(東日本部落解放研究所編、現代書館) 編者・藤沢靖介氏、吉田勉氏に聞く(『出版人・広告人』2018年3月号・4月号)
本の紹介 『青森県史 通史編2 近世』を読む—交差するマジョリティとマイノリティの歴史 吉田 勉
古文書を楽しむ(9) 村をまきこむ 相続争い 寛政七卯年九月十四日 中組源太郎権六地方出入証文并覚書(「鈴木家文書」107) 古文書を読む会

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇606 2018.8 A4 4p
若田家資料(3) 商家と書家・絵師のお付き合い 多田 文夫
大のぼりと地域 荻原ちとせ
はい、文化財係です。(2)
足立の板碑 佐藤 貴浩
小右衛門町の家族写真から(1)

二人の女の子 昭和十二年ごろ(金井富江さん写真提供)
◇607 2018.9 A4 4p
資料紹介 柏屋・星野家に伝わった三件の古文書について・上 米山 徹
はい、文化財係です。(3) 夏の子どもイベント「古代のたから勾玉づくり」 佐藤 貴浩
小右衛門町の家族写真か(2) 近所どうしの子どもたち 昭和十五～六年ごろ(金井富江さん写真提供)
◇608 2018.10 A4 4p
資料紹介 柏屋・星野家に伝わる三件の古文書について・下 売渡シ申橋戸新田屋敷之事／前書古証文之儀は当家屋敷沽券之写也 米山 徹
はい、文化財係です。(4) 東京都文化財ウィーク二〇一八 佐藤 貴浩

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇365 2018.8 A4 8p
夏季区民教養講座 芭蕉翁像を町の象徴に「おくのはそ道と松尾芭蕉」講師：梅津保一先生 終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団の報告書(28) 続・編 堀川和夫
区民教養講座の講演 講演「おくの細道と松尾芭蕉」梅津保一先生 (堀)
おくの細道関連サブ「報告」「小学生と俳句」報告者：江東区学校俳句指導員 松本芳明先生
7月の街歩き 駒込・白山方面

史談大学関連資料
 感旧碑に対する再認識 安藤 義雄
 「感旧碑」調査その後
 荒川改修を追って
 ◇366 2018.9 A4 8p
 第六回 学童疎開資料展
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 米国教育使節団の報告(29)
 続・編 堀川和夫
 区民研究発表会 岡野進氏「『千
 住宿歴史ウォークガイドブッ
 ク』を作って」、大塚康弘氏
 「中学校から特別支援学級担任
 に異動して」、木村繁氏「学童
 疎開を風化させるなど尽力され
 た磯野重郎先生」、吉岡諭氏
 「足立の絵馬」、土田秀夫氏「地
 域にとって寺とは？」
 神田囃子と葛西囃子
 「神田囃子」について 岩崎 正之
 参観記 縄文——万年の美の鼓動
 唐沢 邦子
 紙上ギャラリー 「足立史談」605
 号に関連して 西新井小学校図
 工担当 豊重一(号千里)先生
 埋没した戦後の記憶双書Ⅰ 中小
 企業態だった頃の木造二階建
 足立区役所物語(1) 千寿 陰士
 ◇367 2018.10 A4 8p
 千住名倉家と文人たちがつむいだ
 百年 足立区立郷土博物館「足
 立が育み伝えた文化と伝統 酒
 井抱一から岡倉天心・森鷗外ま
 で」
 終戦直後の日本の教育改革の原点
 米国教育使節団の報告書(30)
 続・編 堀川和夫
 一枚の写真 「好生堂堀内醫院」 相川勤之助

区民まつり寸描
 写真・木嶋孝行さん
 埋没した戦後の記憶双書Ⅰ 中小
 企業態だった頃の木造二階建足
 立区役所物語(2) 千寿 陰士
 区民まつり 木嶋 孝行
 号 外
 芭蕉翁像を町の誇りに
 芭蕉翁を顕彰する会
 千住案内図 改訂9版 平成26
 年3月31日 安藤義雄制作
 昭和19年6月閣議決定。8月学童
 集団疎開が始まりました。
 足立の学童疎開を語る会
 ◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
 〒183-0026東京都府中市南町6-32
 TEL042-368-7921 1987年創刊
 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
 ◇124 2018.6 A4 10p
 水とともにくらししたむかし(1)
 田んぼと用水路 佐藤 智敬
 最近の発掘調査 武蔵府中熊野神
 社古墳の西側 西野 善勝
 NOTE
 府中宿の成立に関する一考察 花木 知子
 展示会案内
 企画展 東京最古の旧石器 深澤 靖幸
 特別展 水とともにくらししたむ
 かし 佐藤 智敬
 府中の身近な昆虫絵巻(1)
 雑木林の昆虫酒場 中村 武史
 史料に見る府中の事件簿(1)
 秣場騒動 花木 知子
 ◇125 2018.9 A4 8p
 水とともにくらししたむかし(2)
 井戸水をつかう 佐藤 智敬
 最近の発掘調査 凸字形の竪穴建

物跡を国府八幡宮の北東で発見
 八幡町二丁目 西野 善勝
 NOTE 天霧の星ぞ浮き沈む一古
 典における星空の発見 小野 一之
 府中の身近な昆虫絵巻(2)
 秋の水辺に竜の目玉 中村 武史
 展示会案内 企画展 ちょっとむ
 かしのくらし～その3 佐藤 智敬
 史料に見る府中の事件簿(2)
 蚕日待で狐付き 花木 知子
 ◆板橋史談 板橋史談会
 〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
 www.sites.google.com/site/itabashishidankai/
 ◇297 2018.8 B5 28p
 表紙写真解説 板橋区民まつり
 写真と文・井上富夫
 天皇・皇后両陛下を板橋区立特別
 養護老人ホーム「いずみの苑」
 にお迎えして 石塚 輝雄
 「武蔵野崖線に沿って(1) 志村坂
 上」6月例会に参加して 桜井美代子
 平安地蔵慰霊の日 井上 富夫
 『古語拾遺』について一絵馬「天
 の岩戸」(天祖神社所蔵)から
 会長講演(抄) 小林 保男
 板橋区文化財瓦版 「ときわ台駅」
 駅舎がリニューアル
 ◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
 https://www.okumusashi.club
 ◇422 2018.7 B5 24p
 昔と今を繋ぐ会報「奥武蔵」 小泉 重光
 観音山、観音岩はすでに無く 吉田美知子
 奥武蔵・秩父の獅子舞(75)
 一上野本・八幡神社の舞 関口 洋介

伊豆国の工匠の足跡 酒井 昌樹
 南アの想い出(1) 白峰三山 河野 尚久
 ◇423 2018.9 B5 26p
 「峠」に関する一考察 小泉 重光
 私の遭難寸前顛末記 町田 尚夫
 矢岳 山名考 藤本 一美
 山徒然 関口 洋介
 岩殿観音と岡部氏(前) 小泉 重光
 南アの思い出(2) 塩見岳 河野 尚久
 ◆北区史を考える会会報
 〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
 ◇130 2018.8 B5 10p
 第426回 月例研究会
 北区の廃寺と復旧願書 本間 孝夫
 第425回 月例研究会 北区の温泉
 一東京都周辺の温泉から見た北
 区の温泉事情 甘露寺泰雄
 第428回 月例見学会 星美学園と
 赤羽台古墳の見学記 藤巻 洋三
 第427回 月例研究会 豊島・宮城
 文書から見る南北朝室町の豊島
 氏一戦乱に翻弄される豊島氏 伊藤 一美
 ◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
 TEL03-3355-4188
 ◇210 2018.6 A4 8p
 催事スケッチ 祇園祭り
 京都市八坂神社 写真・文 渡辺良正
 平成29年度儀礼文化研究会
 第2回報告
 岡山旭川中流域の棒つかいにつ
 いて～武術の影響と芸能の系
 譜に関する考察 大倉 寿仁
 都市の社会問題に向き合う宗教
 者と支援活動一山谷のフィー

ルドワークから考える現状と
課題 富澤 明久
催し “〈三曲〉～糸の調べ”を鑑
賞 実演：公益社団法人日本三
曲協会 松尾 恒一
歓喜 新緑と、花咲かせた歓談 佐々木幸子
会員を訪ねる
吉田神社／竈山神社
レポート
儀礼文化講座(平成29年度第7回)
茶道「ひな祭り」と仲春の茶
花」講師：岩田宗玢
儀礼文化講座(平成29年度第8回)
儀礼文化論「祭りのこころと
かたちー台湾道鏡の祭りか
ら」講師：浅野春二
儀礼文化セミナー(平成30年度
第4回) 礼法「弓馬術礼法
小笠原教場実習」 佐々木 寛
◇211 2018.9 A4 8p
催事スケッチ 西条祭り 絢爛豪
華なだんじりが壮観の秋祭り
写真・文 渡辺良正
特集(儀礼文化学会会員報告) 福
島の民俗芸能(1)ー大波の三匹
獅子舞を取材して 丹治 逸雄
会員を訪ねる
石上神宮／榎原神宮
レポート
儀礼文化セミナー(平成30年度
第1回) 茶道「志野流教場
拝見」 北山 則子
儀礼文化講座(平成30年度第1回)
書道「古俗の中で蘇る漢字ー
『西双版納』倭人の源流を訪
ねて」講師：張莉
儀礼文化講座(平成30年度第2回)
煎茶「煎茶への誘い」講師：

小川後楽
◆ケガレと銅鐸 通信 木村成生
〒197-0023東京都福生市志茂113-2
TEL042-551-2768 2017年創刊
◇10 2018.7 A4 6p
網野善彦『日本の歴史をよみなお
す』を読み直す その2 「この
桶自体が神聖な桶でした」ーな
ぜ桶が神聖なのか 木村 成生
◆月刊神田画報 カンダデザイン
〒101-0064東京都千代田区猿楽町2-2
澤田ビル206 TEL03-3296-7121
◇126 2018.6 A4 4p
祭 三崎稻荷神社／太田姫稻荷神
社
カンダデザイン(神田画報発行)主
催 「江戸天下祭を語る」講座
庭のホテル東京 江戸まち歩き
第50回記念「江戸東京川めぐり」
神田明神「例大祭」を斎行／将門
塚保存会大神輿登場
昔むかしの神田探訪(44) 神田駅
の百年と岡本太郎の壁画 酔馬 主水
◇127 2018.7 A4 4p
第18回 千代田まちづくりサポー
ト 公開審査会
神儒仏合同講演会実行委員会主催
第10回「神儒仏合同講演会」
昔むかしの神田探訪(45) 生涯に
八十一人を斬った岡部菊外 酔馬 主水
◆交通史研究
交通史学会(発売：吉川弘文館)
〒161-8539東京都新宿区下落合4-31-1
目白大学社会学部地域社会学科 鈴木章生
研究室気付 1976年創刊

www.kotsushi.org
◇93 2018.9 A5 64p 2500円
大坂冬の陣における堤防の役割
ー主に「文禄堤」と京街道を事
例として 片山 正彦
交通史学会第44回大会報告・趣旨
説明 原 淳一郎
大会発表要旨 共通論題
文政おかげ参りの情報と町・在
における諸形態 橘 敏夫
近世・近代における景勝地の展
開ー旅行者と地域住民の視点
から 高橋 陽一
明治以降の伊勢御師と参宮 石川 達也
近代の社寺参詣をめぐる視角と
方法についてー明治期から大
正・昭和期へ 平山 昇
近代日本の旅文化
ー余暇の旅と仕事の旅 中西 聡
大会発表要旨 自由論題
近世中期における越中国砺波郡
の朝鮮人御用一享保四年の砺
波郡十村衆の駄馬仕立を中心
に 横山 恭子
近世西日本近海の巨大鯨組の出
漁条件と交流 末田 智樹
明治半ばの東北開発ー大船渡港
築港構想を事例として 山根 伸洋
総会報告 常任委員会(文責：佐藤友理)
例会報告要旨 近世中・後期にお
ける北国街道上田宿の特質ー町
在商一件の側面から 竹内 竜馬
書評 井上卓朗・星名定雄共著
『郵便の歴史ー飛脚から郵政民
営化までの歩みを語る』 山根 伸洋
新刊紹介 日下英之監修『街道今
昔 美濃路をゆく』 林 泰正

◆産業考古学研究 東京産業考古学会
〒134-0087東京都江戸川区清新町1-1-17-
306 吉田修(編集事務局)
FAX03-3804-8716 年2000円 2014年創刊
http://tias3.web.fc2.com
◇5 2018.5 A4 51p
竹の雨樋ー歴史の変遷 馬場 誠二
寺嶋道彦氏の鉄道関係資料 吉田 修
木造トラスについての一考察
ー対束の材種についての知見 堀内 仁之
生糸商標を調べるための資料解題
長野 恭彦
博物館紹介
日本工業大学工業技術博物館 平柳 恵作
フォーラム 曳き舟考ーどうやっ
て曳いたのだろうか？ 吉田 修
産業考古学研究 第1号～第4号
の表紙・目次一覧
表紙写真解説 葦山反射炉(世界
産業遺産：伊豆の国市)
写真・解説 奥原一三
◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊
◇33 2018.3 B5 132p
近世品川の水辺空間の変容 柘植 信行
小特集 特別展「大崎・五反田ー
徳川幕府直轄領の村々ー」
進展する大崎・五反田の地域史
研究ー特別展「大崎・五反田
ー徳川幕府直轄領の村々」の
開催から 富川 武史
三日月藩森家上屋敷遺跡検出の
池遺構に関しての一考察ー台
地上で検出された池遺構の類
例から 中野 光将
史料紹介

上大崎村名主竹内家文書「四ッ
谷御上水分水 字三田用水由
来一件留」 佐藤 友理
「乍恐以書付奉願上候(武州荏原
郡小山村御林地所新開の歎願
につき)」 富川 武史

◆**石神井公園ふるさと文化館ニュース**

練馬区立石神井公園ふるさと文化館
〒177-0041練馬区石神井町5-12-16
TEL03-3996-4060
www.neribun.or.jp/furusato.html

◇**30** 2018.9 A4 4p

特別展「鳥瞰図一空から見る大
正・昭和の旅一」／分室企画展
「童画家・茂田井武展」

◆**城郭だより** 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1993年創刊

◇**103** 2018.10 A4 6p

尼崎城天守が復興
一位置をかせ外観を再現
丸亀城の石垣が崩落
周山城址の測量調査
丸岡城内長畝口門部材が残存
(「福井新聞」7.31より)
鳥取城太鼓門跡の調査
人吉城に謎の地下室
最近の注目される城郭図書から
竹井英文著『戦国の城の一生』、
中村博司著『大坂城全史』、小
島道裕著『城と城下 近江戦国
誌』、古代山城研究会『古代山
城とノロシ』
最近の城郭ニュースから
「対馬藩お船江跡」調査へ

◆**杉並郷土史会史報**

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇**270** 2018.7 A4 12p 400円

乗合自動車(路線バス) 木村 輝郎
幕末維新ゆかりの大圓寺に眠る西
郷家、大山家の人々 小島 智
長谷川平蔵の墓 寺田 格郎
平心講 水野 紀一

◇**271** 2018.9 A4 10p 400円

阿佐谷村堀内 菅野 郁雄
二・二六事件に関わった杉並在住
の民間人 寺田 格郎
西田税の「大眼目」 編集部
杉並郷土博物館へ寄贈された徳川
家康から毛利輝元への書状 新村 康敏
東京帝医科大学 大正五年卒業
生寄せ書き

◆**すみだ川** 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008 年3000円
1987年創刊 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇**64** 2018.10 A4 12p

隅田川と江戸噺 橋家 玉蔵
平成30年度 隅田川市民交流実行
委員会 総会報告
総会記念講演 『紫川を愛する会』
沿革 講師：橋本昭雄 文・崎野始
隅田川大学公開講座 『浅草橋
場・川口楼物語』～剣客商売の
「不二楼」のモデル 講師：小
木曾淑子 文・藤原隆
隅田川大学公開講座 『「イタドリ
採り」報告』 小堀 郁恵
隅田川大学実践俳句講座 『隅田
川大学実践講座「俳句を創ろ

う』～佃島界隈を歩く 佃島吟
行 講師：岡部恒雄
第13回隅田川クリーン大作戦を開
催して 隅田川市民交流実行委
員会理事・隅田川流域クリーン
キャンペーン実行委員会 藤原 隆
東京四万十会 総会 参加報告 篠田 裕
第40回隅田川おどり納涼大会 岡部 恒雄
佐藤武レポート 荒川区瑞光橋公
園の干潮 100を超える小魚が群
れる／自宅水槽のメダカがいつ
ばい 佐藤 武

◆**西郊民俗** 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
seikouminzoku.sakura.ne.jp

◇**243** 2018.6 B5 29p

川崎稲毛神社例大祭における宮座
式 穴澤 明子
語られた横綱栃木山守也 印出 隆之
女化稲荷の縁起 大島 建彦
青森県域の生業を支える女性の
“稼ぎ”(3)―農村地域 長谷川方子
天狗経(2)―その起源をめぐる 高橋 成
◇**244** 2018.9 B5 29p
宮本常一と飛鳥
―「地方流し」と「南京小僧」 杉本 仁
安政三年の祈祷儀礼「墓目」 近江 礼子
境界線上の渡嘉敷ペーク
―土地争いの口承文芸の一節 星野 岳義
川崎市川崎区宮本町幸福寺の「川
崎不動尊」 清水 亨桐

◆**せたかい** 世田谷区誌研究会

〒156-0045東京都世田谷区桜上水3-12-13
新川陽一方 TEL03-3302-4575 年2000円
1951年創刊 fsv.setagaya-kushiken.jp

◇**70** 2018.7 B5 76p 1000円

『せたかい』70号発刊にあたって 新川 陽一
野に出よ 友打ちで「白球」天に
在り一駒の里に日本人がゴルフ
場を作った 奥野 徳男
吉良氏と世田谷城の200年 小林 勲
世田谷線 沿線各駅散歩道(5)
宮の坂 中村 甲
講演会記録 「幕末・維新と世田
谷」 講師：濱中正之氏 松本 龍雄
転載 「せたがやの民話」(櫻井正
信氏執筆)よりの抜粋 編集部
平成29年度の行事記録

講演会「土地整理がもたらした
現代社会」講師：高嶋修一氏
角田 芳正
バス見学会「佐野・足利・太田
の三市を巡る」 内山 昌玄
講演会「中世江戸氏について」
講師：今野慶信氏 細田篤志郎
生涯現役ネットワークプロジェ
クト 世田谷区誌研究会の区
民一般参加企画第五弾「世田
谷をもっとよく知ろう！～映
画撮影で賑わった緑の住宅街
成城のを巡る散策に参加しま
せんか」 中井 盛久
バス見学会「北茨城・五浦(い
づら)海岸を訪ねる」 市川 博正
史跡散歩「冬目散策＝鵜ノ木光
明寺から池上本門寺へ」 阿部 正興
講演会「神と仏と日本人」
講師：宮田修氏 黒瀬 威
史跡散歩「武蔵野春緑・みほと
けおはす深大寺」 細田篤志郎

◆**全日本郷土芸能協会会報**

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6

三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
 ◇92 2018.7 A4 20p
 沢田鶏舞
 青森県十和田市(市指定) 長澤 利雄
 栃木県「奈佐原文楽」調査報告書
 作成業務／第67回全国民俗芸能
 大会
 文化庁委託事業「平成30年度文化
 庁戦略的芸術文化創造推進事
 業」「はくたち、わたしたちの
 ニッポンの祭り2018」～全国の
 子どもたちが未来に繋ぐ、ふる
 さとの芸能が大集合 Kids Fol
 klore Festival in Japan-
 MATSURI 2018-
 地域×芸能ニューウェーブ 福島
 県浪江町の『苅宿の鹿舞』『苅
 宿の神楽』復活と『かりやど民
 俗誌』刊行
 地芝居あれこれ(30) 民俗芸能に
 おける「余興」とは? 蒲池 卓巳
 空白の沖縄芸能史(18)
 嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
 ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
 ◇318 2018.7 A4 2p 100円
 『熙代勝覧』が載せる生業(7)
 ◇319 2018.8 A4 2p 100円
 『東都歳事記』が載せる「夏の生
 業」
 ◇320 2018.9 A4 2p 100円
 『熙代勝覧』が載せる生業(8)
 ◇321 2018.10 A4 2p 100円
 江戸の物売りと大道芸 終了

『名物鹿子』豊嶋治左衛門著 豊
 嶋弥右衛門撰 板元須原屋与兵
 衛 享保18(1733)刊
 ◆多摩地域史研究会会報
 〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-
 103 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇131 2018.9 B5 8p
 第27回大会報告
 第27回大会参加記 坂田 宏之
 多摩地域史情報室 企画展案内
 調布玉川惣画図を歩く ともぬ
 しの多摩名所案内～多摩市立図
 書館コレクションから／公演案
 内 第2回『説経節と里神楽』
 ◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp
 ◇171 2018.8 A5 118p
 《特集 奥多摩の山々にみる地球史》
 骨格形成時の日本列島 久田健一郎
 秋川流域の地球史概説(各時期の
 ステージ区分) 長田 敏明
 ステージ1 秩父帯に点在するさ
 らに古い岩石一日の出町の黒瀬
 川帯をめぐる 伊藤 和弘
 ステージ2 日の出山周辺にみる、
 チャートと砂岩の大岩の景観 伊藤 和弘
 ステージ3 戸倉城山から秋川上
 流へ一秩父帯、四万十帯、五日
 市町層群の交差点 石井 弘好
 ステージ4 奥多摩の山では唯一
 深成岩でできている三頭山 田野倉勝則
 ステージ5 伊奈石石切場跡と秋
 川川原の第三紀層を歩く 内山 孝男

戸倉しろやまテラスと秋川流域ジ
 オ情報室(持続可能型ツーリス
 ムの拠点)について 櫻澤 裕樹
 洋風建築への誘い(60) 瓦屋根の
 CAR CRAFT SHOP 武蔵野
 市 平川産業 伊藤 龍也
 建物雑想記(55)
 国分寺崖線に佇む洋館 酒井 哲
 多摩の食文化誌(28)
 大根は和食の原点 増田 昭子
 多摩の金融史(6) 戦前期におけ
 る東京府・多摩地域の産業組合
 小島 康平
 多摩のみほとけ(34) 東村山市
 正福寺地藏堂 木造千駄小地藏
 尊像 齊藤 経生
 本の紹介
 国分寺市教育委員会編『古代道
 路を掘る―東山道武蔵路の調
 査成果と保存活用』 野田憲一郎
 福生市郷土資料室編『福生むか
 し絵』 田村 光男
 清水正之著『八王子の電車とバ
 ス』 小林 央
 ◆伝 え 日本口承文芸学会
 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
 國學院大學文学部 飯倉義之研究室
 TEL03-5466-0529 年4000円 1987年創刊
 ko-sho.org
 ◇63 2018.9 B5 12p
 「蛇婿入り」雑感 常光 徹
 第74回日本口承文芸学会研究例会
 「シンポジウム:口承文芸と文
 学―泉鏡花・井上ひさしの口承
 文芸」 報告・中村とも子
 第42回日本口承文芸学会大会
 公開講演会報告

伊藤慎吾氏「語り物文芸の異類
 合戦物について」 廣田 収
 真鍋昌賢氏「『漫談』の誕生―
 行為する言葉とその思想」 高塚さより
 第42回日本口承文芸学会大会
 研究発表報告
 李軒羽氏「中国と日本における
 都市伝説の比較研究―学校の
 怪談を中心に」、藤井倫明氏
 「童話化された昔話―坪田譲
 治の『新百選日本むかしばな
 し』」 松本 孝三
 佐藤喜久一郎氏「羊太夫伝説の
 全体像」、矢野敬一氏「平田
 篤胤から柳田国男へ―問いを
 共有するオーラルな場と民間
 学」 野村 典彦
 阪口諒氏「イナウの靈魂の循環
 ―北海道アイヌの口承文芸か
 ら」、安田千夏氏「北海道ア
 イヌ口承文芸にみるカラスの
 性格と名称」 奥田 統己
 北原次郎太氏「人格神の習合を
 考える―アイヌ・朝鮮の神話
 を手がかりに」、邊恩田氏「朝
 鮮王朝時代の儒者に伝わった
 日本の「こぶとり」」 奥田 統己
 第42回日本口承文芸学会大会
 シンポジウム報告「ローカルな
 ものの生き延び方―現代にお
 ける人形義礼の再文脈化」 姜 竣
 「大和の口承文芸・折口信夫の原
 郷」フィールドワーク報告 杉浦 邦子
 各地の語り・語り手・語りの場の
 紹介(7) 昔話や伝説等の資料
 をより身近なものにするために
 一佐賀での取り組み 小副川 肇

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円
tias3.web.fc2.com

◇131 2018.7 A4 6p

報告 講演会「奥村電機商会&その産業遺産」講師：田中耕作 文・奥原一三
報告 研究会「しぶとい合繊業界に学ぶことー東レを中心に」

講師：佐藤真次郎 文・平井東幸
佐渡金銀山、世界遺産に4度目の挑戦 文・写真 奥原一三

リニューアルなった航空宇宙博物館 文・写真 柚須紘一
新刊紹介 『近代エクステリアの歴史』日本エクステリア学会 編著 文・多田統一

産業遺産を訪ねて(16) 旧日本銀行京都支店ー京都文化博物館の別館として保存活用 文・写真 平井東幸
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(12) 「青柳新兵衛商店 煉瓦造店蔵」 文・写真 八木司郎

◇132 2018.9 A4 6p

報告「わが国の産業技術関係の遺産認定制度」ー分析機器・科学機器遺産の概要 講師：石井格・岡田康弘 文・写真 奥原一三
報告 見学会「野木町ホフマン輪窯等」:〈まつわる話〉を含めて) 写真・奥原一三／文・八木司郎

「千の技術博」、上野の科博で開催 平井 東幸
霞ヶ浦海軍航空隊で活躍した幻の「トロッコ用機関車」 写真・文 八木司郎

産業遺産を訪ねて(17) 青森市森林博物館ー旧庁舎を博物館として保存活用 文・写真 平井東幸
新刊紹介 『近代の産業・インフラ・都市ー近代化遺産とその保存活用』編集発行：はたや記念館ゆめおーれ勝山 平井 東幸
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(13) 「青柳新兵衛商店 煉瓦造通用門」 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円
2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇33 2018.7 A4 8p

平和創造のパワーを 早乙女勝元
夏休み特別企画「みんなで学び、伝えよう！東京大空襲」のご案内 二瓶 治代

平和の灯火をともし続ける（ガイドボランティアを体験して） 早川 則男
体験記録集の刊行に向けて 竹内 静代
“限界年齢”に近づいている中で（センターで体験を語って） 藤間 宏夫

2018年東京大空襲を語り継ぐつどい 開催報告 工藤 芳弘
公益財団法人政治経済研究所 戦争災害研究室の研究事業について
2018年度第1回特別展「名前と顔と足あと」開催報告 青木 哲夫
展示リニュアルについて 山辺 昌彦

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091
1956年創刊

◇369 2018.7 A4 4p

豊島氏関係史料を読む(22) 丁丑（天正五年）七月十三日付け北条家印判状を読む(4) 伊藤 一美
高札場 4月例会
新緑の秩父札所巡り(1)
練馬の城を往く(20)
中新井の陣屋(推定説) 八巻 孝夫
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達(29) 三、東条英機(3) 鎌田 茂男

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇122 2018.8 B5 4p

第124回例会
板橋の鉄道忌避伝説 土屋 靖夫
第123回例会
「悪水」の用例について 沖野 一則

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022東京都練馬区向山3-21 保戸塚太地方 TEL03-3999-8871 1985年創刊
www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇60 2018.6 B5 4p

2018年度講演 小判の不思議 一品位・価値・時代 西脇 康
土支田村の組分けの時期と名主の変遷 本橋 竹文
お知らせ3題 中平文庫の開設について／十月の史跡散歩の会／新春の講演会 柴辻 俊六

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係
〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1

TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇103 2018.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2018 企画事業 尾崎遺跡・石神井城跡・練馬城跡の出土品展示解説会
公開しています 国指定・登録、都指定の文化財 練馬白山神社の大ケヤキ／石神井城跡／三宝寺池沼沢植物群落／牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)／小野蘭山墓及び墓誌／池永道雲墓／東高野山奥之院／丸山東遺跡方形周溝墓出土品

東京文化財ウィーク2018 参加事業 特別展「鳥瞰図ー空から見る大正昭和の旅ー」、特別展関連講演会①「鳥瞰図の楽しみー沿線案内図に見る私鉄の歴史」講師：今尾恵介氏、特別展関連講演会②「鳥瞰図の歴史と魅力」講師：藤本一美氏／石神井城跡発掘パネル展／特別公開「小野蘭山墓誌」／通年公開「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」／展示会「古民家復元」

練馬区登録無形民俗文化財の紹介 大山講灯籠立て行事

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1986年創刊
www.hblri.org

◇94 2018.8 A4 4p

第33回総会を開催 総会記念講演会 人権の普遍性を問われ続けて／フィリピンとインドの出会いから 安田耕一さん
第1分科会「歴史A」 神奈川の

部落史 報告1「小頭太郎右衛門の白山大権現造営記録―被差別部落の信仰と地域社会のかかわりを探る」久保田宏さん／報告2「融和運動の思想的基盤に関する一考察」大高俊一郎さん／報告3「小学校教師としての長島重三郎―融和運動とのかかわりから」真鍋駿さん

第2分科会「教育」差別と向き合う一人権・同和教育の現状と課題 報告1「学習教室を始めて20年」吉田恵一さん／報告2「横浜翠嵐高校定時制での生徒支援」原えりかさん／報告3「彼らと学ぶために」上野法隆さん

◆民衆史研究 民衆史研究会
〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学学術院 大日方研究室内
1962年創刊
◇95 2018.6 B5 80p 1500円
《特集 「御救」と近世社会》
近世後期的「御救」の構造
―金融政策を中心に 福澤 徹三
越境する「御救」―天保期における
松本藩預所村々の米穀調達活動
栗原 健一
福澤・栗原両報告から「御救」と
「仁政」を考える 早田 旅人
書評
伊藤大輔・加須屋誠著『天皇の
美術史二 治天のまなざし、
王朝美の再構築』 落合 美佳
春田直紀編『中世地下文書の世
界 史料論のフロンティア』土山 祐之
真辺将之著『大隈重信 民意と
統治の相克』 武藤三代平

森宣雄著『沖縄戦後民衆史 ガ
マから辺野古まで』 上地 聡子
岩下哲典著『病とむきあう江戸
時代―外患・酒と肉食・うつ
と心中・出産・災害・テロ』萱田 寛也

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
TEL042-590-0223 www.s-jfm.org
◇43 2018.3 B5 77p
猿倉人形の立ち回りと囃子におけ
る「大衆化」と「民俗化」 蘭田 郁
実践報告
河内長野市小中一貫教育「ふる
さと学」の成果と課題―地域
の郷土芸能を教材とした音楽
授業を通して 山本 真弓
アイヌ民族の伝統音楽の教材化
―伝統楽器トンコリの教材化
と授業開発 萬 司
〈第31回大会報告
「中国地方の神楽」(2017 宮島)〉
基調講演「中国地方の神楽―〈ひ
ろしま神楽〉から考える」 三村 泰臣
シンポジウム「中国地方の神楽」
司会 片桐功／対談者 三村
泰臣・小島美子・藤原宏夫
研究発表要旨
現行御神楽の音楽的構成と神楽
歌の音楽的特徴について―採
物歌「櫛」を中心として
岡田美智子／文責・伊野義博
東広島市の里山に伝わる民俗社
会の唄―宇山民謡とその行方
須藤満寿代／文責・伊野義博
瀬戸内海の島における管絃祭の
研究 大久保聖子／文責・伊野義博

河内長野市小中一貫教育「ふる
さと学」の成果と課題―地域
の郷土芸能を教材とした音楽
授業を通して
山本真弓／文責・山本陽子
連を離れた輪踊り―ひとつの阿
波踊り 川内由子／文責・山本陽子
紀州と播磨の神事芸能の田楽に
見る共通性と差異について
大渡敏仁／文責・丸山妙子
中国地方の六孔篠笛の現状―
「篠笛」その名称のルーツに
関する調査 稲垣慶子／文責・藤原宏夫

◆民俗建築 日本民俗建築学会
〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33
法政大学デザイン工学部建築学科内
TEL03-5228-1496 年9000円
www.folkhouse.org
◇153 2018.5 B5 75p
巻頭言 近年の学際研究の動向 杉本 尚次
2017年度大会発表研究論文
古民家・民具を利用した回想法
の広がりとその成果について
―「回想」のフォークロア化
への視座 西尾 嘉美
茅葺屋根における白川村合掌集
落と一般民家の相違とその考
察 金田 正夫
白川郷の合掌集落民家に関する
地形と環境 出口 清孝
懸魚の伝来と展開―一日中の住ま
いの比較研究をめざして 劉 羽虹
幻住庵の旧本堂と境内建物 佐藤 正彦
山形県上山市の民家における柱間
寸法―檜下宿の民家を主に 菊地 憲夫
平成29年度シンポジウム・見学会
報告 茅葺民家の継承と地域創

成―豪雪地域における活性化の
可能性 相模 誓雄
民俗建築アーカイブ(14)
満州国皇帝の訪日宣詔記念館
民俗建築アーカイブ担当
One Shot Minka(21)
広島県芸北地方の中門造り 長岡 正宏
View 民家(49) 対馬のくらし
伝統を香らせる古民家 朴 賛弼
新刊紹介
『図説 やさしい建築設備』
伏見建・朴賛弼共著 宮崎 勝弘
『ソウル清溪川再生』(英語版)
朴賛弼著 佐志原圭子

◆明治維新史学会だより
〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1
神田外国語大学 町田明広研究室
2004年創刊 www.ishinshi.jp
◇25 2018.5 B5 22p
〈2018年度第48回明治維新史学会大会
報告要旨〉
条約勅許・万国公法・大攘夷一条
約勅許後の対外関係の構想と展
開 奈良 勝司
国際社会からみた昨今の明治維新
史研究批判 鶴飼 政志
「卓越」と衆議
―王政復古後の立花壱岐 池田 勇太
帰ってきた王室家―明治初年の攘
夷派の位置をめぐる 三ツ松 誠
「政権交代」と地域―関東の旧幕
府領・旧旗本知行所を中心に 宮間 純一
都市豪商からみた慶応三・四年 村 和明
新政府による諸藩編成と軍事関係
文書の管理 箱石 大
戊辰戦争における海軍情報の伝播
と受容―軍港浦賀を中心に 神谷 大介

会員の活動紹介

「明治維新一五〇周年」に博物
館人としてどう向き合うか 道迫 真吾
高知県立坂本龍馬記念館 亀尾 美香
上越市立歴史博物館のリニュー
アルオープンを迎えて 荒川 将
上山市立上山城 学芸員に採用
されて 長南 伸治
例会報告要旨
明治前期における小学校の実態
一藩羅郡下奈良村奈良小学校
を事例に 笹川 知樹
明治前期における「府県史料」
編纂事業の展開―「修史局・
修史館史料」の分析から 佐藤 太悟
明治初期の府県税運用
一三府開港場諸県を中心に 崎島 達矢
渋沢史料館所蔵「徳川昭武所感
草稿綴(渋沢栄一筆)」につい
ての考察 関根 仁
坂本龍馬暗殺後の海援隊一備讃
瀬戸グループの活動を中心に 遠矢 浩規
河川法による河川支配の論理―
明治期淀川改修に伴う新淀川
用地買収を通して 長町 顯
直轄県分合問題の政治過程―久
美浜・生野両県を事例に 前田 結城

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中
寛方 ℡03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp
◇46 2018.9 B5 76p 2000円
「会計」で見る戦後の郵便事情(1)
郵政事業特別会計の超長期キャ
ッシュフロー分析 藤本 栄助
富岡発ルボン差立書状の検証 設楽 光弘

明治前期における肥後国への新聞

紙通送 立山 一郎
明治時代の記念切手の使用禁止期
間に関する考察 片山七三雄
資料紹介
大正新切手図案公募 田沢型切
手の原画と選外作品群 星名 定雄
旧刊紹介(20) 『通信事業図解』
鈴木 克彦
「デグロン君カバー」新例3件
出現の報告 松本 純一
近刊紹介
井上卓朗・星名定雄共著 郵便
の歴史―飛脚から郵政民営化
までの歩みを語る 小原 宏
片山七三雄監修・執筆 日本の
郵便と歩んだ井出家五代一地
方郵便史の発掘 近辻 喜一
郵政歴史文化研究会編 郵政博
物館研究紀要 平成28年度
第9号
日本郵楽会・佐々木義郎著
京撰郵便事情研究 星名 定雄

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電
気通信大学電気通信学部 佐藤賢一研究室
気付 ℡0424-43-5512 yogakushi.jp.org
◇30 2018.5 A4 12p
洋学史学会シンポジウム報告要旨
松尾悠亮「蘭癖大名」、堅田智
子「ミッション・スクール」、
阿曾歩「江戸時代における外国
語学習と「文法」、阿久根晋
「キリシタン時代」におけるイ
エズス会の教育事業」、武藤三
代平「幕末維新期の北海道開発
―地理学と技術の連動性」、矢

森小映子「庄内の洋学―江戸に
出た蘭学者・小関三英と庄内地
域」、長田直子「多摩地域の蘭
学者受容―医学を中心に」、神
谷大介「横須賀における洋学の
展開」、阿部大地「三重県の本
草学」
『洋学史研究事典』の項目案につ
いて 青木 歳幸
書評 『究理堂所蔵 京都小石家来
簡集』 長田 直子
新刊紹介
『津山藩』(シリーズ藩物語) 青木 歳幸

◆論集きんせい 近世史研究会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
℡03-3812-2111 1978年創刊
◇40 2018.9 B5 116p
近世の近習小番について 林 大樹
渡辺崋山の蘭書理解
―江戸知識人たちの蘭学受容 矢森小映子
嘉永・安政期の江戸における海防
強化と火薬流通規制―「合薬座」
構想を中心に 菊地 智博
『論集きんせい』総目録
(創刊号から第40号)

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
℡046-225-2060 2010年創刊
◇19 2018.8 A4 4p
古代愛甲郡の山寺と大壁建物への
アプローチ 鈴木 靖民

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24

松島俊樹方 年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇254 2018.7 A4 28p
サイパンで「玉砕」した父 須山 晴夫
俺たち花の一中生(現・城山中)
海野寛さん・橋山明充さん・山
田彰夫さん(昭和23年入学)、杉
山博久さん(昭和25年入学)／フ
ァインプレーの陰に咲く美談
(昭和26年8月2日 神静民報)
二中(現・白鷗中)誕生の頃 平倉 正
小田原の庚申塔を探して 中川 哲也
生誕四百五十年・よみがえる珠玉
の禅画 風外慧薫の足跡を訪ね
て(下) 野地 芳男
二宮尊徳と『論語』(5) 岩越 豊雄
富士フィルム草創期(4) 小田原
工場編(2)「眼」としての光学
ガラス 荒河 純
片岡日記 昭和編(13)
昭和3年8月 片岡永左衛門
史談再録(史談会報 第4号・第5号・
第7号より転載) 風外上人と定
光院の末路 穂坂 辰巳

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会

〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 ℡0465-22-5862 1969年創刊
◇29 2018.6 B5 82p 950円
『小田原地方史研究』創立50周年
によせて
千代廃寺の地震災害による変遷に
ついで考察 津田 守一
小机地域における北条氏による地
域編成 梯 弘人
小田原領曾比村の農民経営と尊徳
仕法(下) 松尾 公就
国民学校における「少国民」教育

井上 弘
 尊徳記念館ができるまで二宮尊
 徳の生誕地栢山における顕彰の
 歴史 坂井 飛鳥
 18世紀後半の葦山金返済をめぐっ
 て一寛政元年酒匂川助成金を巡
 る越訴の紹介 荒木 仁朗
 創立50周年企画 「小田原地方史
 研究会」創立時の思い出
 話し手 宇佐美ミサ子／
 聞き手 下重清・井上弘

◆かまくら女性史の会 Newsletter
 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
 N P Oセンター鎌倉気付
 メールボックス26 2013年創刊
 ◇56 2018.6 A4 2p
 「世界を変える美しい本 インド・
 タラブックスの挑戦」展 本多 順子
 今年は、中学生道徳教科書採択 (郡司)
 図書紹介 『おらおらでひとりい
 ぐも』 若竹千代子著 河出書
 房新社 (曾原)

◇57 2018.7 A4 2p
 「ベルの会」始まりと終わり 桑田 純代
 江刺昭子氏講演会の報告 第三回
 「湘南社」民権講座「かながわ
 の女性史から見る自由民権の時
 代」 さがせみ女性史研究会
 「さねさし」神谷智子

◇58 2018.9 A4 2p
 清田千佐さん、和歌山から鎌倉へ
 曾原糸子／高階志津江／前田セツ
 相模女子大学司書課程授業特別講
 義の報告 黒瀬 聖子

◆クロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡4-15-6

西海賢二方 年1000円 1979年創刊
 ◇153 2018.8 B5 6p
 戦争遺跡における伝承と考古資料
 時枝 務
 三遠信美流れの結節点―限界の山
 村暮らしから(2)～八月の盆行
 事から 西海 賢二

◆寒川町史研究 寒川文書館
 〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
 1 TEL0467-75-3691 1988年創刊
 ◇29 2018.3 A5 90p
 《特集 襖に閉じこめられた地域の歴史》
 特集にあたって 高木 秀彰
 大切な記録が水につかったら？
 一茨城県常総市に学ぶ 宇野 淳子
 襖に閉じこめられた歴史史料を読
 む 多和田雅保
 入澤家襖下張り文書目録 鳥養 圭美
 史料翻刻「東京地所家屋新報」
 講演会記録 寒川を中心として縄
 文時代の貝塚を学ぶ 小林 秀満
 展示記録
 田村通り大山道を歩く 鳥養 圭美
 図書館・文書館 10年のあゆみ
 鳥養 圭美

寒川町史年表稿 (平成28・29年＝
 2016・17)
 表紙解説 「鎌倉江ノ島大山新板
 往来双六」より四ッ谷 (葛飾北
 斎画、神奈川県立歴史博物館蔵)

◆寒川文書館だより
 〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-
 1 TEL0467-75-3691 2007年創刊
 www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp

◇24 2018.10 A4 8p
 資料紹介

五榜の掲示(菊地彰良さん蔵) 平尾 直樹
 『広報さむかわ』による情報発信
 ／町史研究と絵はがき集を発行
 茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業
 幕末維新期の茅ヶ崎と寒川／寒
 川文書館第27回企画展「寒川の
 明治維新」
 茅ヶ崎市文化資料館企画展「茅ヶ
 崎の近代の幕開け―幕末から維
 新へ」／講演会「茅ヶ崎と寒川
 の幕末維新」／図書館展示「明
 治維新150年」／古文書講座「幕
 末維新期の史料を読む」
 三枝家文書が寄託／博物館実習

◆市史通信 横浜市史編集室
 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
 央図書館地下1階 TEL045-251-3260
 2008年創刊
 www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
 ◇32 2018.7 A4 12p
 震災復興とモダン横浜 羽田 博昭
 バラと横浜、バラ行進について 平野 正裕
 森市作が見た蒔田の変貌 百瀬 敏夫
 開架資料紹介
 広報課写真資料一覧 百瀬 敏夫

◆市史研究 横須賀
 横須賀市総務部総務課市史資料室
 〒238-0017神奈川県横須賀市上町1-61
 TEL046-822-2077 2002年創刊
 ◇16 2018.3 A5 149p 500円
 《特集 学童疎開》
 学童疎開・ミニ座談会(1)
 学童集団疎開座談会にあたって 高村 聡史
 諏訪国民学校(平成28年10月20日)
 鶴久保国民学校(平成28年10月26日)

大津国民学校(平成28年11月8日)
 田戸国民学校(平成28年11月17日)
 坂本国民学校(平成28年12月1日)
 戦後七〇年 手記(2)
 馬堀引揚援護所 渡邊 治
 戦争は二度としてはならない 松林 順子
 思い出の徒然(抜粋) 飯塚 正夫
 依知村への学童疎開 石原美枝子
 私の縁故疎開 大西 道代
 海のない疎開地で蜚の海を泳い
 だ 小澤 豊
 学童疎開 竹内 保雄
 縁故疎開二〇年 夏目 冊子
 史料紹介 『新横須賀市史』資料編
 古代・中世拾遺史料三 真鍋 淳哉
 表紙写真の解説

ドックとクレーン(浦賀)
 ◇17 2018.3 A5 130p 500円 *終刊
 《特集 学童疎開Ⅱ》
 学童疎開・ミニ座談会(二)
 学童集団疎開座談会にあたって
 汐入国民学校(平成28年12月6日)
 船越国民学校(平成28年12月22日)
 田浦国民学校(平成29年1月10日)
 豊島国民学校(平成29年1月631日)
 逸見国民学校(平成29年2月14日)
 市民が語る横須賀ストーリー
 横須賀学生連盟と学徒出陣
 ～今井晴夫さんに聞く



表紙写真の解説

旧海軍航空隊技術廠庁舎

＊横須賀市は戦後71年目に当たる2016年度に「学童集団疎開」についての聞き取り調査を実施し、その成果を、『市史研究横須賀』第16号、第17号に分け、同時刊行した。諏訪国民学校など10校の国民学校単位で実施した当時の学童疎開者によるミニ座談会と、第15号(2016.3)「特集・戦後70年」の続編として、市民から応募のあった体験手記を掲載する。胃腸薬の「わかもと」をご飯と一緒に食べたこと、セリを盗みに行ったこと、縁故疎開で土地の子とうまくいなくていじめられたこと、検閲を恐れて正直に手紙が書けなかったこと、集団脱走したこと、友だちと寺に泊まれるのはキャンプみたいだとはしゃいだこと、自立精神がついたこと、ノミ・シラミに悩まされ頭からDDTを浴びたこと、辛いこと、今となっては懐かしいことも、フランクに語る座談会は臨場感があり、貴重な記録である。

なお、市本庁舎分館にあった旧「市史編さん室」は、中央図書館内に移転し、「市史資料室」に改組された。さらなる継承性を期待したい。

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41

TEL0463-33-5111 1977年創刊

www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/

◇41 2018.3 A4 110p

米軍のコロネット作戦に対する第

53軍の本土防衛―鷹取山に構築

された本土決戦陣地遺構群Ⅱ 市原 誠

維新期相模国における治安と「関

東取締出役」 早田 旅人

資料紹介 大磯町寺坂の鈴木房五

郎墓碑(碑文)―碑文にみる生涯

とその思想の特質 岩崎 稔

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開

港資料館気付(吉田律人・西村健)

TEL045-201-2169 年3000円

◇80 2018.6 B5 4p

研究例会 2018年度総会&第108回

例会 2018年度総会、特別展「神

奈川県博物館51周年記念つなぐ、

神奈川県博」見学会、ミニシン

ポジウム「軍事遺跡の保存と活用

―神奈川・東京・千葉の事例

から」千葉毅、吉田政博、高木

彬夫、コメント：上山和雄／次

回の研究例会 第109回例会

情報ネットワーク 展示会情報

会員インフォメーション 中村元

『近現代日本の都市形成と「デ

モクラシー」―30世紀前期／八

王子市から考える』

小研究会の活動状況 首都西郊研

究会、首都圏災害史研究会、マ

イクロ・ヒストリー研究会

◇81 2018.8 B5 4p

研究例会 第109回例会 シンポ

ジウム「首都圏の災害史研究の

現在」土田宏成、谷口裕信・

濱千代早由美、土井祥子、コメ

ント：鈴木淳・諸井孝文／次回

の研究例会 第110回例会 牛

米努『近代日本の課税と徴収』

合評会

情報ネットワーク 展示会情報

シンポジウム案内 首都圏形成史

第109回例会 シンポジウム

首都圏の災害史研究の現在 シ

ンポジウム趣旨

小研究会の活動状況 首都西郊研

究会、首都圏災害史研究会、マ

イクロ・ヒストリー研究会

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-

19-104 寺田兼方方 1980年復刊

shounankouko.jimbo.com

◇152 2018.8 B5 24p

「国立歴史民俗博物館」を訪ねて 永山 鶴一

心の考古学まで(14)-2 国宝 下

野国那須国造碑―海外と記紀と

の接点を求めて 古要 祐慶

新入会員の紹介／哀悼！ 滝沢文

治さん、岡田正義さん

鎌倉、覇府の亡ぶや哀れ

―古要祐慶氏の論文に寄せて 原 信之

小田原市久野多古境遺跡第Ⅴ地点

発掘・見学記―遺跡見学会と発

掘に参加して 成澤 亮

「第1回大庭地区遺跡探訪」に参

加して―主要遺跡の現状から考

える 米 諄

「第13回若手研究者を囲む勉強会」

に参加して 金馬 義郎

「発掘された日本列島2018」見学記

赤桐 邦子

会長 寺田兼方先生 表彰される

平成30年度 湘南考古学同好会定

例総会の記録 須田 英一

伊勢原市上粕屋・子易遺跡(伊勢

原市No.39)について 川嶋実佳子

国指定「虎塚古墳」石室公開から

考える―装飾古墳の保存と公開

の在り方 染谷 七重

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会

〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21

井上弘方 1980年創刊

◇81 2018.8 A5 24p

聞き取り 戦時中のこと、平和観

音像のこと 話し手：安藤康哉

井上弘／香川芳文

手記 戦時下の買出しの思い出 下田 勝也

書籍紹介 吉田裕著『日本軍兵士

―アジア・太平洋戦争の現実』

本会5冊目となる証言集出版の案

内 未来へつなぐ小田原の戦争

体験

続・地域で戦争を伝えるものを調

べて(9) 三島の野戦重砲連隊

の兵営跡 香川 芳文

交流報告 横浜大空襲七三年

「五・二九」横浜大空襲祈念の

つどい参加記 矢野 暁

資料紹介 城内国民学校の『報徳

実践の教育』 井上 弘

最近の『戦争と民衆』目次

(第76号～第80号)

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10

川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106

1993年創刊 chimei.people.co.jp

◇91 2018.7 B5 8p

「八雲」立つ出雲 関 和彦

全国地名研究者出雲大会を振り返

って

吉田 治

出雲大会を振り返って 福島 邦雄

出会い・ふれあい・学びあい 出

雲の神々と地名のご縁に感謝 中島 正韶

出雲の折絶とたたらの景色 千家 統子

はじめての出雲大社 日本遺産：

日が沈む聖地出雲 山口 茂記

奥出雲の奥を知る：「日本遺産：

出雲国たたら風土記」に参加し

て 登木口克己

出雲への旅 曾原 糸子

◆日本の石仏

日本石仏協会（発売：青娥書房）
〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-
409 前川勲方 TEL045-943-4409
年8000円 1977年創刊
www.sekibutukyokai.jp

◇165 2018.8 A5 64p 2000円
巻頭随想 維持することと発展す

ることの両立をめざして 坂口 和子

《特集 石仏探訪XVI》

天道大日如来を追って 中森 勝之

災害と供養塔―千葉県の浅間山噴

火供養塔 石田 年子

殿城庵の石仏など 滝本やすし

再会を喜ぶ肥前狛犬 川野 明正

データベースからみた石橋供養塔

―武蔵国を中心に 南川 光一

第117回石仏見学会報告

東京都品川区五反田駅周辺 中森 勝之

あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

埼玉県の大威徳明王

埼玉県古川市加藤745近く 高野 幸司

柳田国男の丸石 茨城県利根町

・柳田国男記念公苑 岡田 均

石仏入門(19) 庚申塔・II 門間 勇

名号塔の知識(30) 畿内の名号塔

岡村 庄造

会員の広場

貞治仏を求めて 新井るい子

淨蓮寺三十三観音を訪ねて 遠藤 康子

かわうそ 水野 英世

『焼石ドーロクジン』後日談 岡村 知彦

コラム 新潟の山から1

薬師如来道標 田中 英雄

日本石仏協会主催 一泊見学会報

告 山梨県西部南アルプス周辺

の石仏巡り 中森 勝之

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169
年3000円 shutokenshi.org

◇7 2018.7 A4 61p

関東大震災と寺院移転問題―誓願

寺塔頭と築地本願寺末寺の場合

北原 糸子

特集 博物館は高度成長をどう伝

えるか?―地域博物館におけ

る模索と課題

ベッドタウンとしての横浜 岡田 直

多摩ニュータウンとパルテノン

多摩の活動 乾 賢太郎

都市近郊農村の高度成長

―鎌ヶ谷市域を事例に 手塚 雄太

書 評

石榑督和『戦後東京と闇市 新

宿・池袋・渋谷の形成過程と

都市組織』 阿南 透

石榑督和『戦後東京と闇市 新

宿・池袋・渋谷の形成過程と

都市組織』 青木 祐介

『近代日本の都市社会集団』書

評へのリプライ 伊藤 久志

首都圏形成史研究会活動報告

第100回例会 本号特集

第101回例会(首都西郊研究会公開

研究会) 報告要旨

荏田宿青木家文書からみる幕末

の矢倉沢往還 小林 紀子

戦時期「大東京」の形成―公園

緑地整備構想の視点から 平山 剛

第102回例会 報告要旨

町会(任意団体)から町内会(準

地方公共団体)への転換―全

戸加入の論理と行政区・連合

町会・氏子団体 白木澤涼子

第103回例会 予科練平和記念館

施設見学・研究報告

首都圏新刊案内 上山和雄編『軍

港都市史研究Ⅳ 横須賀編』、

大豆生田稔編『軍港都市史研究

Ⅶ 国内・海外軍港編』、土田

宏成『帝都防衛―戦争・災害・

テロ―』、石榑督和『戦後東京

と闇市』、牛米努『近代日本の

課税と徴収』、前橋学ブックレ

ット

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60

青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1/

◇60 2018.6 A5 120p 500円

大田黒元雄と小田原―父大田黒重

五郎と親友関重広と 岸 達志

小田原藩領西大井村の報徳仕法 尾上 武

姉妹の仇討 今川 徳子

橋本樸々『諸佛画集』(5) 橋本 樸々

津軽の竜飛岬を訪ねる 下田 勝也

十八檀林記(5) 青木 良一

文政二年の檀林巡り

小説 川崎長太郎日誌(5)

抹香町附近の雑貨屋 芳賀喜久雄

真言の人・空海(5) 茂木 光春

◇61 2018.9 A5 124p 500円

足柄の自然を愛した大木篤夫

戦後忌避された理由 杉山 博久

石野瑛先生と小田原 岸 達志

荒木村重殿にお尋ね申す 今川 徳子

小田原藩領鬼柳村の報徳仕法 尾上 武

橋本樸々『諸佛画集』(6) 橋本 樸々

関東十八檀林記(6) 幡随意上人 青木 良一

小説 川崎長太郎日誌(6)

抹香町と弁天様 芳賀喜久雄

真言の人・空海(6) 茂木 光春

地図「小田原・大田黒氏邸宅」補

記・訂正 中村 静夫

◆藤沢市史研究

(続)藤沢市史編さん委員会

〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文書

館 TEL0466-24-0171 1970年創刊

◇51 2018.3 A5 59+17p

「堀内家文書」に見る堀内氏とそ

の伝承 伊藤 一美

市民憲章は市民運動から生まれた

高野 修

講座報告

藤沢市史子ども講座「調べよう

！藤沢」実施報告 加藤 厚子

藤沢・江の島を舞台としたいの

りのかたち 相模武士の信仰

～祈りの諸相～報告要旨 松吉 大樹

史料紹介

戦乱期僧侶たちの法談合宿 伊藤 一美

書 評

『古代神奈川の道と交通』(藤沢

市史ブックレット8) 小林 泰文

『古代神奈川の道と交通』(藤沢

市史ブックレット8) 栗田 一生

藤沢市史編さん日誌Ⅰ 1982(昭

和57)年から1985(昭和60)年

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇604 (51-4) 2018.7 A5 24p 350円

結節点としての万年筆

一筆記具の民俗学へむけて 小池 淳一
墨と硯―民具研究からの視点 角南聡一郎
民具短信 モバイルミュージアム
について 昆 政明
◇605 (51-5) 2018.8 A5 24p 350円
頭がけ背負いからリュックサック
型背負いへ―縄文の運搬法から
現代の運搬法へ 下野 敏見
ホウキモロコシを使った座敷箒 塚原 順子
書籍紹介 宮古市北上山地民俗資
料館第20回企画展『昔はどんな
道具だったの?―教科書に登場
する有形民俗資料』調査報告書
浜野 達也
◇606・607 (51-6・7)
2018.10 A5 48p 350円
《特集 暮らしの中のタカラガイ
―先史時代から現代まで》
タカラガイ特集にあたって
木下尚子／黒住耐二
縄文時代のタカラガイ加工品
―その特異な扱いについて 忍澤 成視
タカラガイの利用
―主に近現代の土産品 黒住 耐二
子安貝の誕生 木下 尚子
奄美・沖縄・先島諸島のタカラガ
イ利用 島袋 春美
ミクロネシアの貝製民具 山野ケン陽次郎
資料集
民具短信
伝説の貝製民具
貝砧(カイキヌタ) 田邊 悟
観光貝細工 藤塚 悦司
ホッキ貝の思い出 佐々木長生
海苔掻き具の「カイ」 神野 善治
◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇153 2018.5 A5 136p 680円
《特集 明治の宮廷文化Ⅰ》
装束の「聖地」鶴岡八幡宮 八條 忠基
明治宮廷の年中行事 田中 潤
明治宮殿の造営とみやび 黒川 廣子
明治期の御歌所 宮本 誉士
雅楽と伶人の明治時代 遠藤 徹
明治天皇の食卓―晩餐会と日常食
刑部 芳則
明治天皇の「勲章外交」と宮廷文
化の国際性 ジョン・グリーン
有栖川御流―明治期における皇室
の書との関係から 田中 潤
八幡宮紹介 柏原八幡宮(兵庫県
丹波市柏原町)
新刊紹介 『古代の天皇祭祀と神
宮祭祀』藤森肇著／『江戸天下
祭の研究』神田明神選書5 岸
川雅範著
◇154 2018.8 A5 146p 680円
《特集 明治の宮廷文化Ⅱ》
エッセイ 披講と私 堤 公長
明治天皇の儀礼空間
―明治宮殿と二條離宮 山崎 鯛介
歌御会始と披講 園池 公毅
明治時代の蹴鞠 池 修
美は細部に宿る
―明治神宮の収蔵品 黒田 泰三
明治天皇・昭憲皇太后の御装束 鈴木 真弓
御裳捧持 亀井 茲基
明治宮殿の服装―表と奥の二面性
刑部 芳則
口絵解説 学習院大学史料館蔵近
代の大礼装束について 田中 潤
八幡宮紹介 二川八幡神社(愛知
県豊橋市二川町東町)

新刊紹介 『神道祭祀の伝統と祭
式』沼部春友・茂木貞純編著／
『台湾と日本人』松井嘉和編著
中 部
◆頸城文化 上越郷土研究会
〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ
前盛明方 TEL025-543-4354 1952年創刊
◇66 2018.9 A5 154p
上越市鶴ノ池周辺の弥生時代遺跡
について―後藤守一の調査から
青銅器文化の伝播を考える 関 雅之
ヒスイ文化は何故滅亡したか(4) 土田 孝雄
大嘗祭の成立過程 鰐渕 好輝
親鸞の帽子(襟巻)は恵信尼の勤め
太田 空賢
親鸞上人の竹が前草庵は「まき」
だ 星野 欣也
上越市吉川区の山城 花ヶ前盛明
北国街道―春日新田駅から黒井宿
までの消失した部分を追って 岡田 清
石仏の修験彫刻調査「未知の石彫
刻を活用した、調査法の考案」
例(3)・妙高の釈迦露岩と出土
石(妙高市・関山) 妙高信仰と、
お宝の発掘 吉川 繁
直江津今町の川舟 清水 萬蔵
中村十作と会津降人林義亮 青山 増雄
北国街道と上越地方 花ヶ前盛明
上越歴史散歩(3)
新潟日報カルチャースクール上越教室
岩屋堂観音堂
杵渕トヨ子／細川康子／加藤浩二
岩殿山 加藤 浩二
楞嚴寺と柿崎和泉守景家 山田 宏
居多神社と上杉謙信 花ヶ前盛明
春日山城跡 花ヶ前盛明
春日山城下町 花ヶ前盛明

官修墳墓地～戊辰戦争と高田藩
山田 宏
太岩寺 古川 猛
高橋孫左衛門商店
杵渕トヨ子／細川康子／加藤浩二
関山神社と宝蔵院跡
宝蔵院跡 尾崎 武志
◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
https://fsnp.mints.ne.jp
◇409 2018.8 A5 50p
『北越雪譜』の雪崩と吹雪 鶴巻 武則
雲上佐一郎伝説の世界 佐藤 和彦
棚田稲作と水田名称
―新潟県十日町市 石本 敏也
休み日と伝達方法 金田 文男
和紙の糸 星野 紀子
『高志路』衣の生活特集号好評
岩野笙子／金田文男／熊谷喜作
／近藤忠造／坂井美香／佐藤和
彦／高橋郁子／鶴巻武則／広井
忠男／星野紀子／柳平則子
表紙写真 恙虫送りの際、法螺貝
を先頭に幡を持ち護摩壇を回る
(五泉市善願)
◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6289 1968年創刊
◇76 2018.7 A5 64p 1000円
明治三年・新潟通商司をめぐる騒
動 青柳 正俊
近世後期の地域神職と組織―越後
国古志郡三宅神社の神主・星野
大内蔵に注目して 中澤 資裕

資料紹介 溝口家文書「高田城内
御話面々御米受取帳」の紹介(2)
浅倉 有子

◆ふるまち良寛でまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538
TEL025-378-2202
www.kokodo.co.jp/ryokankai/temarian/
◇24 2018.7 A4 6p
表紙 読書良寛 小島直・画
言霊 會読高僧伝 僧可清貧
良寛さんの道友“有願さん”を訪
ねて 有願さん／有願の里 新
飯田地区
付録 良寛遺墨シート
吉野花筐 解説・小島正芳
良寛百態 高橋郁丸・画
一期一会 良寛の心を学ぶ会

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊
◇161 2018.7 A4 20p
「動物愛護」(山口蓬春・画) や
まぐちほうしゅん(明治26年～
昭和46年)
リレーエッセイ 良寛つれづれ
(10) 良寛禅師のお墓に合掌し
て 桑原 剛
良寛遺墨鑑賞(9)
庸右衛門宛書簡 げた一足 小島 正芳
折々の良寛(50)
第40回総会 長岡大会 長谷川義明
第41回 全国良寛会 佐渡大会
良寛の母の形見「佐渡」に集う
記念講演 「良寛の母のふるさと
佐渡」ー良寛に受けつがれた慈

愛の心 講師・小島正芳氏 文責・宮迫勇
全国良寛会佐渡大会を終えて 山本 修巳
新潟県民生活・環境部長 本間由
美子メッセージ／全国良寛会新
任役員の紹介／各地区良寛会の
会長が交代しました。／来年の
全国良寛会は六月に燕市で開催
第41回全国良寛会佐渡大会に参加
して
良寛様の母の故郷を訪ねて想う
早川 正弘
良寛さんの原点に触れる 渋谷 チヨ
心豊かに二日間の旅でした 安達 武男
すばらしかった記念講演と高校
生の民謡 星野 淳雄
印象に残った中元の碑やトキの
里 木村三千雄
春の役員会開催される 宮迫 勇
「各地良寛会だより」(2) 静岡県
良寛会の巻 良寛無縁の地で発
足 『良寛私考』『校本 良寛歌
集』も世に出す 会田 捷夫
備中玉島と良寛さん(2) 良寛さ
まと、玉島・円通寺(上) 田邊 宏三
相馬御風の良寛(10)
良寛との出会い 金子善八郎
良寛 托鉢の歌 素描(上) 吉田 福恵
トピックス 生誕二百六十年「心
のふるさと良寛」展 東京の永
青文庫で開催／反町タカ子参与
『良寛堂建立の記録』を全国の
図書館・美術館などに贈呈 柳本 雄司
新刊紹介 『良寛ーその人と書(五
合庵時代)』小島正芳著、『良寛
ー野の花の歌』本間明選・解説
柳本 雄司
良寛を訪ねて(10)
霊地 高野山 吉井 清一

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文
書館内 TEL076-434-4050 1954年創刊
◇186 2018.7 A5 78p 1300円
高岡山瑞龍寺伽藍の創建ー加賀前
田家の藩主菩提寺造営 萩原 大輔
加賀藩の参陣行列と参勤交代行列
深井 甚三
富山県関係の米騒動史料(2)ー「富
山県知事報告」等の新たな官憲
史料「小笠原流礼節社約并階
級」について 綿拔 豊昭
太平洋戦争下における食糧増産政
策の実相ー満洲建設勤労奉仕隊
と富山県青少年農兵隊を中心に
高岡 徹
最近の地方史情報 中条 充子

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民
俗資料館内 年4000円 1974年創刊
◇90 2018.9 A5 22p
エチオピアにおける有毒イモ利用
の諸相ーテンナンショウ類を中
心に 藤本 武
富山県魚津市古鹿熊民俗抄(2)
ー人生儀礼を中心に 森 俊
昭和初期、旧西砺波郡若林村(現
小矢部市)西中のヨータカ 加藤 享子
郷土料理「ベンケイ」の200年ぶり
の里帰り 渡辺 礼子

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1986年創刊
ishikawa-rekihaku.jp
◇126 2018.7 A4 6p
平成30年度夏季特別展「発掘され

た日本列島 2018」中核展示
全国巡回展 近年注目の遺跡を
展示 新発見考古速報／特集
装飾古墳を発掘する！／地域展
示「いしかわ歴史発掘」
金沢城下の町並み模型 制作秘話 塩崎 久代
教育プログラム 春季特別展関連
イベント 多色摺り版画をつく
ってみよう
◇127 2018.9 A4 6p
平成30年度秋季特別展「歌舞伎衣
裳 綺羅をまとう」序章 大奥
の御狂言師／第Ⅰ章 明治から
昭和 名優の衣裳／第Ⅱ章 地
芝居と衣裳／第Ⅲ章 梅若の衣
裳と福助座
学芸員コラム
常設展展示替え よもやま話 岡崎 道子
教育プログラム 夏季特別展関連
イベント 自分だけのカラフル
土偶をつくろう 野村 将之
トピックス エヴァンゲリオンと
日本刀展ー刀匠たちが挑んだエ
ヴァンゲリオンの世界
次回展覧会のお知らせ 企画展
「いしかわ中世のやきもの」
◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊
◇306 (63-1) 2018.8 B5 56p
「南越雑話」(3)
一翻刻と現代語訳 「南越雑話」輪読会
幕末の越前山信仰の一般化と「越
前山開運講」 三井 紀生
史料紹介 旧越前福井藩主松平家

の家と「一族」 久保 正明
坂井市の伝説と昔話(1)
一語れるものに 栢谷 洋子
福井県における郷土史研究の動向
一平成29年度分 事務局

◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005山梨県都留市四日市場902-3
2017年創刊
◇3 2018.6 B5 32p
一仙の冤罪を雪ぐのわが使命
一同郷人としての最終弁論 松本 晴雄
落合直亮の妻つる子について 佐藤 弘
近代山梨県経済における日露戦争
恐慌(1907年～)の状況 深澤 竜人
水かけ論について 寛文の上谷村
検地帳を読む(1) 金田準之助

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803長野県飯田市鼎下山538
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
◇94 2018.6 A4 4p
第16回飯田市地域史研究集会
第1部「山里社会～近世から近代へ」、第2部「山里に、向き合う」吉田ゆり子さん・小島庸平さん・前澤健さん／山里の歴史とくらし
飯田市歴史研究所 二〇一八年度研究計画
リレーミニエッセイ(14) 行ってきました！「江渡嶺資料展」(杉並区立郷土博物館分館) 栗谷真寿美
退職に際して 樋口 貴彦
◇95 2018.8 A4 4p
第16回飯田市地域史研究集会 山里社会の歴史とくらし 第1部

「山里社会～近世から近代へ」、第2部「山里に向きあう」
近現代史ゼミ紹介 田中 雅孝
飯田町図紹介「長野県下伊那郡飯田町図」が寄贈されました 羽田 真也
リレーミニエッセイ(15) 森本洲平と胡桃澤盛の同日日記を読む 齊藤 俊江
旧川路村役場文書調査の成果を報告しました 羽田 真也
◇96 2018.10 A4 4p
第16回飯田市地域史研究集会を開催しました 特集 山里社会の歴史とくらし
飯田歴史研2018 受賞者コメント
歴史研著作部門 豊丘史学会『豊丘風土記 第24輯一豊丘から満蒙開拓・第二次世界大戦を考える一』(豊丘史学会、2017年)
歴史研著作部門 公益社団法人南信州地域資料センター『「伊那青年」とその時代』(南信州新聞社出版局、2017年)
歴史研論文部門 上條宏之氏「愛国正理社総理坂田哲太郎昌言についての再考」(『伊那』第65巻第5号、2017年)
奨励賞 佐古新一・佐古香代子氏『古文書が語る常川村史』(飯田共同印刷、2018年)
奨励賞 早苗寿雄氏「戦国期武田氏による下伊那地域の領主支配について」(『信濃』第69巻第11号、2017年)
リレーミニエッセイ(16) 優等製糸家としての喬木館文書が提起すること 田中 雅孝

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1082 (66-7) 2018.7 A5 50p 550円
口絵
大宮諏訪神社式年祭光景之一 櫻井 弘人
鷲流峡を跨ぐ「天龍橋」と地域の人々の生活一第四代橋完成を機に改めて見直す(2) 大原千和喜
木下鈞月『月光風声』(上) 子規派、地方青年俳人の行動と作品 竹村 雄次
天竜川左岸の御社宮司神(1)
一伊那谷南部の小字から(8) 今村 理則
「根羽学校百年のあゆみ」と小戸名分教場 片桐 亀十
補説 天狗党関所通過の関所番の処遇について 吉澤 健
王滝口八海山小屋休泊者名簿にある伊那人一戦前、昭和九～十五年の登山 神村 透
歟不取村のこと 篠田 正信
思い出の昭和(3) 通学苦勞話 三石 尊
思い出の昭和(4) おん火 一子どもたちの年末・年始 山内 尚巳
◇1083 (66-8) 2018.8 A5 50p 550円
《風越山開山1300年記念特集》
口絵 風越山のマンガラ 織田 顕行
飯田権現山(風越山)開山一三〇〇年 白山信仰を辿る歴史と地名 原 董
「伝」開山千三〇〇年
飯田町の権現山 今村 光利
上久堅の権現山
一越久保の白山信仰 岡田 正彦
下條村の権現山
一白山信仰を辿る地名 原 董
風越山における白山信仰と白山寺

織田 顕行

◇1084 (66-9) 2018.9 A5 50p 550円
口絵 南アルプスの聖岳・赤石岳 橋都 正
〈伊那谷研究団体協議会 第20回シンポジウム研究発表 伊那谷まるごと博物館一南アルプスジオパークから考える〉
南アルプスジオパークとは何か？ 坂本 正夫
南アルプスの植生復元について 八幡 秀彦
中央構造線沿いの道「東国古道」 針間 道夫
木下鈞月『月光風声』(下) 子規派、地方青年俳人の行動と作品 竹村 雄次
クルミの思い出 牧内 誠
思い出の昭和(5)
みずあび(昭和二十年代) 今村 朝治
下伊那日録(2013年4月～10月) 寺田 一雄
◇1085 (66-10) 2018.10 A5 50p 550円
口絵 南アルプスの嶺に咲くタカネマントマ 四方圭一郎
生き物との出会いを求め、南アルプスの嶺々をゆく 四方圭一郎
下伊那に見られる湧水や地下水の特徴とその評価を巡る 松沢 徹
飯田市山本久米から伊賀良下中村に分布する地層と断層について 小野 泰彦
伊那谷に被害を与えた歴史地震 坂本 正夫
◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒399-4501長野県伊那市西箕輪3180
山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円
◇738 (62-7) 2018.7 A5 40p 500円
中央アルプス地名考(1)
木曾駒ヶ岳 吉田 保晴
東高遠ヨケと呼ばれる所
一父祖の智を訪ねる 瀧澤 秀人

有賀月松と手良の貴船社俳額 宮原 達明
「登戸研究所」調査研究会の発足 小木曾伸一
第42回全国高等学校総合文化祭
8月長野県で開催―上伊那では
伊那市(郷土芸能)・駒ヶ根市(ポ
ランティア)が会場に 広瀬邦仁／山口通之
古文書の窓(134)
入会山の利用 松澤英太郎
図説・上伊那の民俗(15)
お誕生祝い(飯島町) 三石 稔
◇739 (62-8) 2018.8 A5 48p 500円
《終戦特集》
教育現場から見た上伊那における
「二・四(教員赤化)事件」―『伊
藤泰輔日記』と関係者からの聞
き取りを中心に 矢澤 静二
旧陸軍伊那飛行場の遺構の保存を
めぐって―「環状北線」道路開
設との関わりを中心に 山口 通之
父母の満州開拓・富貴原郷開拓団
の記録 中城 安子
埋められた戦没者慰霊の碑―時代
の流れに翻弄された手良招魂碑
宮原 達明
東春近国民学校の義勇軍送出
一国民学校日誌から 北原 昌弘
図説・上伊那の民俗(16)
千社参り(伊那市美簗青島) 三石 稔
書籍紹介 区誌『上の原のあゆみ』
◇740 (62-9) 2018.9 A5 40p 500円
高遠に残る槍・薙刀―高遠町歴史
博物館収蔵品等から概観する 林 洋一
『古今書院』創設者・西春近村出
身の橋本福松(9)―教員から実
業家へと歩んだその波乱の生涯
に学ぶ 三上 徹也
春近五人衆 片切昌為の動静(上)
宮下 玄覇

伊那市の経塚について(2)
一経典供養塔を中心に 伊藤 和也
古文書の窓(135) 村方百姓に取
り立てられた一札 松澤英太郎
図説・上伊那の民俗(17) 仏迎え
(伊那市美簗六道地藏尊) 三石 稔
新刊紹介 『正岡子規直門 桃澤
茂春(画名・如水)資料(七)―美
術・篆刻・雅楽』 桃澤茂春伝
研究会 編者桃澤匡行 山田 宗夫
◇741 (62-10) 2018.10 A5 48p 500円
《「宮田宿」特集》
伊那街道宮田宿 小池 孝
宮田宿の歴史的建造物 小池 勝典
宮田村の景観を考える会の取り組
み 天野 早人
宮田村の景観計画と歴史保全区域
佐々木 葉
「物語」の再生とまちづくり―一蔵
と町屋の保存・活用に向けて 藤倉 英世
宮田宿の歴史を共有する「宮田ま
ちなか博物館」 増田 大夢
「竹屋」(唐木家) 管見一宮田宿の
中で、生き方を探る 唐木 達雄
宮田宿の本陣について 小池 勝典
宮田村の原始・古代史概要 太田 保
図説・上伊那の民俗(18) 伊那森
神社例祭(駒ヶ根市東伊那) 三石 稔
◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhonme/blogspot.jp
◇113 2018.6 B5 8p
表紙 大野と遠景の本村／大野の
モリキと地の神(1973年3月) 小川 直之

柳田国男記念伊那民俗学研究所と
地域社会―所長就任にあたって
小川 直之
反省の6年―所長退任にあたって
福田アジオ
探訪会報告 柳田国男の「第二の
故郷」を歩く 宮下 英美
本年度総会開催 福田所長退任、
4代目所長に小川先生就任 宮下 英治
書評 伊那民俗研叢書3『民俗の
ことばで探る遠山谷の環境と暮
らし』 野本寛一著 中山 正典
◆史学 義仲 木曾義仲史学会
〒390-1401松本市波田5904-5 千村清文方
TEL0263-92-6815 年3500円 1999年創刊
www.angl.co.jp/shigakukai.html
◇18 2018.9 A5 115p
白山騒動と平家物語の作者―北陸
勢と義仲の協力関係を探る 西川 早苗
ひとくちメモ 恵那神社と義仲
「火牛の計」集成 二川 進
福島県の郷土食「弁慶」 楯 英雄
木曾義昌終焉の地探訪 志村 平治
ひとくちメモ
恵那神社の義仲奉納太刀
勝てば官軍、負ければ賊軍(木曾
義仲と東条英機) 高坪 守男
◆信濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35
年10200円 TEL0263-58-1213
www.shinano-shigakukai.jp
◇822 (71-6) 2018.7 A5 80p 1150円
「海野衆」と武田(海野)龍宝につい
て 寺島 隆史
武田氏の西上野侵攻と国衆等従属
化の史的性格―永禄期を中心と

して 恩田 登
桶狭間合戦の再考察について 武田 健作
あずまに面する信濃の意義 桐原 健
◇823 (71-7) 2018.8 A5 78p 1150円
《考古学特集号》
長野盆地南部における前方後円墳
と居住域 平林 大樹
「信濃布」の考古学 原 明芳
天塚一号墳出土の人物埴輪につい
て 村木 真由
総会報告
信濃史学会2018(平成30)年度
定期総会 事業委員会
信濃史学会に対するアンケート
のまとめ 後藤 芳孝
◇824 (71-9) 2018.9 A5 80p 1150円
《特集 追悼 古川貞雄氏》
古川貞雄氏と信濃史学会 小松 芳郎
古川貞雄さんを偲ぶ 竹内 誠
古川貞雄君追憶―学生時代の端々
土屋 徳重
古川貞雄先生を偲んで 柳澤 哲
古川貞雄先生と信州大学教育学部
日本史研究室 太田 秀保
古川さんを偲んで 井原今朝男
追悼 尾崎 行也
古川貞雄学芸部長との思い出 青木 歳幸
弔辞 越志 徳門
惜別 古川 明子
古川貞雄氏略歴・業績 山田 正子
論文 幕末の小諸祇園祭 土屋 千浩
史料紹介 木曾大滝村にあるベリ
一來航時の写本等 神村 透
書評 二本松泰子著『鷹書と鷹術
流派の系譜』 上條 宏之
◇825 (71-10) 2018.10 A5 84p 1150円
戦国期武田氏家臣団文書の考察 柴辻 俊六
高遠藩藩校進徳館の孔子木像・四

配木像および野口幽谷《聖像》のデザイン—モデルとなった旧湯島聖堂の木像などとの比較 林 洋一
陸軍教導団と長野県の陸軍教導団入団者 伊藤 修

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊

◇166 2018.6 A5 63p
《特集号 地震や災害 その2》
平安時代ヶ岳大崩壊と「仁和の洪水」研究(2)—成果と課題 川崎 保
古文書・言い伝え・痕跡から「戌の満水」を考察する(2) 丸山 厚至
旧白田町域の自然災害 出浦 晃彦
善光寺地震による周辺の災害状況 牧 忠男
連載講座
古文書解読講座 第157回 寺島 隆史
地区だより(更埴支部) 牧 忠男
平成30年度 東信史学会総会報告
扉写真と解説 安良居神社 阿部 勇

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇310 2018.8 A5 72p 800円
口絵・表紙解説 「善光寺四十九霊地 七寺の無常院と正覚院」 小林 玲子
長野郷土史研究会創立六〇周年記念特集
発行所としての長野郷土史研究会 小林 一郎
長野郷土史研究会の実践「郷土

史によるまちづくり」 小林 玲子
総会会場の変遷／年会費の推移／事務所のこれまで／会長著書・共著・編著一覧
「長野」創刊号～第310号発行年一覧／「長野」創刊号～第310号目次—巻頭論文を中心に
善光寺本堂の古鐘 竹前 紀樹
俳人 五仲庵有節 追記 矢羽 勝幸
山嵜儀作が建造に関与した田町(鶴賀田町)の田面稲荷神社 草間 律
長野と全国各地の繋がり(10)
四国で出会った善光寺と一茶 小林 玲子
生きた町の歴史を知ろう(16) 失われた、善光寺へつながら北国街道の一部 小林竜太郎
出版 『NAGANO 検定公式テキストブック改訂版 ながの市完全読本』、『長沼の祭り屋台』、『近世修験の宗教民俗学的研究』、『森鷗外と信州』

◆長野県民俗の会通信
〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 nagano-minzoku.chu.jp
◇266 2018.7 B5 8p
墓地の継承をめぐる(下) 福澤 昭司
第210回例会報告(1) 被災家屋から救出した福俵整理 細井雄次郎
第210回例会報告(2) 小原 稔
農業農村のこれから 三石 稔
松本の天白信仰—浅香家の大天白稲荷大明神社 市東 真一
◇267 2018.9 B5 10p
檀特山はどこか 木下 守
山形村における婚礼について—ふるさと伝承館所蔵 婚礼関係資

料を中心に 大島 幸子
第211回例会報告
人生終焉の儀礼を考える 高原 正文
書誌紹介 俵木悟著『文化財／文化遺産としての民俗芸能—無形文化遺産時代の研究と保護』 下平 武

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇99 2018.6 A4 8p
表紙 提灯絵紙摺込見本 紫陽花 菊池華秋画 勅使河原商店製 昭和3年(1928)
特別展「粋な古伊万里 江戸好みのうつわデザイン」 磁器の美—文様百胎／粋な古伊万里—江戸好みのうつわ
特別展「長良川が育む 竹の造形 和紙の彩—岐阜の伝統工芸とわざ」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 風景との出会い」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 鵜飼に魅せられて」
平成29年度受贈資料
館蔵資料紹介 二行書「帰省途上吟」原三溪書 昭和10年4月、二行書「登比叡山」原三溪書 大正～昭和初期
◇100 2018.9 A4 8p
表紙 よろいを着た古墳人 出土状況 5世紀中葉～6世紀初頭
金井東遺跡 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
特別展「発掘された日本列島 2018」
歴博セレクション「美濃の茶陶—

美濃古陶会コレクションより」企画展「ちょっと昔の道具たち」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 素描の魅力」
博物館ニュース
「博物館だより」100号を迎えて
館蔵資料紹介 長良川鵜飼之図 狩野晴真 絹本著色 時代：江戸時代後期

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇130 2018.9 B5 28p
高山市朝日町秋神のわらび粉作り 道具 日比野光敏
平成三十年度総会時講演会(岐阜県図書館共催) 原山溪を語る ノンフィクション作家・新井恵美子
美濃の関藩・大島雲八と関市迫間の大島氏紹介 横山 住雄
岐阜米屋町外五十四ヶ町村戸長役場の移転と住民の対応 黒田 隆志
伝えておきたい郷土の地誌 木村 稔
「新愛知新聞」に見る仏国飛行教官団の動向と歴史的意義 蓑島 一美
書窓の風
写真でたどる地域の歴史 児玉 剛
平成三十年三月二十九日 郡上市歴史資料館竣工 馬淵 旻修
飛騨の文化財めぐり～飛騨国分寺・国分尼寺跡 茂住 修史
郷土関係新刊書目録(115)
郷土関係逐次刊行物文献目録(113)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-c.jp/
◇134 2018.7 A4 4p 300円
遠江牧と遠江の田遊び 吉川 祐子
◇135 2018.8 A4 4p 300円
東海道旅の難所は大井川 吉川 祐子
◇136 2018.9 A4 4p 300円
成長した大井神社の大祭り 吉川 祐子
◇137 2018.10 A4 4p 300円
元宮の役割について 松本 愷夫

◆古城 静岡古城研究会

〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 TEL054-639-0648 1974年創刊
◇62 2018.7 B5 112p
今川氏の牙城 賤機山城 水野 茂
「大平古城」の再評価ー駿豆国境
における山城遺構に関する一考
察 望月 保宏
井伊谷城と井平城について一考ー
井伊谷城は今川氏が築城した城
高山 新司
上州長井坂城の築城主体に関する
一考察 小高巳季彦
城と『三河物語』の桶狭間合戦 川村 晃弘
城館レポート(17年) 編集 部
表紙 葉梨城(花倉城) 藤枝市花
倉字勝クリ谷(調査・作図 水
野茂)

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇478 2018.7 B5 4p 100円

7月例会レジュメ

1918年米騒動100年 小池 善之
静岡県下の1918年米騒動、その
始まりと再定義、発生理由に
ついて 清水 実
神様になりそこねた江川坦庵と江
原素六ー『武士神格化の研究』
によせて 樋口 雄彦

◇479 2018.8 B5 4p 100円
石油コンビナート反対運動は、国
政にどのような影響を与えたの
かー国会会議録検索システムを
使っての一つの試み 沼尻 晃伸
書籍紹介 「二つの祖国の狭間に
生きるー長谷川テル遺児の半生」
著者：長谷川曉子 大塚佐枝美

2018平和のための富士戦争展
◇480 2018.9 B5 4p 100円
9月例会
伊藤野枝について語ろう！ 小池 善之
図書紹介 今井昭彦著『対外戦争
戦没者の慰霊ー敗戦までの展開』

村瀬 隆彦
防空監視と盲人 足立洋一郎

◇481 2018.10 B5 4p 100円
宮地正人氏の明治維新論ー『幕末
維新変革史』上・下(岩波書店、
2012年)の紹介を兼ねて 橋本 誠一
原口清先生の昔の文章を掲載しま
す。 原口清先生の文 1954年
ある日の調査から 歴史部会
H・K(『民科静岡支部ニュース』
No15 1954年12月1日)、1950年
代「福沢諭吉」について 原
口清(民科静岡支部歴史部会機
関紙『歴史部会ノート』No1
1953.12.20)

◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会

〒421-3103静岡市清水区由比750-306
北村啓気付 年4000円 2011年創刊
◇8 2018.9 A5 131p
シンポジウム記録 近世の駿豆地
域と韮山代官江川氏
シンポジウム「近世の駿豆地域
と韮山代官江川氏」趣旨説明
静岡県地域史研究会

近世中後期の駿河幕領支配
ー韮山代官支配を中心に 厚地 淳司
駿豆における韮山代官の位置
ー公金貸付を中心に 荒木 仁朗
韮山代官領の郡中惣代・郷宿 岡村 龍男
コメント 厚地・荒木・岡村報
告について 渡辺 尚志
討論記録

王権と遠江井伊氏 原田 千尋
室町・戦国期の大給松平氏
ー松平一族の制外の家 小林輝久彦
在国の公家三条西実澄の足跡 土屋比都司

◆静岡県地域史研究会会報

〒412-0043静岡県御殿場市新橋1891-1
厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊
◇219 2018.7 B5 4p
今川範国の駿河府中屋敷について
原田 千尋

6月例会報告要旨
徳川家康と『吾妻鏡』 小和田哲男
5月例会報告要旨
在国の公家三条西実澄の足跡
ー『静岡県史』相違部分の中
心に 土屋比都司
永禄ー元亀年間の徳川家康 本多 隆成

◇220 2018.9 B5 4p
3月例会報告要旨
遠江国高天神城の軍事意義

ー徳川・武田戦争を中心に 平松純之亮
今川氏検地の構造的分析 大野 郁人
6月例会報告要旨 再考「遠州念
劇」ー国衆論の視点から 森田 香司
7月例会報告要旨 今川範国と駿
河府中ー範国屋敷をさぐる 原田 千尋

◆静岡県民俗学会誌

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35
1977年創刊 web.thn.jp/s-folklore/
◇31・32 2018.3 B5 69p 1000円
平成24年度大会記念講演 富士山
北東麓における生態と生業ー地
域環境の制約と可能性 齋藤 暖生
西からの富士参りと駿府浅間社ー
伊勢志摩の富士参りの歌から 荻野 裕子
秋葉灯籠の型式学的分類とその分
布 竹内 直文
ボサマと覚書ー嘲笑の犠牲者にし
ていたざら者 大嶋 善孝
卒業論文発表要旨

教育的観点から見た年中行事
ー『サナブリ』を例として 青野 真子
静岡県の銭湯 湊 雄祐
新刊紹介
吉川祐子『西浦田楽の民俗文化
論』 松田香代子
六車由実『驚きの介護民俗学』中山 正典
中村羊一郎『お茶王国静岡の誕
生』 川口 円子
静岡県にかかわる民俗学関係文献
目録(2012・2013年度) 大嶋 善孝

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35
web.thn.jp/s-folklore/
◇168 2018.7 A4 6p
平成30年度 総会・大会報告

たばこを吸う女 渡辺 好洋
シリーズ食(36)
朴葉のカシワモチ 外立ますみ

◆静岡平和資料センターだより
〒420-0858静岡市葵区伝馬町10-25
中央ビル90 2階 TEL054-271-9004
homepage2.nifty.com/shizuoka-heiwa/

◇62 2018.9 A4 2p
小学校教材セットを貸し出します
静岡平和資料センター 企画コー
ナー展示「清水庵原村一乗寺で
の学童疎開生活」／併設 静岡
平和資料センタへ所蔵資料展示
「静岡の戦争と空襲3」展

◆静岡歴史会報 静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇152 2018.6 B5 12p
平成30年度総会
第120回研究会 篠原旭氏の「〔駿
府談判の意義〕について」の概
要／須山忠治氏の「〔因幡の白
兎〕について」の概要／鈴木康
弘氏の「〔下田の大砲〕につい
て」の概要

◆愛城研報告 愛知中世城郭研究会
〒445-0073愛知県西尾市寄住町燈籠下4
石川浩治方 TEL0563-57-5988

◇21 2017.8 B5 77p+
東端城についての研究ノート 山崎 裕太
報告 西尾市矢田三城について 奥田 敏春
伝・須美千坊(愛知県幸田町所在)
について 石川 浩治
駿河善徳寺御都殿址について 池田 光雄
久昌寺城を考える 関口 和也

大分に伝わった沼田城絵図—中根
家所蔵「上州沼田城絵図」につ
いて 福永 素久
柳城残映—絵葉書から見た名古屋
城・三の丸及び城外東方編 高田 徹
◇22 2018.8 B5 230p+
関ヶ原の戦い関係の一次史料につ
いての検討(1)—鍋島家関係文
書を中心に 白峰 旬
稲沢市の中世城館 高田 徹
地積図と地積帳から城址を読む
一上社城、高田城、寺部城 丸井 国治
備前国における中世山城の縄張り
と年代観—瀧ノ城と鳥取庄の城
館群 畑 和良
三河国幡豆郡の城館
一吉良氏と地域 奥田 敏春
岩倉城ノ浦城の馬出状遺構につ
いて 山崎 裕太
江南市・生駒屋敷(小折城)再考 高田 徹
前田館と薬師ヶ館 関口 和也
土岐市南部の城ヶ根城について 遠藤 久生
名古屋市・島田城について 高田 徹
報告 渡通津城(岡崎市渡通津町)
について 石川 浩治
尾張国知多郡吉川城の所在地につ
いて 内藤 路子
三層・層塔型の西尾城二之丸丑寅
櫓 伊藤 尚武
柳城残映—絵葉書から見た名古屋
城・三の丸及び城外南方編 高田 徹

◆あつた 熱田神宮宮庁
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇159 2018.8 A5 34p
熱田雑集(15) 太田 正弘
熱田神宮献穀八十周年記念御田植

祭 田辺 幸教
創祀千九百年記念造営事業の回顧
(16) 小久保雅広

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫
〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 TEL05
63-56-2459 2004年創刊 iwasebunko.jp

◇57 2018.3 A4 4p
企画展示「こんな本があった!〜
岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告
展15」

次回展示のお知らせ 企画展「公
家柳原家の文庫」

新刊のご案内 『新編西尾市史研
究』第4巻刊行、「西尾城シンポ
ジウム4」講演録の発刊

蔵書紹介 『古今香鑑』(表紙の写
真)(70-62)4冊 江戸時代前期

◇58 2018.6 A4 4p
岩瀬文庫企画展「明治150年 文
明開化の音がする」／展示解説
／特別講座「明治150年を“地
方”で生きるための戦略」岡田
洋司氏／古文書講座「明治の本
を読んでみよう!」

蔵書紹介 『寄笑新文』(72-73)3冊
橋爪錦造編集 明治刊

西尾市岩瀬文庫 絵図・地図類デ
ータベース 完成にともなうホ
ームページ公開のお知らせ

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822
年3000円 1946年創刊

◇230 (73-1) 2018.8 A5 102p 1500円
名古屋周辺の「新地」
一遊里の変遷 小林 元

「ええじゃないか」直前の御嶽百
年祭(2) 田村 貞雄
春日井の俳諧(4) 大野 哲夫
東方令達と『花月帖』 山内 一信

瀬戸の陶芸界・小原の和紙工芸に
大きな影響を与えた藤井達吉 加藤 政雄
名古屋における『テレビドラマ草
創期』の基礎的研究—中部日本
放送 テレビ演出家・山東迪彦
の仕事 補遺 村上正樹／飯塚恵理人
回想 陶貨と代用食と風船爆弾と
入谷 哲夫

名古屋城本丸御殿復元 第三期棟
札について 仙石 聖子
第56回研究会発表要旨 近世後期
における妙興寺の開帳について
一天保十三年を中心に 石黒 智教
第57回研究会発表要旨
参詣にみる秋葉信仰 湯谷 翔悟

◆年報中世史研究 中世史研究会
〒464-8601名古屋市千種区不老町
名古屋大学文学部日本史学研究室気付
TEL052-789-2228

◇43 2018.5 A5 90p 2000円
鎌倉中期東大寺の学侶集団と「惣
寺」—別当定親・定済期を中心
に 三輪 眞嗣
大徳寺十刹化の再検討
一至徳三年説をめぐる 高鳥 廉
書評 川戸貴史著『中近世日本の
貨幣流通秩序』 稲吉 昭彦
駿河今川範氏・範政文書の再検討
一興津氏との関係を中心に 佐藤 博信
中世禅僧の坐禅工夫 池田 文明
新刊紹介 稲葉伸道編『中世寺社
と国家・地域・史料』 上嶋 康裕
追悼 佐藤進一先生を偲ぶ 稲葉 伸道

中世史研究会 2018年度総会・大会 シンポジウム「武家官位から中世を問直す」 報告者：木下聡氏・山田貴司氏 コメント：青山幹哉氏 小久保嘉紀

◆半田市立博物館研究紀要

〒475-0928愛知県半田市桐ヶ丘4-7-3
TEL0569-23-7173
www.city.handa.aichi.jp/hkbutsu/
◇26 2018.3 A4 58p
「西成岩文書―御觸御状留帳―」に見られる明治初期の政府布告 柴田 邦彦

雨乞いのひとつの型(夜叉ヶ池祈願)―夜叉ヶ池別当「長昌寺」(坂内村〈(現)揖斐郡揖斐川町〉)参籠祈願 河合 克己

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇596 (58-4) 2018.7 B5 8p 600円
表紙写真のことば 盆送りの傘ブク 大分県佐伯市米水津 8月15日 坂本 要
東京・境の獅子舞 石川 博司

第48回東海民俗研究発表大会発表要旨 遊ぶ博物館遊べる博物館 武藤 真

椿大神社 入道ヶ嶽奥宮大祭 澤田 洋子
新刊紹介 祭礼行事「柱松」の民俗学的研究 小畑紘一著／年刊藝能 第二十四号 藝能学会

◇597 (58-5) 2018.9 B5 10p 600円
表紙写真のことば 与座のウスデー(巻き踊り) 沖縄県糸満市 与座 旧8月15日 坂本 要

東京・人里の獅子舞 石川 博司
見学記 暮れの「あえのこと」―儀礼に潜む五行説等にある呪術 清水 昭男
第67回全国民俗芸能大会 出演芸能と鑑賞案内／平成30年度 第60回ブロック別民俗芸能大会 出演芸能等紹介／学会情報 日本民俗学会 第70回東京年会 新刊紹介 東三河地方の笹踊りと笹踊り歌 春夏秋冬叢書刊 塚田哲史著

近畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
〒520-0806大津市打出浜15-1
TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
www.biwako-arts.or.jp

◇164 (42-3) 2018.7 B5 96p 584円
《特集 甲賀の忍者》
総論 甲賀忍者を考える 伊藤 誠之
江戸時代のリアル甲賀忍者 渡辺 俊経
甲賀忍者の面影を追って

油日神社、大鳥神社、多聞寺、櫟野寺、矢川神社、明王寺 西田 武史
忍者検定 杉田 利正
『忍者を研究する』ということ 阿刀 弘史
忍者の話題 忍者の話題あれこれ 特別寄稿 「神君実質甲賀越え」と甲賀武士 渡辺 俊経

忍者になってみよう
インタビュー 湖と生きる 新進 気鋭の刀剣作家 北川正忠さん 聞き手・植田耕司／写真・長井泰彦

ぶらり近江はっけん伝(5) 地域には地域の表札がある。滋賀県長浜市の木之本の表札は北近江、湖北。表札は町を象徴し、

郷愁を誘い、歴史と文化が浮かび上がる。 岸野 洋
談話室(23) 「近江名所図会」から見える江戸時代の紙と出版事情 江南 和幸
リサイクルのスズメ「生ゴミの山を宝の山に！」(2) 学校編 市吉田栄治
特集 比良の魅力 くめども尽きない比良の自然美 山本 武人
大津京、万葉をうたう(9) 十市皇女の悲運の生涯

文と曲・林博通／画・鈴木靖将
音楽への誘い(3) 観客を創造する楽しみ 西前 悠
森が育む(12) 小さな自然を発見する魅力 丸橋 裕一
北から南から 赤野井湾クリーン大作戦 松村 太平
里山に土俵を造りました！ 伊東 晃
自動運転車の導入構想 大木 文雄
永原御殿跡を見学 眞壁 四郎

歴史の玉手箱(8) 福井県分置騒動 杉原 悠三
みちくさ近江(6) 「定年」延長で守り継ぐ村祭り(甲賀市土山町黒川) 三宅 貴江
芸術研究家 待(まつ)文麻呂の芸能話(5) 高島音頭
近江の懐(7) 城下町大溝 加藤賢治／石川亮
おもしろ近江考古学(16) 変わった名前前の「トロトロ石器」(大津市真野遺跡) 松浦 俊和

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp
◇121 2018.6 A4 4p

企画展 商家のうつわ―湖東の商家伝来のやきもの 染付芙蓉手花弁に虫図中皿 個人蔵
展覧会案内 6月～9月 企画展 商家のうつわ―湖東の商家伝来のやきもの、テーマ展 彦根城一城の姿と城下町の暮らし、テーマ展 能面いろは―井伊家伝来能面から、企画展 彦根製糸場―近代化の先駆け
三公贈位奉告祭 藤山 兼治

◇122 2018.9 A4 4p
特別展 長曾祢虎徹―新刀随一の匠 脇差 長曾祢興里入道虎徹当館蔵
展示案内 9月～11月 テーマ展 能面いろは―井伊家伝来能面から、企画展 彦根製糸場―近代化の先駆け、特別展 長曾祢虎徹―新刀随一の匠
「雲井」の名を持つ小面に関する一考察 茨木 恵美

◆宇治市歴史資料館年報

〒611-0023京都府宇治市折居台1-1
TEL0774-39-9260

◇2016 2018.3 B5 52p
史料紹介『宇治名勝案内記』 小嶋正亮／岡本京子

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇137 2018.7 B5 240p
朱舜水の肖像画をめぐる 田淵義樹／錦織亮介
大潮元皓の旅と文学 高橋 博巳
隠元禅師語録について(10) 大槻 幹郎

北摂の黄檗廃寺補遺と讃岐高松藩
の黄檗廃寺 石渡 吉彦
続・仙台藩主伊達家の墓碑考察
(子女編) 秋元 茂陽
最後のアジュール大島宇吉の高野
山真別所潜伏生活 野川 博之
古黄檗に関する由来の記述、並び
に日本禅宗史文献について 田中 智誠
黄檗宗の僧と『彦山勝景刺繡』に
ついて 林 観潮
人物書誌大系『河口慧海』補遺(3)
高山 龍三
伊藤若冲と魏皓の関連を探って—
萬福寺文華殿蔵 悟心元明『一
雨余稿』(複写本)とその周辺の
紹介を兼ねて 楊 桂香
仏教音楽観と仏教音楽の美意識
周耘／邵歆歆

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇92 2018.7 A5 64p 1500円
巻頭言 桃と邪馬台国 河越 尚司
二〇一七年 古代史総括 森岡 秀人
大和の水分 平林 章仁
会員ひろば(小休止)
講演「壬申の乱と美濃・尾張勢」
概要 尾関 章
アンデス通信(45) 南米太平洋
岸の漁民文化とその実像を求
めて 市木 尚利
百済観音の飛鳥時代(15) 百済観
音の制作時期を推定する(2) 山下 輝幸

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入

西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
https://www.shibikai1930.com
◇886 (88-6) 2018.7 A5 28p 916円
砥石・石段へ転用の高野山の石塔
と転用の意義について 木下 浩良
調査報告 新居浜、別子銅山の産
業遺産 矢ヶ崎善太郎
第1045回例会
今宮神社と職業の文化財 矢ヶ崎善太郎
第1046回例会
洛北岩倉の文化財を訪ねて 加藤 友視
第32回「石造美術勉強会」報告
甲賀市水口から土山へ 庭園と
石造美術探索 山根 祥司
◇887 (88-7) 2018.8 A5 34p 916円
松浦市・鷹島住吉神社の懸仏群に
ついて(上) 大塚 幹也
益田岩船研究小史 加藤 繁生
第1047回例会 東近江市の永源寺
・百済寺・弘誓寺を訪ねる 野崎小百合
第33回「石造美術勉強会」報告
宇陀市榛原区の文化財と石造美
術 川西きみ子
史迹美術同致会「石造美術勉強
会」第43回 大津市北部の神社
と石造美術
◇888 (88-8) 2018.9 A5 36p 916円
日本庭園・石造美術あれこれ(2)
椿山荘般若寺型石燈籠(中) 尼崎 博正
松浦市・鷹島住吉神社の懸仏群に
ついて(下) 大塚 幹也
第1048回例会 四天王寺・上町台
地の社寺を訪ねる 畚野 博行
第34回「石造美術勉強会」報告
舞鶴市の隠れ寺と石造美術 田中 康夫

◆地名探究 京都地名研究会
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿
町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2003年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇16 2018.4 A4 106p
地名の漢字 鏡味 明克
枕詞「あしひきの」の原義は「峯
引くのか」地名「はしだて(橋
立)」の語源に及ぶ 西崎 亨
地名から仏教濫觴の地、南大阪を
掘り起こす 梅山 秀幸
石碑で辿る京の7口 網本 逸雄
バス停に於ける「口」と「道」と
の違い 清水 弘
薩長同盟締結地「御花畑」発見と
その後の研究成果 原田 良子
宇治茶と地名
——一枚の引札から分かること 桑原 秀樹
名義抄「素」和訓のその後を追う
——原作竹取物語と天神山につい
て 吉田 金彦
地名学講座 難読・難解地名の生
成(下) 糸井 通浩
コラム 新版『広辞苑』が、「先
斗町」解説に会員の杉本説を採
用 網本逸雄／杉本重雄
2017年度地名ウォーク 宇治木幡
に藤原氏の旧跡を訪ねる 酒井 源弘
2016年度地名ウォーク 長岡京跡
の地名を歩く—中山修一先生の
生誕100年を記念して 中尾 秀正

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町
14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/

◇62 2018.6 A4 8p
2018年度総会・講演会報告
講演 地名から日本の古層をさぐ
る 文筆家・伊東ひとみ氏
地名随想 寺のつく地名(16)
本能寺町 清水 弘
第49回地名フォーラムのご案内
発表1 中世祇園会御旅所につ
いて 小西宏之氏、発表2 近
世以降の「西陣」の地理・地名
をめぐって 中井幸比古氏
◇63 2018.9 A4 4p
第49回地名フォーラム報告
発表1 中世祇園会御旅所につ
いて 小西宏之氏 小西 宏之
発表2 近世以降の「西陣」の
地理・地名をめぐって 中井
幸比古氏 中井幸比古
第50回地名フォーラムのご案内
「京丹後の伝承」発表1 浦島
伝説の地名〜水ノ江、墨(澄)ノ
江、園を巡って 森茂夫氏、発
表2 木津郷と木津庄〜古代か
ら中世への変遷 新谷勝行氏
地名随想 寺のつく地名(18)
善長寺町 清水 弘

◆洛北史学 洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5259 1999年創刊
◇20 2018.5 B5 215p
『洛北史学』創刊20周年記念特集号
『洛北史学』創刊二〇周年記念特
集号の発行にあたって 中 純夫
記念エッセー
洛北史学会の二〇周年を迎えて
河村 良枝

一九九〇年代の京都府立大学史学
科—洛北史学会設立への道程 水本 邦彦
洛北史学会前史—研究室の獲得と
研究会の設立 東 昇
ボーナスは印刷代！
—『洛北史学』草創期のこと 上島 享
手作りの学会 岡本 隆司
『洛北史学』総目録（1～19号）
洛北史学会大会テーマ・報告者・
論題一覧（1～19回）
洛北史学会定例大会報告者・論題
一覧（1～19回）
「学校の文化資源」研究序説
—学校史料論の総括と展望 和崎光太郎
大日本平和協会にみる二〇世紀初
頭の「平和」認識と国際秩序観
岡本 真奈
「地獄谷シユギョウ」考—一五世
紀・一六世紀奈良における都市
民と山の関係史 葛本 隆将
「地方メディア」の政党論—島根
県の地方紙・郷土人物誌の分析
から 杉谷 直哉
書 評
京都学研究会編『京都を学ぶ
【洛北編】—文化資源を発掘す
る—』 稲穂 将士
久保田裕次著『対中借款の政治
経済史—「開発」から二十一
ヵ条要求へ』 渡辺 千尋
新刊紹介
天橋立世界遺産登録可能性検討
委員会編『「天橋立学」への
招待』 松田 法子
ジョン・モリッシーほか著、上
杉和央監訳『近現代の空間を
読み解く』 安藤 哲郎
上田純一編『京料理の文化史』岩永 紘和

追悼 山本茂先生 上田 純一
第19回洛北史学会大会
大会テーマ「文化財の現在と
未来—地域の視点から」
文化財盗難被害の現状・対策・
課題—地域の歴史をいかに守
るか 大河内智之
学校歴史資料の現在と未来
—地域研究の視座から 和崎光太郎
地域に生きる文化財—その保護
と継承—昼飯大塚古墳の史跡
整備と活用を例に 中井 正幸
第19回洛北史学会定例大会
西山喬貴氏「英中「不平等条約」
の完全履行を求めて—一八六
〇年代における清朝中国の条
約実践の転換」
島本多敬氏「近世の水利土木行
政における絵図作製と情報集
積—河内国狭山池の事例から」
横内裕人氏「対馬の渡来経巻—
対馬観の再考へ」
◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇74 (26-1) 2018.8 A4 18p
スポット ミュージアムの収蔵品
(71) カメラ Nikon—ベトナ
ム戦争取材した石川文洋氏の
カメラ 兼清 順子
巻頭つれづれ ミス・アメリカ・
コンテストと核兵器 安斎 育郎
着任挨拶 吾郷 眞一
平和教育研究 平和教育センター
主催企画 2017年度映画上映会
&スライドトーク『奪われた村

避難5年目の飯館村民』
平和教育研究 平和教育センター
主催企画 2018年度映画上映会
&ゲスト対談『憲法を武器とし
て—恵庭事件 知られざる50年
目の真実』
運営委員リレー連載 グローバル
・タックスの導入実現に向けて
望月 爾
ミュージアムおすすめの一冊
『イスラームってなに？ シリ
ーズ3 イスラームとせかい』
勝沼聡著 長沢栄治監修 鳥山 純子
ここが見どころ「いのちの画室」
で後ろめたさを抱きしめる 竹中 悠美
◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇367 2018.7 B5 16p
奥家の歴史と文書群—『奥家旧蔵
史料』の寄贈にあたって 細田 慈人
岡本町歴史散策(11)
「南中通岡本字決議録」(1) 立石 元
室町幕府中枢の動きと和泉(5)
二 明応の政変(続) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(38) 中野 恒一
◇368 2018.8 B5 12p
史料紹介
信長の佐野城、所在地判明か 井田 寿邦
2017年度夏の研修旅行 人形峠環
境技術センターの見学 勝矢 寛雄
岡本町歴史散策(12)
「南中通岡本字決議録」(2) 立石 元
たそがれの泉州弁(39) 中野 恒一
◇369 2018.9 B5 12p
日根荘の終焉期の史料—九条植通

の出京・在国と九条家領 廣田 浩治
室町幕府中枢の動きと和泉(6)
二 明応の政変(続) 井田 寿邦
岡本町歴史散策(13)「南中通岡
本字決議録」(3) 四、明治二
十二年から二十六年までを紹介
します(続) 立石 元
第四回「ありとほし薪能」記録
(昨年度公演の記録です)
たそがれの泉州弁(40) 中野 恒一
◇370 2018.10 B5 12p
「古城」は信長の佐野城なのか
—中間報告として 白石 博則
室町幕府中枢の動きと和泉(7)
三 細川政元暗殺 井田 寿邦
滝畑報告(7) 和歌山県が参院申
請書に同意書を指示 事務局
新シリーズ「地域の事典」を発刊
事務局
◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会
〒599-0223大阪府阪南市光陽台4-5-25
林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊
www.eonet.ne.jp/~minshushi/
◇71 2018.7 A5 136p 1000円
神戸における大逆事件関係者につ
いて 上山 慧
人間魚雷「回天」製造の現場から
二宮 一郎
高鍋藩に現れた神仏判然法の様相
—朝藩期の「藩尾録」を中心に 後藤 正人
中世の物語と陰陽師 細田 慈人
眞田山陸軍墓地に見る日清戦争下
の留守家族扶助 中下 秀夫
石山合戦異聞—紀州雑賀衆の戦い
と古座にいた雑賀衆末裔 林 耕二
3.15事件治安維持法犠牲者・久木

興治郎—大阪における足跡を追
う 松浦由美子
グラビア
飛鳥フィールドワーク 写真と文・林耕二

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊

osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇407 (35-7) 2018.7 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(32)
坐摩神社(3) 和久 敦也
平成30年6月例会報告(第382回)
「大火改新前後の外交政策」
西本昌弘氏 (報告・和久)

会員の書評 「軍が警察に勝った
日」昭和八年 ゴー・ストップ
事件(山田邦紀著 現代書館) 加藤 照也

◇408 (35-8) 2018.8 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(33)
難波神社 和久 敦也
平成30年7月例会報告(第383回)
「南蛮船は堺へ入港したか」—中
世堺の海外交易の新事実 中井
正弘氏 (報告・白須)

会員の書評 「天下分け目の関ヶ
原の合戦はなかった」一次資
料が伝える「通説の根底から覆
す」真実とは(乃至正彦・高橋
陽介著 河出書房新社) 加藤 照也

◇409 (35-9) 2018.9 B5 8p

巻頭言「神のおやしろのこと」(34)
「難波神社」 和久 敦也
平成30年8月例会報告(第384回)
「漂流史話」—漂流から見た日本
人の知恵(前近代編) 片倉穰氏
(報告・井川)

平成30年度「大阪歴史懇談会定時
総会」開催

会員の書評 読みなおす日本史
「陸奥伊達一族」(高橋富雄著
吉川弘文館) 加藤 照也

◇410 (35-10) 2018.10 B5 8p

巻頭言「神のおやしろのこと」(35)
「サムハラ神社」 和久 敦也
平成30年9月例会報告(第385回)
「神社巡り入門」—大阪天満宮
和久敦也氏 (報告・朝山)
大阪天満宮の別当・大村由己の出
自について 安居 隆行
会員の書評 『「星座」になった人』
芥川龍之介次男・多加志の青春
(天満ふさこ著 新潮社) 加藤 照也

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇79 2018.8 A5 84p

この言葉(33) 藪田 貫
講演録 幕末期の社会変容と慶応
二年大坂打ちこわし 澤井 廣次
田結莊千里と『古本大学刮目』の
復刻 森田 康夫
大塩平八郎と天文学 澤田 平
大塩平八郎雑感 井上 宏
大塩の乱180年 記念展「時なら
ぬ浪華の花火」

内田正雄／福島孝夫／土井裕子
新メンバーです 小森己智子
資料翻刻「難波美家解」(5)
大塩の乱関係資料を読む部会
池田と能勢騒動 宮元 裕子
大塩ゆかりの地を訪ねて(9) 「大
塩平八郎と洗心洞・その界限」土井 裕子
脇田修先生と大塩事件研究会

一脇田修先生を偲ぶ 藪田 貫

◆かいづか文化財だより テンプス

貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇65 2018.6 A4 8p

表紙 貝塚市内の行基ゆかりの地
と文化財 孝恩寺収蔵庫の仏像
群(木積)／ちご塚(清児)／水間
寺(水間)／水間聖観世音出現の
滝(水間)／永寿池(地藏堂)
貝塚市内にのこる行基伝承 行基
と水間寺／行基と木積の観音寺
／行基と神前船息
千石堀城跡の発掘調査(3)
第1区～第5区

第114回かいづか歴史文化セミナ
ー 講演会「真宗史から見た市
の文化財」を開催しました／
『貝塚市の70年』を読む会 春
の記念講演会を開催しました
古文書講座—市内にのこる身近な
古文書 相楽城請取

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
kakenkyoug2.xrea.com

◇65 2018.7 B5 8p

西南戦争で死んでいった西郷隆盛
の親戚たち 馬原 浩一
家系研究協議会 平成30年度 総
会及び春の例会報告 春の例会
「室町初期の武士の家意識—『難
太平記』を読む—」市澤哲氏 (馬原)
珍名さんいらっしゃい

番外編(3) 馬原 浩一

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円

◇824 2018.7 A4 8p 300円

幕末・維新一五〇年 戊辰戦争に
想う—秋田戦争、そして鳥羽伏
見の戦い 大澤 研一
奥田の蓮取り行事と蓮華会 池田 淳
◇825 2018.8 A4 10p 300円
京都の戦争遺跡(3)

福知山・舞鶴の戦争遺跡 駒井 正明
愛知県の近代建築Ⅱ 名古屋編—
旧春田鉄次郎邸・名古屋城本丸
御殿・東山植物園温室前館 川島 智生
◇826 2018.9 A4 10p 300円
倭姫命の伊勢巡幸(3)—近江国 岡田 登
中世武士団湯浅氏と明恵上人 佐藤 亜聖
◇827 2018.10 A4 10p 300円
春日大社御創建一二五〇年 春日
社縁起と伊賀地方の春日神遷幸
伝承 中野 和正
神武天皇伝承地と登美の古寺をめ
ぐる 森下 恵介

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8307堺市西区北条町2丁10-11
佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円

◇157 2018.3 B5

◇158 2018.9 B5 10p

河童の伝承 下谷 佐吉
日本兵もかわいそう! 森井 淳吉
「上野芝の戦い」の古戦場 岸 繁司
讃岐うどん 岸 繁司
談話会 堺の酒造家など 川村 淳二
例会報告

4 月例会報告 のだふじめぐり
米道 綱夫
6 月例会報告 鍵・唐子遺跡と
杵築神社の蛇巻 生駒 道弘
新代表幹事挨拶
代表幹事就任に当たって 佐原 浩二
民俗談話 阪堺電車と堺 井溪 明

◆除痘館記念資料室だより

洪庵記念会除痘館記念資料室
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
◇11 2018.6 A4 6p
青森の種痘について 福井 敏隆
姫路除痘館再考 古西 義磨
種痘の史跡を訪ねて(6) 除痘館
記念資料室のジェンナー像をめぐって 米田 該典
石灯笼に刻まれた「ドクトル緒方正清」 川上 潤
『除痘館記念資料室だより』総目次 創刊号(平成22年=2010)～第9・10合併号(平成29=2017)
谷三省(見龍・景命)と大坂の除痘館—谷三省版行の引札「除痘の知らせ」をめぐって 浅井 允晶
緒方洪庵と福澤諭吉 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇595 2018.7 B5 26p
6 月・第656回例会の報告 近江
膳所城と移築門を訪ねて 担当
幹事：小川実・藪西旭 報告・小川実
河内狭山陣屋と周辺の城郭 編集部
美濃の山城を訪ねて 大桑城／明

智長山城／妻木城／鶴ヶ城／明知城 坂本 昇
諏訪・高遠のお城(2) 高嶋城跡
／桜城跡／霞ヶ城跡／花岡城跡
／高島城跡／有賀城跡／大熊城跡
／諏訪上社大祝邸跡 高菅 純子
別冊 第657回例会 平成30(2018)
年7月8日 美濃 金山城を訪ねて 担当幹事：栢木隆・平川大輔

◇596 2018.8 B5 26p
7 月・第657回例会の報告 美濃
金山城を訪ねて 担当幹事：栢木隆・平川大輔 報告・栢木隆
此隅山城を訪ねて 坂本 昇
丹波のお城巡り・1—八上城 高菅 純子
別冊 第658回例会 平成30(2018)
年8月5日 狭山陣屋と付近の城～現地にその面影を訪ねる 担当幹事：木下修二・藤岡秀典
◇597 2018.9 B5 24p
8 月・第658回例会の報告 河内
狭山藩陣屋と附近の城跡を訪ねて 担当幹事：木下修二・藤岡秀典 報告・藤岡秀典
二つある但馬八木城 編集部
丹波のお城巡り・2—須知城 高菅 純子
栃木・足利の街を歩いて 川端 義憲

別冊 第659回例会 平成30(2018)
年9月2日 山城淀城と勝竜寺城を訪ねて 担当幹事：小川実・下岡力
◇598 2018.10 B5 24p
9 月・第659回例会の報告 山城
淀城と勝竜寺城を訪ねて 担当幹事：小川実・下岡力 報告・下岡力
美濃阿木城と信濃妻籠城を訪ねて 坂本 昇

丹波のお城巡り・3—周山城 高菅 純子
別冊 第660回例会 平成30(2018)
年10月14日 但馬八木城を訪ねて 担当幹事：水品弘樹・森田又一
付録 八木氏と別所氏 八木城跡
文化財ミニパンフ

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇366 2018.7 B5 16p
継体・欽明朝における出雲とヤマト王権—日本海沿岸における新興勢力について 仁木 聡
◇367 2018.8 B5 18p
古墳時代前期の政権構造について—大和盆地東南部地域の勢力から佐紀・馬見古墳群の勢力へ 田中 晋作
淡輪古墳群と周辺の遺跡を訪ねる 石塚 一郎
◇368 2018.9 B5 24p
ヤマト政権と百済王家の内紛—四世紀末の内乱に関連して 塚口 義信
押熊の里と佐紀古墳群西群を訪ねる 山口 久幸
◇369 2018.10 B5 20p
『日本書紀』の成立(前篇) 荊木 美行
「景初四年」銘鏡の背景 久米 健児

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 井上研究室気付 1951年
創刊 www.historia-osaka.on.arena.ne.jp
◇268 2018.6 A5 111p 900円
源氏長者と氏爵—平安期における賜姓源氏の展開をめぐって 西村健太郎

中世後期東寺における算勘制度の展開 青木 貴史
わたしたちの文化財
府立大阪博物館旧蔵資料 三好 英樹
書評
磐下徹著『日本古代の郡司と天皇』 浅野 啓介
亀田俊和著『観応の擾乱』 山田 徹
川戸貴史著『中近世日本の貨幣流通秩序』 桐山 浩一
訃報 故脇田修先生を偲ぶ 今井 修平
報告 ピースおおさかの展示リニユーアル続報(16)

実行委員(文責・横山篤夫)

2018年度大会報告要旨

考古・部会報告 摂津における埴輪生産の展開と変遷 花熊 祐基
考古・関連報告 古墳時代後期における埴輪生産と埴輪様式の特質 東影 悠
古代・部会報告 古代西日本海地域の水上交通—若狭と出雲を中心に 吉永 壮志
古代・個人報告
加賀立国をめぐる対外関係と地域社会 堀内 和宏
日中比較からみた日本古代の後権 桜田真理絵
中世・部会報告
南北朝室町幕府の政権構造 山本 康司
大名被官と室町社会 川口 成人
近世・部会報告
京都代官役所の幕領・朝廷領支配—摂津国島下郡を中心に 高橋 伸拓
一九世紀堀江新地における「直貼紙一件」の考察 吉元加奈美
近代・部会報告

「皇室財産設定論」再考 池田さなえ
 近衛新体制と「観念右翼」
 一大日本生産党を中心に 岡 佑哉
 近代・個人報告 昭和初期の減
 刑嘆願運動と司法部一軍司法
 との比較を踏まえて 一九三
 〇～三六年 萩原 淳
 ◇269 2018.8 A5 117p 900円
 一国平均役の制度と運用実態一伊
 勢公卿勅使駅家雑事役の検討か
 ら 前田 英之
 戦国期土岐・後斎藤氏的美濃支配
 一用水相論を事例に 石川 美咲
 応永の乱と「足利義氏」 中根 正人
 わたしたちの文化財 ミライザ大
 阪城（旧陸軍第四師団司令部庁
 舎） 森 毅
 書 評
 木村英一著『鎌倉時代公武関係
 と六波羅探題』 高橋 典幸
 池内敏著『絶海の碩学 近世日
 朝外交史研究』 吉村 雅美
 報告 宮内庁書陵部との懇談（20
 18年度） 企画委員会
 ◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
 〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2
 アンティークショップ一兵内
 TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
 osakarekikon.cocolog-nifty.com
 ◇32 2018.8 B5 84p 1400円
 表紙のことは 石見神楽「天神」
 表紙写真：白須一信氏
 玉山金山(12) 松坂 定徳
 石見吉川家十一代目 吉川和泉守
 経實(1) 田村 紘一
 ノモンハン事件
 一一兵士の戦死墓碑について 安居 隆行

悲運の尼歌人 大田垣蓮月と富岡
 鉄斎 中澤 祐一
 史料は待っている 松田 孝一
 礼と女帝評価論(1) 岩谷 隆行
 マルタの大包囲戦 夏原 君代
 日曜歴史散歩一中河内の歴史と伝
 説を訪ねて 室田 卓雄
 明治の旅日記を読む一肥後熊本か
 ら東京・日光へV 寺井 正文
 相良城請取と七人庄屋
 一要家古文書より 磯崎 素子
 船場ことば 和久 敦也
 思い出の記(2) 片倉 穰
 ◆源右衛門蔵 宝塚の古文書を読む会
 〒665-0836兵庫県宝塚市清荒神1-2-18
 宝塚市立中央図書館市史資料室気付
 TEL0797-85-0648 1999年創刊
 ◇20 2018.7 A5 228p
 はじめに(二十号二昔) 和田 正宣
 使用テキストの紹介
 解説文(平成29年6月～30年5月学習)
 御触書并訴状控(享和貳年)(前
 号から続き)[資料番号B59]
 御触書并訴状控(享和三年)
 [資料番号B56]
 特集 あのこと・そのとき
 歴史を共有し、これからの歩
 めを糧とする
 宝塚の古文書を読む会と旧和田
 家住宅 大国 正美
 あの頃から二十年を過ぎて 谷川やす子
 昔を今に伝える(「宝塚てくてく」
 平成12年11月号より)
 あのこと・そのとき
 一日経記者の取材を受けて 和田 正宣
 『別冊』あとがき・宝暦年間米
 谷村絵図(平成16年「源右衛

門蔵」別冊より)
 別冊のこと、など はらだおさむ
 古文書の基本の「キ」
 一寺子屋で教えて 橋本 峻吉
 古文書を読む寺子屋(世話人一
 同・平成18年8号より)
 古文書を読む寺子屋をPRしま
 した(橋本峻吉・平成20年10
 号より)
 「くすりの道修町資料館」ほか、
 歴史ウォッチング 室 明
 『宝塚市史 第二巻』を読んで 櫛田 育子
 「三田の史跡をたずねて」パー
 トⅡ 中安 章夫
 大和郡山・奈良紀行 和田與吉郎
 由緒をたずねて 藤本 清志
 歴史ウォッチングのその後 伊藤 範彦
 「古文書の会の歌」ができた経
 緯について 中安 章夫
 古文書との出会い 川田和香子
 寺子屋の閉講 和田 正宣
 宝塚の古文書を読む会と「在野の
 アーキビスト」論 大国 正美
 「宝塚の古文書を読む会」草創の
 ころ 佐賀 朝
 丁字が滝と見返り岩、その付近の
 ことについて 田野 一哉
 『源右衛門蔵』特別記念号によせ
 て 中安 恵一
 清荒神清澄寺縁起の再考察 直宮 憲一
 宝塚の少女歌劇一たずねて行けば、
 女性と子ども 倉橋 滋樹
 市史資料室保管資料 七條 美樹
 ある定免制の事例 はらだおさむ
 米谷村の歴史風景Ⅲ 増田 勝彦
 「日本の医事制度・薬事制度」の
 創出に貢献した人々 宮本 義夫
 猿甲部周辺と青野道界隈彷徨 杉本 維平

かな文字について 仲井真喜子
 具足屋半兵衛商店の中興の祖 吉井 孝一
 『中山村病人出入日記』を覗いて
 みる(そのⅡ) 和田 正宣
 資料集 開催記録 古文書を読む
 会／歴史ウォッチング／読書会
 のあゆみ
 明治六年米谷村絵図
 ◆史料ネット NEWS LETTER
 歴史資料ネットワーク
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
 年1000円 siryo-net.jp
 ◇88 2018.7 A4 8p
 巻頭言 史料ネットとの出会い 仲田 侑加
 淡路市佐野・西川家文書調査につ
 いて 跡部 史浩
 愛媛県博物館協会研修会で水損資
 料応急処置ワークショップを行
 いました 吉原 大志
 『関賀のあゆみ』刊行に寄せて一
 2009年台風水害被災地での大字
 誌作成の取り組み 板垣 貴志
 ◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
 〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
 TEL079-442-0658 1986年創刊
 ◇76 2018.7 B5 4p
 人を神に祀る風習再考 曾根 文省
 ◆西宮市立郷土資料館ニュース
 〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
 TEL0798-33-1298 1987年創刊
 www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
 ◇48 2018.3 B5 8p
 にしのみやデジタルアーカイブ始
 動一インターネットによる収蔵

資料公開の取組み 笠井今日子
 ひょうごミュージアムフェアにおけるワークショップの開催について 山田 暁
 ◇49 2018.7 B5 8p
 特別展示「八十塚古墳群の時代―武庫平野における群集墳の成立と展開―」 山田 暁

◆西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
 西宮神社内 TEL0798-33-0321
 nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/
 ◇604 2018.7 B5 8p
 ゴードン・スミスが見た不思議なニテコ池 土井久美子
 西宮文化協会五月行事 文化講演会「山口誓子と西宮」 米田恵子氏、神戸大学山口誓子記念館、大いに語る 江寄健一郎
 「西宮」保存箱、玉手箱(55) 武庫郡役所の地―情報公開課資料より 豊田 みか
 ◇605 2018.8 B5 8p
 能楽解体新書(2) 能舞台の幕 森村 暁子
 今在家に在った毘沙門さん 藤田卯三郎
 「西宮」保存箱、玉手箱(56) 西宮警察所―情報公開課資料より 豊田 みか
 エビスカキ道中記(3) その土地の命を語る竹人形「若州人形座」人形芝居えびす座座長 武地秀実
 ◇606 2018.9 B5 8p
 安政四年銀目私札に関係した両替商 藤田卯三郎
 7月行事 見学会 西宮市大谷記念美術館「展覧会の歴史とコレクションのヒストリー」 小野 篁
 「西宮」保存箱、玉手箱(57) 市

役所前線国鉄ガード―情報公開課資料より 豊田 みか
 ◇607 2018.10 B5 8p
 西宮の洋画家 辻愛造(1) 枝松 亜子
 阪神間の成立と十日戎開門神事福男選びの歴史の変遷：荒川裕紀先生大いに語る 江寄健一郎
 「西宮」保存箱、玉手箱(58) 国道四三号沿いの火の見櫓―情報公開課資料より 豊田 みか

◆歴史と神戸 神戸史学会
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
 年3000円 1962年創刊
 ◇328 (57-3) 2018.6 A5 49p 600円
 《特集 もうひとつの神戸近代史》井上秀天と初期社会主義者との関係について―神戸平民倶楽部における活動と大逆事件を中心に 上山 慧
 僕たちの失敗―神戸のアナキスト集団・ロンダ組の行動と挫折 高木 伸夫
 神戸と造船所―「軍隊と地域」の視点から 吉免 涼太
 横溝正史『悪魔の手毬唄』鬼首村を推理する(後編) 渋谷 武弘
 史料ネットワークシンポジウム 地域歴史資料の魅力―集う・学ぶ・活かす
 ◇329 (57-4) 2018.8 A5 57p 600円
 《特集 平家物語と神戸再考》生田の森・一の谷合戦における法皇方搦手勢の進路 田畑 豪一
 福原遷都と高倉天皇 中島 豊
 鉄道開通時に阪神間にできた土木構造物―英国新聞に紹介されたイラストより 高橋 健司

西日本豪雨で被災した歴史資料保全活動へ募金をお願い
 歴史資料ネットワーク
 野坂昭如が小説に書き高畑勲が映画で描いた「火垂るの墓」を記念するために 二宮 一郎
 戦前、大阪の堂ビル洋裁學院の軌跡 吉井 正彦
 ◇330 (57-5) 2018.10 A5 49p 600円
 《特集 ひょうご古代史再考》「日岡陵」についての一考察 中村 和男
 『播磨国風土記』の概念図 小西 規雄
 「日本書紀」絶対年代の謎に迫る 寺本 躬久
 奈良時代の難波宮の京域について―安曇江・中之島から想定する 羽床 正明
 豊岡市「六地藏」の「石津」について 生田 隆
 「自由忌」が支えた椎名麟三の古里は姫路 田藤 新
 地域から 地域の古文書を読んで 三十年 高砂古文書の会の活動 歌井 昭夫
 新聞新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年5月18日～6月17日) 大國正美／有吉康徳

◆大美和 大神神社
 〒633-8538奈良県桜井市三輪
 TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
 ◇135 2018.7 B5 72p
 第14回三輪山セミナーイン東京 講演録 三輪の神話の構造 中村 啓信
 山の神遺跡発見・調査100年 山の神祭祀遺跡出土土製模造品の砂礫組成 奥田 尚
 石製祭具から見る山の神遺跡 篠原 祐一
 山ノ神遺跡の発見と古代祭祀 三沢 朋未

養老律令撰定1300年

◆LUCIFER ルシファー
 奈良人権文化財団 水平社博物館
 〒639-2244御所市柏原235-2
 TEL0745-62-5588 1999年創刊
 www.lmahoroba.ne.jp/~suihei/
 ◇21 2018.10 A5 60p
 企画展・特別展 第18回企画展「公害認定から五〇年 水俣病は終わっていない」を開催して 駒井 忠之
 第21回特別展「部落解放同盟奈良県連合会再建六〇周年―水平社の精神を受け継いで」を開催して 佐々木健太郎
 公開講座報告 2017年度第1回公開講座「ヘイトスピーチと表現の自由」講師：フリージャーナリスト 安田浩一さん
 2017年度第2回公開講座「私たちの五〇年・水俣病公式確認を考える」講師：水俣センター相思社常務理事 永野三智さん・水俣病患者 生駒秀夫さん

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会
 〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1
 前田敬彦方 1998年創刊
 ◇21 2018.8 B5 70p 2000円
 〈小特集 岩橋千塚と天王塚―首長墓最後の前方後円墳を考える〉天王塚古墳の調査と研究の歩み 中村 貞史
 天王塚期の首長墓について 丹野 拓
 横穴式石室地域類型としての岩橋型石室 太田 宏明

土器からみた天王塚古墳 仲辻 慧大
西庄遺跡で飼育されたウマ

丸山真史／覚張隆史／田中元浩
山崎山2号墳出土鉄鏃の再検討 岩井 顕彦
紀伊の馬形埴輪 河内 一浩
資料紹介 和歌山県白浜町日向浦
遺跡(貝殻畠貝塚)出土資料一浦
宏氏収集資料の図化成果(2) 田中 元浩
書評 中村貞史著『紀州陶磁器史
研究』 北野 隆亮
和歌山県の考古学関係文献目録
(2017年) 事務局

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0004和歌山県田辺市上万呂549-3
浅里耕一郎方 TEL0739-25-3794
年2000円 1985年創刊
◇58 2018.8 B5 20p
前本会代表理事 中瀬喜陽氏を偲
ぶ 浅里耕一郎
和歌山県の小森地形(環流丘陵) 吉松 敏隆
校歌と地名 桑原 康宏
三番と四番 堀 純一郎
織豊大名・堀内氏と熊野新宮およ
び那智山 阪本 敏行
勝浦沖秋刀魚遭難

一八丈島の史料から検討する 吹揚 克之
表紙写真説明 秋津野から高尾山
を望む(あおい書店提供)

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮
市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
〒168-0064東京都杉並区永福1-9-1 明治大
学和泉校舎 研究棟事務室気付
TEL03-5300-1156 年3000円 2010年創刊
◇6 2018.6 A5 58p
立山開山と神仏分離令

一立山信仰のはじめとおわり 米原 寛
五来重氏論文『紀州花園村大般若
経の書写と流传』への一考察 平久江剛志
熊野随想
一那智大社扇会式例祭を観て 金山 秋男
私の参土信仰と伊勢 伊藤 裕作
佐藤春夫の紡ぐことば
一『望郷の賦』に触れながら 南 ちよみ

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333 年3000円
◇210 2018.6 B5 2p
総会報告／総会後の研修講演会／
シン垣情報交換会／西行法師生
誕900年記念ツアー／『熊野と神
楽』鈴木正崇先生
◇211 2018.9 B5 2p
西行展・講座見学・聴講ツアー／
山本玄峰老師を偲ぶ／講演会
「下里古墳から分かること」／熊
野本宮大社創建2050年記念シン
ポ／奥三河の花祭 熊野公演／
「那智参詣曼荼羅」の光学的調査

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇30 2018.10 B5 4p
「熊野本宮大社創建二〇五〇」に
想う 金山 秋男
2018年度国際熊野学会熊野例会の
予告 テーマ「西行の和歌と旅」

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312

江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇75 2018.7 A5 104p
唐津寺沢家臣の紀伊徳川家再仕官
寺沢 光世
橋本町塩市の塩仲間と塩販売 笠原 正夫
徳本行者の講への名号授与につい
て 木谷 智史
河西橋一その歴史と構造(1) 武内 雅人
本居宣長の有田紀行 寺西 貞弘
史料紹介 熊野新宮堀内一族にか
かわる江戸時代前期の新出史料
の紹介と解説 阪本敏行／藤井寿一

中国・四国

◆郷土石見

〒697-0017島根県浜田市原井町1023-9
森脇晋平方 1976年創刊
◇108 2018.8 A5 122p 1200円
表紙写真 国指定天然記念物「琴
ヶ浜」全景(大田市仁摩町馬路)
文・山内博道／
写真・大田市仁摩公民館
観応の擾乱が益田氏に及ぼした影
響(上) 岩崎 健
多胡辰敬の本領地は中野村にあっ
たのかー一次史料より多胡氏の
系譜を辿る 富永美恵子
原田庄屋の御用達金 登米 茂行
吉田初三郎 島根と浜田の鳥瞰図
有馬 誉夫
海洋学者・丸川久俊の研究を読む
(2)一鯉漁場調査と水産海洋学
漁業基本調査の実施に関連して
森脇 晋平
新たな「浜田町屋絵図」との出会い
大矢 幸雄
石東安濃郡における米作・麦作の

近代史(1) 池田 誠一
日貫の誇り 山本シゲさんの生涯
山田 明子
島根県水産試験場 島根丸二世乗
船記 鈴木 博也
新むかしばなし(3)一飯田のあら
ひとさん(江津市二宮町) 村上 英明
方言で読む民話 三隅編(1) 神本 晃
町から村から
「コーヒーと共に生きた男 三浦
義武」を観劇して 酒井 董美
郷里点描(6)一明治後期石西歌
壇の一資料 田中 寿朗
ヨシタケのおじさんとおばさん
岩町 功

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
◇195 2018.6 B5 42p
出雲大社の宝物シリーズ(1)
かむだから一出雲大社教機関紙
『幽蹟』より 出雲大社教務本庁幽蹟社
日本遺産「日が沈む聖地出雲」
特集7 大社海岸の変遷 和田 秀穂
特集8(本誌7号から再掲)
稲佐海水浴場に関する文献 中 和夫
特集9(本誌70号から再掲)
養神館の発祥一杵築海水浴場
共同旅館規約 和田 俊正
特集10(本誌167号から再掲)
大社奉納山の経筒について 高橋 周
大社から一記者が見たふるさと(3)
旬を愛でる 大社版アゴ物語 山崎 泰弘
神楽面師一代記
一「素人神楽」を支えるもの 岩成 俊策
企画展「古墳は語る 古代出雲誕

生」 島根県立古代出雲歴史博物館
手銭記念館の四季 不昧公が育ん
だ形と心 佐々木杏里
夏季企画展「ふるさと今昔物語そ
の2—多伎町・湖陵町」
出雲弥生の森博物館(文責・三原一将)
平成30年(2018)1月～3月出雲市大
社町年表 編 集 部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇67 2018.7 A4 10p
宇喜多家騒動と明石掃部 小川 博毅
宇喜多秀家終焉の地・八丈島に岡
山城の石持参贈呈 中山 良二
宇喜多氏の城々(9) 石山の城 出宮 徳尚
物語直家記伝 西大寺辺の城
第38回 姻戚(2) 山重十五郎
宇喜多氏関連遺跡の写真展(12) 矢部 隆正

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳夫 TEL086-942-6156 年1500円
1986年創刊 homepage3.nifty.com/okayama-
chiho/chiho/c-main.htm
◇145 2018.8 B5 34p
近世後期備前児島の廻船業者によ
る瀬戸内・九州での商業活動に
ついて—玉野市和田・義若家文
書をもとに 北村 章
浦上家宿老、島村氏の研究(1)
—島村氏の登場から浦上則宗・
村宗の時代 島村 豊
岡山藩神職組織の形成過程につい
て 次田 元文

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学教育学部 大橋研究室気付
okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/
◇85 2018.6 B5 8p
(第46回全体会の記録)
報告要旨 江戸幕府における勤番
武士の行動規制とその特徴—加
賀藩を事例に 仲泉 剛
参加記
仲泉剛「江戸幕府における勤番
武士の行動規制とその特徴—
加賀藩を事例に—」参加記 深谷 克己
仲泉剛氏の報告を聞いて 藤方 博之

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL086-233-2505 www.o-bunka.or.jp
◇150 2018.7 A5 14p
岡山県の自然保護と自然保護セン
ター 波田 善夫
岡山県郷土文化財団設立の頃 高山 雅之
岡山の人物 番外編 内田百閒・
犬養毅・岡崎嘉平太・生田安宅
岡山の自然 タンチョウの飼育
(後楽園、岡山県自然保護センタ
ー)
岡山の文化財
池田光政公御涼所跡
わが町・わが村の自慢
犬養木堂記念館(犬養生家と記
念館)(岡山市北区川入)
岡崎嘉平太記念館(加賀郡吉備
中央町吉川)
ふるさとの思い出 内田百閒文学
碑(岡山市中区小橋町)
思い出すこと
内田百閒先生と黒澤明監督 高山 雅之

◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方 1973年創刊
◇49 2018.8 B5 82p
《特集 吉田郡山城跡採集遺物》
郡山城跡採集遺物調査報告
郡山城跡採集の陶磁器
郡山城跡採集遺物調査会
郡山城跡採集の土師質土器 古賀 信幸
郡山城跡採集の堆黒 川尻 真
郡山大通院谷遺跡出土の陶磁器 新川 隆
吉田郡山城跡採集の陶磁器雑感
一威信財 村上 勇
“三次地域の古墳研究”報告・討
論会の報告 芸備友の会
「三次の古墳を探る—浄楽寺・七
ツ塚古墳群の造営—」
日本の古墳群の構成と立地を考
える 植田千佳穂
前後のようすから古墳群成立の
要因を考える 伊藤 実
浄楽寺・七ツ塚と三次の古墳群
をどう位置づけるか 村田 晋
「三次の古墳を探る」討論・座
談会の概要
植田千佳穂／伊藤実／村田晋／加藤
光臣／桑原隆博／司会・脇坂光彦
「考古学が見た郷土の歴史」講座
の報告 広島県の旧石器・縄文
時代の生活—旧石器時代を中心
に 沖 憲明
遺跡・文化財の動向—2017(平成
29)年9月～18(平成30)年6月
芸備友の会(文責・脇坂光彦)

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内

TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
hiroshima-u.ac.jp/geishi/
◇312 2018.6 A5 30p 600円
厳島神社兼帯七社の成立—在庁官
人田所氏と厳島神社の関係を手
掛かりとして 瀬戸 一樹
広島県の地方史研究
雑誌目録／研究活動
新聞記事から(2014年1月～6月)
史跡をあらく
上原谷の岩屋権現 文・写真 渡邊誠

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇202 2018.7 A4 16p
神辺町八尋 小山遺跡は前方後円
墳か 田口 義之
研究レポート 木之庄の謎を探る
(1)—特異な地形とその形成 瀬良 泰三
ワンショット・レポート～4月パ
ス例会・猿掛城と茶臼山城
調査報告
中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
山手銀山城跡測量調査報告
文責・杉本憲宏

近世福山の歴史講座 第一次干拓
時代—正保期(1644～48)(2) 高木 康彦
田口義之の備後山城50選(27)
宮高尾氏の居城 高尾城跡
ワンショット・レポート—泊旅
行・湖北に戦国の面影
懐かし写真館 懐かしの昭和の
松永風景(2) 岡田宏一郎
辻堂百景(16) 福山市駅家町服部
本郷「六地藏さん」 秋山 由実
おすすめ図書 今津宿本陣 河本
家文書解説集 岡田宏一郎

歴史夜話 少彦名命は実在した 根岸 尚克
 備後百景 引野町南部をぶら探訪 山口 哲晶
 読者便り 和泉式部祈願塔 後藤 匡史
 ◇203 2018.9 A4 18p
 戦国の贈答品 田口 義之
 研究レポート 木之庄の謎を探る
 (2)―福山城下形成期の木之庄 瀬良 泰三
 近世福山の歴史講座 第二部 第
 二次干拓時代(水野家三代勝貞
 ・四代勝種治世) 高木 康彦
 調査報告
 中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
 古文書解説 「元禄三年剣大明神
 社祭礼費用に関するお触書」に
 ついて 河本 正二
 郷土探訪
 「誠之舎について」思うこと 岡田宏一郎
 田口義之の備後山城50選(28)
 謎の総石垣の城 雲井城跡
 郷土探訪 企画展を鑑賞して 種本 実
 読者便り よみがえる大門町 後藤 匡史
 辻堂百景(17) 福山市沼隈町下山
 南「上林の堂」 秋山 由実
 歴史夜話 記紀の泉津醜女撃退法 根岸 尚克
 備後百景 鞆 仙酔島
 読者便り 西郷どんと火星―西南
 戦争の年に火星大接近 野母 寿子
 ◆広島民俗 広島民俗学会
 〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
 岡崎環方 TEL082-818-3497
 1974年創刊 fs-hiroshima.net
 ◇90 2018.8 A5 88p 700円
 第91回現地研究会
 講演 民俗の聖地 豊松 赤木 勇作
 レクチャー 宮本常一と豊松 佐田尾信作

映画を鑑賞して(座談会)
 研究会報告
 民俗の聖地・豊松を訪ねて 岡崎 環
 研究会参加記
 豊松探訪記 片桐 功
 豊松を訪ねて 石川 律子
 豊松祭時記を観て 原田 隆雄
 原爆投下と大竹海平団 祖父のラ
 イフヒストリーからたどる 愛葉 由依
 本会草創期の功労者
 友久武文先生のご逝去を悼む 藤井 昭
 三村泰臣先生との思い出 尾多賀晴悟
 三村泰臣先生を偲んで 田中 律子
 三村泰臣先生を惜しむ 稲田 公子
 三村泰臣先生を悼む 神楽の本質
 求めた「歩く人」 中国新聞(平
 成30年5月11日)
 報告 太田川放水路完成50周年記
 念事業「あるくみるきく 太田
 川放水路」 正本真理子
 新刊紹介
 『有木物語』次重寛禧著
 民俗交差点 「向原の民俗カルタ」
 ◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊
 ◇106 2018.8 A4 12p
 鴻池善右衛門からの手紙 中畑 和彦
 実りと火の神、愛宕神社 後藤千賀子
 山の形態とその管理(上) 立畑 春夫
 三次町原田家の土蔵を開く 森岡 晋
 平成30年度総会記念講演『寺町庵
 寺を考える―研究の成果と課題』
 ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32

鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932
 ◇328 2018.7 B5 12p
 今月の各地 怪物福岡翁の大往生 鈴木 健次
 福岡相談役に送る言葉
 福岡幸司さんを悼む 宮原 幸司
 福岡さんの死を悼む 大谷 和弘
 福岡幸司さんを偲んで 正田 公佑
 福岡幸司様 ありがとうございます
 ました 山本 公恵
 「福岡さん特別展」のお知らせ
 港町福岡文庫
 ◇329 2018.8 B5 12p
 今月の各地 悲劇の皇太子三原へ 大谷 和弘
 県史協大会案内 平成30年度県史
 協竹原大会の参加者募集! 鈴木 健次
 「福岡さん特別展」の報告
 「福岡さん特別展」の報告 鈴木 健次
 送る言葉(展示会場に用意され
 た短冊への記載文)
 福岡幸司さんありがとうございます
 ました。 正兼 鐵夫
 江戸時代後期の花鳥画における
 “鳥”(4)―「御調八幡宮拝殿天
 井の花鳥画」に描かれた野鳥の
 種の判別をして 三好 邦範
 ◇330 2018.9 B5 12p
 今月の各地 崩れた安全神話 宮原 幸司
 秋のバス研修旅行案内
 月山富田城跡と松江城巡り 鈴木 健次
 江戸時代後期の花鳥画における
 “鳥”(5)―「御調八幡宮拝殿天井
 の花鳥画」に描かれた野鳥の種
 の判別をして 三好 邦範
 ◇331 2018.10 B5 12p
 今月の各地 自然に畏敬を 大坪 一夫
 角屋の読みは? 鈴木 健次

長井浦論争(1) 大谷 和弘
 江戸時代後期の花鳥画における
 “鳥”(6)―「御調八幡宮拝殿天井
 の花鳥画」に描かれた野鳥の種
 の判別をして 三好 邦範
 ◆山口県地方史研究 山口県地方史学会
 〒753-0083山口市後河原150-1
 山口県文書館内 TEL083-924-2116
 1954年創刊 www.ysflh.jp
 ◇119 2018.6 A5 128p
 「明治150年」小特集
 「撫育金七十万両献金」をめぐ
 って 田中 誠二
 吉田松陰・金子重輔密航未遂事
 件の様相―「墨使膺懲」から
 「海外渡航」への転回 下田 悠真
 山口県における行旅病人・行旅
 死亡人関連規則の制定と村役
 場の対応 真木 奈美
 失われた六基の「毛利家銅像」
 が物語るもの 網野ゆかり
 毛利敬親勅撰銅碑と毛利家一勅
 撰碑文の撰文をめぐって 上符 達紀
 天保期、長門国須佐浦への九州鯨
 組の入漁背景とその条件 末田 智樹
 大内氏領国の初代伝説の存在と京
 都組成―朝鮮交易ならぬ京都エ
 ントリーへのロイヤルティ 北川 健
 歴史と現代 今治市村上水軍博物
 館における「新出村上家文書」
 調査の紹介 鴨頭 俊宏
 歴史教育
 多々良女子高等文化学院 小山 良昌
 歴史散歩 下関建築散歩―旧秋田
 商会ビル設計者 高月 鈴世
 発表要旨 第127回研究大会
 仁壁神社の祭神について 渡辺 滋

大内氏の朝鮮向け伝説表明の
 タンスー本体伝説あつての呈
 書伝説の擬態と役割と定義 北川 健
 伊崎絵図について 石川 敦彦
 史料としての石造狛犬 岩崎 仁志
 長井雅楽の失脚と切腹の原因に
 ついて 相島 宏美
 「亀山藩主銅像建設事業」の歴
 史的意義 上符 達紀

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県
 文化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1990年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇112 2018.9 A4 8p
 那賀川の川岸の岩場に咲くナカガ
 ワノギク 小川 誠
 Culture Club 銅製品のサビを見
 てみようー北の脇一括出土銭の
 観察から 植地 岳彦
 平成30年度特別陳列 ごっついで
 那賀川ー博物館資料で見る那賀
 川流域の自然とくらし
 歴史散歩 阿南市羽ノ浦町の横穴
 式石室 岡本 治代
 情報BOX “まぼろし”の青い目
 の人形ーある小学校教師の手帳
 が物語ること 長谷川賢二
 レファレンスQ&A 中央構造線
 の活断層がよく見える場所を教
 えてください。 中尾 賢一

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

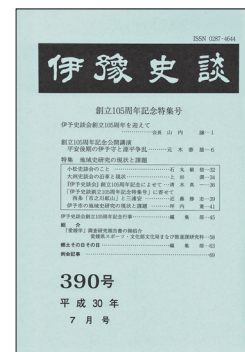
〒791-2101愛媛県伊予郡砥部町高尾田1108
 -3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925
 ◇116 2018.6 A4 16p
 今治市の前方後円墳とされた「古

墳」(3) 大浜前方後円墳・松
 本竹藪上前方後円墳 正岡 睦夫
 考古学からみた伊予の護符(2) 伊
 予の穴あき石(1)ー中与の5例 十亀 幸雄
 ◇117 2018.7 A4 12p
 今治市の前方後円墳とされた「古
 墳」(4) 大谷墓地鉄塔前方後円
 墳 正岡 睦夫
 伊予の石切場(1)
 坂波セリワリ石切場 十亀 幸雄
 四国の石造舟形水船(27) 伊予市
 下三谷泉ノ上墓地舟形水船 十亀 幸雄
 ◇118 2018.8 A4 16p
 今治市の前方後円墳とされた「古
 墳」(5) 三島神社裏前方後円墳
 正岡 睦夫
 河野水天宮に祀る石造物 河原 茂
 伊予における凝灰岩製宝塔(29)
 田倉熊野神社凝灰岩製宝塔・層
 塔 十亀 幸雄
 ◇119 2018.9 A4 20p
 今治市の前方後円墳とされた「古
 墳」(6) 蓮池上古墳 正岡 睦夫
 道後平野における近世有名石工銘
 石造物一覧表 日山 貞治
 伊予の石切場(2)
 白石ノ鼻石切場 十亀 幸雄
 ◇120 2018.10 A4 24p
 四国中央市の古墳(1)
 井地山古墳群 正岡 睦夫
 伊予の中近世石造物の石種と其の
 特徴 奥田 尚
 伊予の修験寺院宝冠寺遺跡(5)
 宝冠寺山伏墓地(4)ー第4準面
 山伏墓地(1) 十亀 幸雄
 考古学からみた伊予の護符(3)
 松山城筒井門西続櫓石垣に刻ま
 れた石仏 十亀 幸雄

『いせきニュースレター』目次 第80号～第120号

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立
 図書館内 1915年創刊
 ◇390 2018.7 A5 71p 750円
 《創立105周年記念特集号》
 伊予史談会創立105周年を迎えて
 ー地方史研究団体はどうあるべ
 きか 山内 譲
 創立105周年記念講演 平安後期
 の伊予守と源平争乱 元木 泰雄
 特集 地域史研究と現状と課題
 小松史談会のこと 石丸 敏信
 大洲史談会の沿革と現状 上杉 潤
 『伊予史談会』創立105周年記念
 によせて 清水 真一
 「伊予史談会創立105周年記念特
 集号」に寄せて 西条「市之
 川鉦山」と三浦安 近藤 勝志
 伊予市の地域史研究の現状と課
 題 坪内 寛
 伊予史談会創立105周年記念行事 編 集 部
 創立105周年記念式典 感謝状贈
 呈 名誉会長 高須賀康生／前
 副会長 門田恭一郎／前副会長



清水正史
 紹介「愛媛学」調査研究報告書
 の御紹介 愛媛県スポーツ・文化部
 文化局まなび推進課研究科
 民間に伝存してきた記録史料 柚山 俊夫
 郷土その日その日 自平成30年1月
 至平成30年5月 編集部(柚山俊夫)
 *伊予史談会は1914年5月に、景浦直孝、西
 園寺源透、曾我部一郎を発起人として発足し、
 105年の歴史を重ねた。100年を越えて現在に
 続く郷土史研究団体としては、1905年の神戸
 史談会に続くもので、誠に慶賀すべきことで
 ある。なお、100年の歩みは、第369号(2013.3)
 に高須賀康生「伊予史談会百年の歴史」とし
 てまとめられている。
 本特集号では、地方史研究団体はどうある
 べきかを問うている。会長の山内氏は「伊予
 史談会創立105周年を迎えて」で、地方史研
 究の分野で一貫して指導的役割をはたしてき
 たのは、戦前もしくは戦後早い時期に設立さ
 れた伊予史談会のような都道府県規模の範囲
 を視野に入れた研究団体であり、それを「伝
 統的研究団体」と位置付ける。これらの団体
 は、いち早く戦前の狭隘な郷土史的研究を脱
 して、実用性の高い地方史研究をめざしてき
 たが、近年は会員数の減少と高齢化により、
 運営や活動に問題が生じつつあると指摘。そ
 の原因は、地域共同体の変貌や会員の意識の
 変化が考えられる。そうした中で、今後のめ
 ざすべき方向性として、学術的深化と地域密
 着性を、「矛盾をはらみながら共存して共通
 のフィールドで研究するののひとつの地方史
 研究のあり方であり、研究団体の運営の仕方
 ではないかと思う」と述べる。特集では他
 に、1949年発足の小松史談会、1917年発足の
 大洲史談会から現状と課題が報告されている。
 山内氏は、学校教育における歴史教育(者)と
 地域史研究の問題にも言及している。地域史

研究の成果は学校教育に活かされるべきであるし、学校教員には地域史研究の現場に積極的に出てきてほしいと思う。こうした議論が全国で活発におこなわれることを願うものである。

九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1

TEL092-643-7075 年5400円 1979年創刊

◇134 2018.7 A5 198p 1250円

巻頭言 邪馬台国以前の世界 編集部
時事古論(7) 稲の来た道論争 安本 美典
〈総力特集 日本人と縄文文化〉

北と南の縄文遺跡

北海道の縄文文化

一東西の特徴を概観する 阿部 千春

世界を目指す JOMON—縄文遺

跡群の価値を考える 岡田 康博

東名遺跡—有明海に沈んだまほ

ろしの縄文文化 西田 巖

日本人はどこから北のか?—航海

者だった祖先たちの謎に挑む 海部 陽介

植物学が明らかにした縄文時代の

植物栽培—ダイズとコクゾウム

シが語るもの 小畑 弘己

〈全国邪馬台国連絡協議会 第4回全国大会〉

纏向遺跡と箸墓古墳を見直す 編集部

邪馬台国大和説と箸墓古墳・纏向

遺跡 関川 尚功

大和・纏向遺跡と箸中山古墳 石野 博信

奈良朝民政史・度量衡史の権威者

澤田吾一氏について 新井 宏

世界遺跡巡り(14) ウルグ・ベク

天文台跡—イスラム天文学の集

大成 井上 修一

物部氏と尾張氏の系譜—上代古典

の神・氏族・自然(2) 神武天皇

か、物部氏祖宇摩志麻治命か 志村 裕子
オトナ女子のコラム

晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり

神社仏閣、縁起めぐり

「八幡絵本宮」宇佐神宮 編集部

自著を語る

『生きた証か、金印の謎』 石田 健二

『神宿る沖ノ島』 堀田はりい

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト

一号館 九州大学文学部日本史学研究室内

TEL092-802-5098 1956年創刊

www.2lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

◇179 2018.6 B5 95p

中世後期宗像氏の朝鮮進出と大宮

司職継承 松尾 弘毅

佐久間象山における朱子学理解

—「居敬」を中心に 韓 淑婷

戦後日本の旧軍人団体と政治運動

—軍人恩給の加算制復活を中心

に 山縣 大樹

書評 内山一幸著『明治期の旧藩

主家と社会 華士族と地方の近

代化』 日比野利信

◇180 2018.9 B5 137p

《『九州史学』創刊60周年記念特集

箱崎と博多湾—都市の重層性と時代性〉

巻頭言 箱崎と博多湾—都市の重

層性と時代性 伊藤幸司／日比野利信

考古学からみた箱崎と博多湾 中尾 祐太

港町複合体としての中世博多湾と

箱崎 伊藤 幸司

近世城下町の形成と箱崎・博多湾

梶嶋 政司

近代の箱崎と博多湾

—大学町の形成 藤岡健太郎

2016年九州史学研究会大会シンポ

ジウム・コメント&質疑応答

司会 日比野利信・水野哲雄／

コメント 仁木宏・柴多一雄／

パネラー 中尾祐太・伊藤幸司

・梶嶋政司・藤岡健太郎

2016年度九州史学研究会大会『九

州史学』創刊60周年記念シン

ポジウム・研究発表要旨

考古学からみた箱崎と博多湾 中尾 祐太

港町複合体としての中世博多湾

と箱崎 伊藤 幸司

近世城下町の形成と箱崎・博多

湾 梶嶋 政司

近代の箱崎と博多湾

—大学町の形成 藤岡健太郎

天智・天武朝の氏上制について

竹井 良介

南北朝期における地方禅宗寺院

領の歴史的展開—日向国大光

寺領を事例として 高橋 啓

戦国期九州の「中人」制 窪田 頌

豊臣政権下の家康と秀忠 小林雄一郎

享保改革期における寺社奉行体

制 中川 晃一

幕末期薩摩藩と諸郷・郷士 豊廣 優貴

近代日本における「宗教法人」

制度の構想とその変遷 林 義大

『九州史学』創刊六十周年記念事

業の記録

◆太宰府市公文書館報

〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1

TEL092-921-2322 2015年創刊

dasai-fu.mma.co.jp

◇29年度 2018.6 A4 64p

平成29年度事業報告 報告

「平成29年度第1回及び第2回

博物館学芸員等スキルアップ

研修会」に参加して 篠崎 将貴

記録管理学会2017年研究大会に

参加して 藤田 理子

「平成29年度ミュージアム IPM

研修」に参加して 篠崎 将貴

水損資料応急処置ワークショップ

に参加して 朱雀 新城

公文書館パネル展示の開催 藤田 理子

公文書館ショーケース展示の開

催 藤田 理子

太宰府市文化ふれあい館におけ

る「太宰府歴史トピック展示」

の開催 重松 敏彦

太宰府の絵師調査について 朱雀 新城

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823佐賀県唐津市旭が丘6-5

年2000円 1962年創刊

◇214 2018.6 B5 20p

木像菩薩立像 芙蓉山医王寺 志佐 惲彦

「天気日和考」解題 田中 明

国宝寺沢貞宗の由来と山田八右衛

門 寺沢 光世

大谷川隧道 仁田坂 聡

唐津・発掘・発見の話(2)

谷口古墳の発掘について 徳富 則久

無縫塔二基 恵日寺の無縫塔／光

孝寺の無縫塔 丸田 利實

平昌冬季五輪に思う 堀川 義英

読み下し

『平松儀右衛門道中日記』(4) 久我 圭子

◇215 2018.9 B5 20p

阿弥陀如来立像 仏徳山常楽寺 志佐 惲彦

明治維新の佐賀と唐津

—戊辰戦争の真実(3) 中里 紀元

国宝寺沢貞宗の由来と山田八右衛

門 寺沢 光世

唐津・発掘・発見の話(3)

谷口古墳の出土品について 徳富 則久
史料にみる幕末小笠原時代の唐津
藩 I 山田 洋
『有浦文書』について III
斑鳩氏のこと (2) 青木 隆
歴史に忘れられた人
一友常典膳覚書 (1) 田島 龍太
古文書史料の紹介 濱口 尚美
読み下し
『平松儀右衛門道中日記』 5 久我 圭子

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会
〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方
年2000円 1995年創刊
https://hakkouitiunotou.jimdo.com
◇85 2018.7 A4 8p
石の証言
お立ち台のある前方の基壇
第28回ウォッチング「八紘一字」
の塔を行います!!
来て、見て、伝えて!! 原発ゼロ
を! 「福島の現在を知る旅
震災から7年が経過した被災地
を訪問」報告 追立 敏弘
米国および日本の略奪財産搜索に
関する占領期の諸政策 (1)
◇86 2018.9 A4 8p
石の証言 北支舞部隊本部
第28回ウォッチング「八紘一字」
の塔／「平和の塔」の歴史 入
試問題に 朝日新聞が報道／福
島原発難民 南相馬市・一詩人
の警告
「紀元二千六百年」と神武天皇 土岐 宗春
トビックス 瀬戸内海に浮かぶ大
久野島 (広島県竹原市) 毒ガス資
料館
「八紘之基柱」の由来碑 山崎 俊幸

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2
宮崎公立大学人文学部 大賀研究室気付
TEL0985-20-2000 年3000円 1993年創刊
◇33 2018.8 B5 57p
犬追物興行の政治的意義
一南九州を中心として 飯ヶ谷音央
大正期における実業補習学校と夜
学会 竹村 茂紀
飯ヶ谷音央「犬追物興行の政治的
意義一南九州を中心として」所
見 関 周一

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇153 2018.6 B5 115p
表紙絵解説 いちき串木野市大里
の内神様を乗せた舟 松原 武実
悪石島の正月行事「初山とトシダ
マ祭り」一伝承過程の変遷を考
える 渡山 恵子
御崎祭り 牧島 知子
伝承石と立神 小川 秀直
長家の石管水道 (いちき串木野市
麓) と他の石管水道との比較 所崎 平
石灰焼窯 近藤津代志
南薩地方の製鉄所 近藤津代志
鹿児島神宮お田植歌小論 松原 武実
「ホトケバアサン (仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」一シャーマ
ンと「内の如様 (にようさん)」
(10) 森田 清美
霧島修験 「異賊調伏御祈禱日帳」
読み解き (7) 森田 清美
比較民俗学への道一民俗研究活性
化の為の試論、他 下野 敏見

資料 安永二年 次渡日帳
川邊 前床重治・編
みんぞく・かわらばん
びなんかずら (美男葛) 小川 秀直

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
年3000円 1977年創刊
◇227 2018.7 B5 8p
7月定例会レジュメ 「死の起源」
神話はなぜ語られたのか一ネフ
スキーの「月と不死」から 宮川 耕次
8月定例会レジュメ 無土器期か
らグスク時代への移行 久貝 弥嗣
宮古上布と苧麻糸
一5月定例会を終えて 新田 由佳
浦底遺跡出土資料の分析成果一貝
斧について明らかになってきた
こと 6月定例会を終えて 山極 海嗣
博物平和展「米軍撮影空中写真か
らみる戦中の宮古」の紹介／平
和展関連行事「上野地区の戦跡
巡り」の紹介 與那覇史香
苧麻と土夏布についての一試論 大西 威人
「宮古島文学」13号発行一今夏創
刊10周年／「来間島の風土と社
会」一理系著者の愛郷心の結晶
／軍事化予定地見学バスツアー
ミサイル基地はいらない住民連
絡会 仲宗根將二
南ふう「花水木」 仲宗根將二
佳麗な家系と四姉妹
◇228 2018.9 B5 8p
9月定例会レジュメ
歴史の舞台を歩く一野崎 事務局
10月定例会レジュメ 中世宮古島
人遠洋通交者の再吟味 大西 威人

「死の起源」神話はなぜ語られた
か一7月定例会を終えて 宮川 耕次
無土器期からグスク時代への移行
一8月定例会を終えて 久貝 弥嗣
二〇一八年 郷土史講座 久貝 弥嗣
「東松照明写真展」及び、関連ワ
ークショップの紹介 東松照明
写真展／ワークショップ「未来
の写真家たちへ」 寺崎 香織
宮古島総合博物館友の会第37回学
習会「星空観察会」 谷口 妙織
おきなわ県民カレッジについて 池城 直
第13回宮古島市民総合文化祭 郷
土史部門 史跡巡りのお知らせ 久貝 春陽
宮古・八重山の御嶽と神社 下地 和宏
「宮古農民弾圧事件」と騒乱罪
小林武教授が〈研究ノート〉発
表 仲宗根將二
ここに『ポー崎』ありき… 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆三沢の方言集
三沢郷土史研究会発足十五周年記念刊行
三沢郷土史研究会・方言研究会編著 (〒033-
0034 青森県三沢市東町1-7-6 馬場操 TEL
0176-53-6843) 三沢郷土史研究会 (〒033-
0022 青森県三沢市三沢字園沢219-221 小
比類香満 TEL0176-54-2583) 2018年9月 B
5 294頁 非売品
平成20年度から取り組み始めた三沢郷土史研
究会・方言研究会の方言研究の成果。名詞・
名称から動作を表すことばまで、動植物から
民俗行事等まで広く網羅することに留意して
2500余語を収録した、普段の生活に密着した
三沢の方言集。巻頭言 (沼田石)／発刊によせ
て (馬場操)／凡例／本文／主な参考資料／ご
協力いただいた方々／本文索引／歴代研究同

人及び刊行委員会組織／研究に携わった同人のことば 方言の用例作成を終えて(中里豊子)、三沢に方言！(赤沼晃)、方言(今までの日常語)の遷り変わりについて(種市嗣彦)、“三沢の方言”を思う(石橋達夫)、方言研究に携わって(及川光男)、ことばはみんな方言(小比類巻満)／賛助の志をよせられた方々一覧／編集後記(小比類巻満)

◆小津久足 陸奥日記 東北文化資料叢書11 東北大学大学院文学研究科東北文化研究室(〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1) 2018年3月 B5 194頁
江戸時代後期の伊勢松坂を本拠とした豪商・湯浅屋与右衛門家の主人で、旺盛な文芸活動を行った小津久足(文化元年(1804)～安政5年(1858))の手による紀行文『陸奥日記』(慶應義塾大学文学部古文書室所蔵本)の全文を翻刻する。小津久足『陸奥日記』刊行にあたって(佐藤大介)／解説『陸奥日記』の位相(菱岡憲司)、「東北紀行」とは何か(板坂耀子)、『陸奥日記』の東北旅行詩的特徴(高橋陽一)／論説 一九世紀の商人・旅行者としての小津久足(青柳周一)／史料 小津久足『陸奥日記』(凡例、上巻、中巻、下巻)

◆柳田國男と東北大学

鈴木岩弓・小林隆編 東北大学出版会(〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1) 2018年4月 A5 296頁 3000円
2011年11月19日・20日に開催された東北大学文学研究科東北文化研究室主催シンポジウム「柳田國男と東北大学」の成果を再構成。現代を生きる柳田國男(野家啓一)／柳田國男と仙台の地(鈴木岩弓)／柳田國男に師事した東北帝大生一大島正隆の民俗学と歴史学(柳原敏昭)／民俗学者の眼に映る鳥一柳田國男の鳥談義と日本野鳥の会の創立(鈴木道男)／柳田國男と軍記物語(佐倉由泰)／方言分布の経年比較一周圏論を視する(小林隆)／エスベ

ラントづいた柳田國男(後藤齊)／戦後改革期の「柳田社会科」構想(水原克敏)／沈黙の記述(戸島貴代志)／特別寄稿 柳田國男のお嫁さん(柳田富美子)／あとがきに代えて一柳田國男の「学問論」(鈴木岩弓)

◆かりやど民俗誌

福島県双葉郡浪江町荻宿地区 東京文化財研究所(無形文化遺産部)(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43) 2018年3月 B5 74頁
2011年3月11日の東日本大震災と直後の原発事故によりかつての姿を失った浪江町荻宿地区の歴史や生活・文化をまとめた貴重な民俗誌。荻宿は花と緑に伝統香る鹿舞・神楽／荻宿民俗誌発刊によせて!!(吉田数博)／かりやど民俗誌刊行によせて(長岡新一)／福島県双葉郡浪江町 荻宿をゆく／荻宿の近代／記録からみた荻宿／暮らしを支えた楮と紙／荻宿の心を伝える無形文化遺産 荻宿の鹿舞(獅子舞と鹿踊り、由来と言い伝え、諸役と演目、練習から本番まで、佐藤良通さんの思い出、遠征と変遷、保存会の規約、鹿舞と猿面、鹿舞のうた、鹿舞の芸態、鹿舞の音楽)／荻宿の神楽／巫女神楽「浦安の舞」／標葉神社と荻宿家／どぶろくづくり／荻宿の年中行事

◆中世鷹飼の春秋一鷹狩の種々相12話・「蒙求臂鷹往来」12か月 山名隆弘著 雄峰社(〒970-8026 福島県いわき市平字田町82-13 八幡印刷株式会社出版部 TEL0246-23-1471) 2018年6月 A5 117頁 1389円
現代に放鷹文化を継承する「みちのく愛鷹の会」代表の著者が、古代から中世前期における放鷹史上の主要な項目を取り上げて解説するとともに、朝廷御厨子所に仕える「御鷹飼」家の下毛野氏の弟子 松田宗岑(明応3年(1493)～永禄2年(1559))『蒙求臂鷹往来』(『統群書類従』巻第365 統第13輯下)の現代

語訳・註記を収録する。推薦のことば(小泉武夫)／はじめに／鷹狩の種々相／蒙求臂鷹往来／参考文献／あとがき

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録49

県内諸家寄託文書43
福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2018年3月 B5 85頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した資料目録の49冊目として、平成28年度に整理を終えた3件の文書群の目録を収録する。佐久間成章文書(451点、福島県伊達郡国見町)／森山区有文書(833点、福島県伊達郡国見町)／國分泰雄家資料(1点、神奈川県横浜市)

◆茨城県立歴史館史料叢書21

佐藤進関係史料 茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2018年3月 A5 394+31頁
茨城県立歴史館所蔵の史料叢書第21巻。「東洋一の外科医」と称された第三代順天堂主 佐藤進(弘化2年(1845)～大正10年(1921))関係史料のうち、古稀記念として編纂された佐藤進の伝記・所有史料集『餐霞録』(大正3年11月)と、諸方面の名士167名から送られた書翰や漢詩文などの史料198点を収めた『名流華翰』13巻(大正4年12月)を翻刻・収録する。解題(石井裕)／餐霞録／名流華翰／人名索引
◆新聞記事にみる長久保赤水 30.8.23～25.8.2 長久保赤水顕彰会編・刊(〒318-0103 茨城県高萩市大能341 佐川春久 TEL0293-28-0405) 2018年9月 A4 64頁 非売品

◆領主・主権展示館特別展示 いったい何者？江戸の地図男！長久保赤水展 実施報告書 2018.7.2 mon～8.4 sat

長久保赤水顕彰会編・刊(同上) 2018年9月 A4 19頁 非売品
はじめに／改正日本輿地路程全図／大清広輿図・唐土歴代州郡沿革図／地球万国山海輿地全図説／大日本史地理志／赤水没後も広く愛されたEDOのトラベルマップ・赤水図／竹島と赤水図／内閣官房『領土・主権展示館』連携事業「いったい何者？江戸の地図男！長久保赤水展」(高萩市出身、江戸時代の地理学者 長久保赤水)を終えて(佐川春久)／『マンガ 長久保赤水物語』の感想文を募集中
◆埼玉県秩父郡長瀬町 井戸上郷の民俗 一成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻 松崎研究室 民俗調査報告書7 松崎憲三監修 松崎かおり編 成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻 松崎研究室(〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20) 2018年3月 A4 352頁
成城大学文学芸学部文化史学科学生の調査実習成果『埼玉県秩父郡長瀬町 下郷・中郷の民俗』(2012年3月)に続き、2010年8月から2015年3月にかけて行われた成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻の現役・卒業生有志による調査報告書。はじめに(松崎憲三)／地理的環境と歴史的概況(松崎かおり)／村制一村の構成と自治(松崎かおり)／畑作を中心とする農業(荒一能)／養蚕(佐野和子)／漁撈(金子祥之)／交通路と生活領域一里の道・山の道・川の道(金子祥之)／族制一家々のつながり(松崎かおり)／衣生活(佐野和子)／食生活(松崎かおり)／住生活(齋藤一生)／産育儀礼(猿渡土貴)／婚姻儀礼(猿渡土貴)／葬送儀礼(齋藤一生)／年中行事(荒一能)／社寺への信仰(及川祥平)／民俗宗教(及川祥平)／病への対応(猿渡土貴)／伝説と世間話(及川祥平)／参考文献一覧／秩父郡長瀬町井戸 民俗調査日程記録／あとがき(松崎かおり)
◆歩いてみよう 志津 史跡いま・むかし

宮武孝吉著 大空社出版 (〒114-0032 東京都北区中十条4-3-2 TEL03-5963-4451) 2018年9月改訂・解題 A5 196頁 1200円
佐倉市志津地区の史跡・文化財を紹介した『志津の史跡と名所』(2000年7月、自費出版)の改訂新版。志津地区7地域の文化財を訪ね歩き、写真などを交えわかりやすく紹介する史跡散歩。先崎／青竹／小竹／上座／井野／上志津／下志津／志津地区の文化財／志津地区の保存樹／調査ノート(旧版、旧版発行以後のこと)／コラム 土の径を踏みしめ風を感じながら(山中弘信)、小竹城址と里山保全活動(飯田富雄)、林性寺の謎、井野町とは、志津城址に城主の骨壺が?、文化財破壊事件、創作民話 隠し砦の上峠城跡(上山ひろし)
◆空襲被災者と戦後日本 展示図録 東京大空襲・戦災資料センター2017年特別展 東京大空襲・戦災資料センター (〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631) 2018年3月 A4 97頁
東京大空襲・戦災資料センターの特別展展示図録。空襲で傷を負った戦災被害者や戦災遺族について、2015年4月から始まった空襲被災者運動研究会による共同研究の中間報告とともに、全国戦災障害者連絡会の故杉山千佐子氏寄贈資料をはじめ各地の空襲遺族団体や名古屋空襲訴訟に関わる資料など、新たに収蔵した資料を紹介する。「空襲被災者と戦後日本」関連年表／総力戦と空襲／空襲被災者運動の展開／戦災被害者の戦後史／終わらない戦後—エピソード—
◆金屋子神縁起—たたらへの神の物語 2017年度日本・東アジア文化学科「卒業論文準備ゼミール」「卒業論文ゼミナール」(福原敏男担当)報告書 福原敏男・原辰吉・沼賀健一郎・中島美芙由・児玉寿美編 (〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1 武蔵大学 福原敏男研究室) 2018

年3月 A5 61頁
序文(福原敏男)／本文『金屋子神縁起』／コラム 遺愛寺の鐘(原辰吉)、真金吹の歌(原辰吉)、えびす神について(沼賀健一郎)、『もののけ姫』から見る中世社会構造の変化(沼賀健一郎)、性神としての金屋子神(児玉寿美)
◆隅田川花火の三九〇年 すみだ郷土文化資料館開館二〇周年記念特別展 すみだ郷土文化博物館編・刊 (〒133-0033 東京都墨田区向島2-3-5 TEL03-5619-7034) 2018年5月 A4 200頁
すみだ郷土文化資料館開館20周年記念特別展の展示図録。さまざまな花火関係資料157点を通して、最初の隅田川花火とされる寛永5年(1628)の天海鑑賞の花火以来、390年にわたる隅田川花火の歴史をたどる。隅田川花火のはじまり／船遊びと中洲花火／打上花火と川開大花火／隅田川の夕涼文化／科学文化と両国広小路／子供花火からおもちゃ花火へ／武士の狼煙と花火／明治の花火／大正・昭和の花火／戦後の復活・中断から現在へ／エピソード 全国の花火との交流／解説 花火・狼煙の技術書の三類型(福澤徹三)／資料編 花火秘伝集、南蛮流火術花火伝書、在心流火術第一等～第五等(六冊)／論考 享保一八年隅田川川開開始説の形成過程(福澤徹三)
◆ライフヒストリーふちゅう 新府中市史 民俗分野報告書(一) 府中市 (〒183-0023 東京都府中市宮町3-1 ふるさと府中歴史館内 文化スポーツ部ふるさと文化財課府中市史編さん担当 TEL042-335-4376) 2018年3月 A4 211頁
市制施行60周年を機に平成26年から始まった新府中市史編さん事業の一環として、市史編さん民俗専門部会が平成27年から29年度に実施した市民のライフヒストリー調査成果の一部(35名)をまとめる。「ライフヒストリー」とは(八木橋伸浩)／〔まつり〕 提灯、武蔵国

府太鼓、お囃子、花火、祭礼用品／〔職人〕 畳、鳶、木工、車大工、建具／〔つくる〕 農(梨)、養鶏、豆腐、養魚、染物／〔商う〕 写真館、玩具、石材、呉服、酒場、貸衣装／〔根付く〕 漁、家の行事、地域行事、競馬場、旧家、地域貢献／調査者の記録(民俗専門部会委員11名)
◆民権家の創作と精神世界 民権ブックス31 町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508) 2018年3月 A5 94頁
2017年度第二回特別展『民権家の創作と精神世界』の記録／記念講演Ⅰ 多摩の豪農と在村文化—多摩郡連光寺村富澤政恕の文芸と思想(清水裕介)／記念講演Ⅱ 大沼枕山と多摩の豪農との交流(安田吉人)／史料紹介 石阪公歴の創作・学習関連史料(井上茂信・杉山弘)
◆民俗的世界の位相—変容・生成・再編 松崎憲三先生古稀記念論集編集委員会編 慶友社 (〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361) 2018年3月 A5 583頁 13000円
葬送儀礼、墓制の変貌—墓じまいおよび寺院離れを視野に(松崎憲三)
〔第一部 民俗信仰の探求〕〈人を神に祀る〉古代の歌人を祀る習俗(福西大輔)、義経信仰をめぐる予備的考察(及川祥平)、陶磁器産業と職祖信仰(高木大祐)、佐倉惣五郎観の変遷(佐山淳史)／〈祈りと願い〉天にて比翼の鳥となる(前田俊一郎)、雷電信仰の現在(林洋平)、見沼地域周辺における弁天信仰の諸相と課題(宇田哲雄)、六十六部をめぐる史実と伝承(乾賢太郎)、御柱祭における鳥居の建立(金野啓史)、「めがね弘法」の信仰と目薬(越川次郎)
〔第二部 暮らしとまつり〕〈生業の工夫と選択〉遊漁としての釣り文化(鄧君龍)、東京湾内の肥料としての貝《キサゴ》(秋山笑

子)、描かれた明治期の天蚕飼育(佐野和子)、「銘菓」のなかの蚕糸業(吉井勇也)、野菜の品種転換に関する予備的考察(荒一能)／〈祭事・儀礼の継承〉神楽を演じる地方公務員(田村明子)、女が創る祭の見せ場(菊田祥子)、謡の師匠に伝えられた「小笠原流」の婚姻儀礼(村尾美江)、「無形文化財」としての古武道の位置づけ(小山隆秀)
〔第三部 現代へのまなざし〕〈地域社会との共生〉里山はなぜ桜の山となったのか(金子祥之)、子育てと災害伝承(猿渡士貴)、ある被災地復興のその後(中野紀和)、柳田國男の伝承観と自治論(加藤秀雄)／〈民俗学の資料と情報〉四コマ漫画に描かれた世相(菅野剛宏)、英語圏とドイツ語圏における日本民俗学の紹介状況と今後の課題(ゲラット・クリスチャン)、地方民俗学界の再活性化策を模索する(吉原睦)、民俗展示の模型が内包する情報(松田睦彦)
◆無形文化遺産への道—ユネスコ無形文化遺産条約と地域の遺産 第12回無形民俗文化財研究協議会報告書 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 無形民俗文化財研究室 TEL03-3823-4925) 2018年3月 A4 115頁
2017年12月18日に開催された第12回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(山梨絵美子)／基礎講座 ユネスコ無形文化遺産とその制度(今石みぎわ)、無形文化遺産を取り巻くユネスコと世界の状況—無形文化遺産保護条約の政府間委員会での審議から(二神葉子)、韓国における無形文化遺産保護とユネスコ無形文化遺産条約(朴原模)／事例報告 アマサンミクス—海女漁の技術の来し方行く末(小濱学)、神楽のユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取り組み(米良勝也・野添和洋)、問題提起(久保田裕道)／総合計

議 コメンテータ(俵木悟)、コーディネータ(久保田裕道・今しみぎわ)

◆「高下日記」7—昭和22年～昭和25年

大和市史資料叢書15

大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当 大和市(〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 電話046-260-5336) 2018年3月 B5 252頁

大和市下鶴間在住の高下春美氏の祖父恭介氏が大正8年(1919)1月1日から昭和35(1960)1月9日まで、約42年間にわたり書き留めた日記「神前録」。本書には、昭和22年から昭和25年までを収録する。解題(樋口雄一)／神前録(昭和22年1月～昭和25年12月)／参考資料『大和町勢要覧 昭和25年版』(部分)

◆相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(11)

—明治8年(上) 藤沢市史料集42

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2018年3月 A5 138頁

藤沢市史料集第40集(2016年3月)に続き、旧相模国鎌倉郡小塚村の「御用留」(彦坂増蔵家文書)のうち、明治8年前半期4冊と、太政官布告や神奈川県通達の発翰番号と各村への通達枚数などを記した文書をまとめたと思われるもの1冊を収録。明治8年1月「御布達其他雑誌」／明治8年2月中旬「御用雑誌」／明治8年4月10日「御触達其他雑誌」／明治8年第6月上旬ヨリ「御用留」／明治8年分「月々之御布告収領表」

◆黒部市宇奈月町 下立民俗誌

富山民俗の会編集・執筆(〒930-0881 富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内) 調査協力:下立民俗調査協力会 2018年3月 A4 90頁

黒部川左岸の北陸上街道沿いに発達した農山村 黒部市宇奈月町下立地区の民俗調査報告書。衣(島田章代)／食(高木好美)／人生儀礼

(島田章代)／伝統的民家(森俊)／年中行事(森俊)／農事暦(森俊)／下立の馬仲間(藤本武)／川漁(加藤享子)／植物の利用(加藤享子)／雪と生活(森俊)／村にいた山案内人(京免芳雄)／下立の庚申講(白岩初志)／御影様迎え(加藤享子)／獅子舞(森俊)／下立地区の盆踊り(成川正幸)／伝説(安カ川恵子・谷口環)／ゴッホが一目ぼれした謎の美人画、お光(長谷川勇)／石仏・石塔(白岩初志)／寺社(安カ川恵子・谷口環)／民具(安カ川恵子・谷口環)／明治以降、下立について記した資料について(太田久夫)

◆菊田日記1 第一番～第六番

富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書2

富士吉田市歴史民俗博物館編・刊(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411) 2018年3月 A4 306頁

平成29年度に行われた市指定文化財『菊田日記』(全36冊)についての古文書調査の成果。上吉田村の御師菊田の当主 菊田式部広道が、享和3年(1803)から天保6年(1935)までの33年間にわたって菊田家や上吉田村の出来事を記し続けた貴重な記録である。解説 菊田日記1(第一番～第六番)について(菊池邦彦)

◆飯田・上飯田の民俗2

飯田市地域史研究事業・民俗報告書7

飯田市美術博物館 柳田國男記念伊那民俗学研究編・刊(〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118) 2018年3月 A4 269頁

2009年9月から開始された飯田・下伊那の民俗調査における市民からの聞き書きを中心にまとめられた『飯田・上飯田の民俗1』(2013年)につづく第2集。総説 飯田・上飯田の概要(櫻井弘人・中山京子)／〔I 飯田・上飯田の生業〕商家の営みと習俗(北原いずみ・中山京子)、職人の技術と伝承(松上清志・八木洋行・櫻井弘人・今井啓・中山京子)／

〔II 信仰〕飯田・上飯田の神社(櫻井弘人・中山京子・折山邦彦)、寺院(今井啓)／〔III 祭礼と民俗芸能〕飯田のお練り祭り(櫻井弘人)、本町三丁目大名行列(塚平寛志)、飯田の煙火とキョオイ(櫻井弘人)、その他(櫻井弘人)／〔IV 子どもの遊び〕(片桐みどり)／〔V 記録映像〕(浜島司)

◆平成29年度長崎県学術文化補助事業

「黄檗文化と長崎」調査研究報告書

黄檗山萬福寺文華殿(〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄三番割34 TEL0774-33-1199) 2018年3月 A4 46頁

序(原田博二)／明末清初における中国仏教界と隠元禪師(原田博二)／浙江における黄檗文化史跡に関する調査・研究報告(林観潮)／黄檗宗の開立における長崎唐寺の役割(田中智誠・林観潮)／日中両黄檗間における交流について(田中智誠)

◆京都を学ぶ 丹波編—文化資源を発掘する京都学研究会編 ナカニシヤ出版(〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15 TEL075-723-0111) 2018年3月 A5 214頁 2200円 「京都の文化資源」を発掘する研究プロジェクトの成果『京都を学ぶ 洛北編』(2016年)に続く第2弾。〔I 丹波の領域と自然〕丹波の国へ、丹波の国から(金田章裕)、コラム 丹波の峠道(原雄一)、コラム 地図アプリを使って道を歩く(原雄一)、コラム トチノキ今昔(阿部健一)、丹波の森林資源の多面的な役割(伊勢武史)、コラム ダムという歴史(阿部健一)／〔II 丹波を彩る町並みと文化財〕丹波の方墳と坊主塚古墳の盾持人形埴輪(高橋克壽)、美山を中心とした平安仏の魅力(井上一稔)、丹波地域を彩る民家と町並み(大場修)、コラム 伊能忠敬測量の道を歩く(原雄一)、コラム 鉄道のまち福知山(久保雅義)／〔III 丹波を彩る人びと〕明智光秀の丹波支配(山本浩樹)、コラム 本能寺の変

の道を歩く(原雄一)、見ぬ京物語は本意あらずじ(藤原英城)、紫宸殿田楽と西田直二郎(斉藤利彦)／〔IV 近代交通と産業〕郡是と近代丹波の蚕糸業(矢口芳生)、コラム 波多野鶴吉の創業理念(矢口芳生)、コラム 福鉄を彩る多種多様な運行機材たち(久保雅義)、コラム 北丹鉄道廃線跡を歩く(原雄一)、保津川下りをめぐる船頭の展開(河原典史)、コラム SLの運転技術(久保雅義)

◆収蔵資料調査報告書20 宇治郷の古文書 宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2018年3月 B5 60頁

宇治市歴史資料館が収蔵する資料の目録と解説からなる収蔵資料調査報告書第20冊として、開館以来調査収集・研究に努めてきた宇治茶業関係資料のうち、宇治郷会所の「留日記」をはじめとする宇治市役所文書についてまとめる。はじめに(小嶋正亮)／宇治茶関係文献案内(坂本博司)／御用と茶師、そして宇治郷会所あたりからの素描(坂本博司)／史料翻刻 宇治郷留日記(抄)(坂本博司)／宇治市役所文書目録(小嶋正亮)／収蔵資料調査報告書

◆舞鶴・京丹後地域の文化遺産

京都府立大学文化遺産叢書14

東昇・菱田哲郎編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2018年3月 A4 205頁 京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産についての研究成果報告第14集。〔第I部 多門院地区の文書と活用〕舞鶴市多門院区有文書解題(東昇)、多門院区有文書目録(京都府立大学文学部文化情報学研究室・舞鶴地方史研究会)、「加佐郡多門院村水帳」について(有賀陽平)、明治初期多門院村の家族と縁組(廣瀬友佳)、明治期の「多門院村全図」と地名(正田彩花)、明治前期多門院・滝尻の山論と裁判(東昇)、世代を超えた連携と

「多門院地区歴史探訪」への取組(新谷一幸)、多門院歴史探訪、秋の多門院歴史探訪ウォーク(水野拓也)／〔第Ⅱ部 舞鶴地域の文書と石造物〕安田重晴氏「近隣府県西国街道しるべ」(小室智行)、伊佐津村「御用日記附覚帳」・解題(東昇)／〔第Ⅲ部 京丹後地域の文化遺産〕大宮壳神社および薬師堂の石造物(京都府立大学文学部考古学研究室・地理学研究室)、大宮壳神社・周枳地区の建造物(岸泰子)、大宮壳神社所蔵の境内出土遺物(向井佑介)、京丹後市における文化遺産の活用プログラム(近藤史昭・上井佐紀)、古墳時代の祭祀遺跡から神社へ(菱田哲郎)、丹後における横穴墓の立地とその階層性(中村彰伸)

◆人と自然 民俗のダイナミズム

一野本寛一全著作目次総覧

山形健介編著 大河書房(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-7-8 関山ビル TEL03-3288-3354) 2018年7月 A5 320頁 4500円

民俗学者・野本寛一氏の最初の著作『石の民俗』から最新の『生きものの民俗誌』に至るまでの約30の単著をはじめ、論考・編著書45点、講演・対談14点を目次と解説により紹介。また、専門的用語・語句や著者独自の概念などにも簡単な解説を加え、それぞれの目次を通して広大な“野本民俗学”の全容に迫る。総説「野本民俗学」の足跡と魅力／Ⅰ 著作／Ⅱ 論考・編著書／Ⅲ 講演・対談／全著作目次の主要用語・語句／野本寛一略歴

◆民具歳時記―河内木綿栽培日写

往生院民具供養館編・刊(〒579-8061 大阪府東大阪市六万寺町1-22-36 TEL072-981-2597) 2018年4月 A4 44頁

往生院民具供養館(川口哲秀館長)において行われている綿繰りから収穫にいたるまでの河内木綿の栽培の過程を、綿の成長の様子を細かく捉えた写真とともに紹介する。河内木綿栄枯盛衰―江戸時代の中河内の綿作と商品流

通(池田治司)／河内木綿栽培日写(川口哲秀)

◆講座・古代王権の興亡 1 新興首長層の台頭と群集墳 妙見山麓遺跡調査会紀要27 神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555) 2018年8月 A4 22頁

妙見山麓遺跡調査会主催の新講座「古代王権の興亡」第1回(2018年8月21日)の記録。わが国在来の墓制について／群集墳とはなにか／西嶋定生氏の仮説(要旨)／西嶋仮説の問題点／はたして古墳は墓か?／妙見山麓遺跡調査会紀要・既刊一覧

◆徳川大坂城東六甲採石場詳細分布調査報告書―甲山刻印群G地区(通称仏性ヶ原) 西宮市文化財資料65

西宮市立郷土資料館編(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298) 西宮市教育委員会刊(〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2018年3月 A4 67頁

平成24年度から28年度にかけて行われた徳川大坂城東六甲採石場甲山刻印群G地区(西宮市甲山町41番の一部)の詳細分布調査、範囲確認調査の報告書。調査目的と調査経緯／位置と環境／詳細分布調査／範囲確認調査／文献からみた東六甲採石場「文献史料からみた兵庫県東六甲地域における大坂城普請の採石」高田祐一／調査のまとめ／図版

◆文化財資料目録 第一集 浄橋寺文書(西宮市指定重要有形文化財) 西宮市教育委員会編・刊(同上) 2018年3月 B5 197頁

国指定2件、県指定1件、市指定7件の指定文化財を有する浄橋寺所有の浄橋寺文書(西宮市指定重要有形文化財)の目録。昭和28年調査による「浄橋寺文書」目録、昭和31年から始まった『西宮市史』(全8巻)の編纂事業などを踏まえて行われた浄橋寺文書3019件(3131点)の悉皆調査(平成27年9月17日から平

成30年3月30日)の成果である。西宮市指定重要有形文化財「浄橋寺文書」の概要／浄橋寺文書目録／浄橋寺文書追加目録

◆西宮歴史調査団年報 2016年度版 西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2018年3月 A4 37頁

西宮市立郷土資料館実施の文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成28年度活動記録。平成28年度の活動概要／石造物の調査／橋梁の調査／古文書の調査／竜吐水の調査／活動報告会／調査を終えて／付載「西宮歴史調査団通信」2016.4月号～2017.3月号

◆八十塚古墳群の時代―武庫平野における群集墳の成立と展開 西宮市立郷土資料館 第34回特別展示

西宮市立郷土資料館編・刊(同上) 2018年7月 B5 15頁

西宮市立郷土資料館第34回特別展示の展示案内図録。『摂津志』(享保19年)にも記載が見られる八十塚古墳群と周辺の後期古墳から出土した副葬品を通じて、武庫平野における群集墳の成立と終焉、次の時代への変遷について紹介する。群集墳・八十塚古墳群／八十塚古墳群成立以前／八十塚古墳群とは／西宮の後期古墳／周辺の後期古墳／群集墳の終焉と奈良時代／参考文献・関連報告書

◆歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体との連携事業(16) 平成29年度事業報告書

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編 神戸大学大学院人文学研究科(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566) 2018年3月 A4 58頁

自治体や地域住民と連携しながら、兵庫県内各地の歴史資料の保存・活用や歴史遺産を活かしたまちづくりを支援していくことを目的に、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターが2002年から進めている事業の報告書

第16集。序 歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業の進捗状況について(奥村弘)／地域の歴史文化をめぐる情報の共有や交流の促進 第10回歴史文化をめぐる地域連携協議会 住民主体の〈地域史づくり〉―平成大合併後の状況の中で／歴史文化を活かしたまちづくり支援と自治体史の編纂協力／歴史資料・災害資料の保全・活用／地域歴史遺産を活用できる人材の育成／地域連携センターを拠点とするプロジェクト／地域連携研究と研究成果の発信

◆水平社博物館20年の歩み

駒井忠之編 奈良人権文化財団水平社博物館(〒639-2244 奈良県御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588) 2018年5月 A4 99頁

1998年4月に「水平社歴史館」として発足した水平社博物館の20年にわたる歩みをまとめる。感謝と喜びで20周年を迎えて(川口正志)／水平社博物館展示の概要／沿革(略年表、特記「エセ同和」行為裁判(1998年～1999年)、水平社博物館前「ヘイトスピーチ」事件(2011年1月22日)、『「全国水平社創立宣言」と関係資料」を世界の記憶に(2014年3月～2016年9月)、ユネスコ アジア太平洋地域「世界の記憶」登録(2016年5月19日)、FIHRM(国際人権博物館連盟)に日本で初加盟(2015年12月))／水平社博物館の事業／年度別来館者数、記念入館団体／施設概要

◆四国番外霊場 久妙寺総合調査報告書

四国遍路と霊場研究4

胡光編 愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター(〒790-8577 松山市文京町3 TEL089-97-9312) 2018年3月 A4 154頁

四国遍路・世界の巡礼研究センターにおいて平成27～29年度に行われた愛媛県歴史文化博物館等との共同研究報告書。四国番外霊場 梵音山弘法院久妙寺(西条市丹原町久妙寺、

金崎義昌住職)が所蔵する約7300点の未公開資料についての彫刻、絵画、工芸品、古文書、古記録、聖教調査の成果を収録する。久妙寺の仏像(武田和昭)／久妙寺の書画―逸然筆《白衣観音像》の紹介とともに(長山健)／久妙寺所蔵の工芸品について(石岡ひとみ)／久妙寺所蔵の版木について(今村賢司)／久妙寺棟札・祈祷札・墨書板(高嶋賢二)／久妙寺の古文書(胡光)／久妙寺文書目録(胡光・鈴木あかり編)／久妙寺の歴史(胡光)

◆米良の桜 宮崎から見た歴史断片

みやざき文庫

黒岩昭彦著 鉦脈社(〒宮崎県宮崎市田代町263 TEL0985-25-1758) 2018年3月 B6 283頁 2000円

近代における宮崎県や宮崎神宮にゆかりのある人物が織りなした歴史のドラマを描くエッセイ集。明治の黎明(寺田屋事件余話―大久保利武の託言、日向路の岩倉具視、谷干城將軍の感涙―日記に見る宮崎所縁の人物との交

流)／宮崎神宮信仰余滴(勤皇の志士財部實秋の生涯、「密偵」か教育者か―謎多き野村綱の生涯、敬神の一石―五十年日参した俳人・杉田直)／「祖国日向」の精神(アジア全土の炬とならん―満洲に散った山田悌一を偲ぶ、夢野久作の「友人」・菊池秋四郎、米良の桜―平泉澄博士と菊池武夫男爵)／神武天皇の「二千六百年」(紀元二千六百年奉祝事業の先駆者―君島清吉の政治思想と功績、北原白秋と八紘之基柱、幻の壁画「海ゆかば」―中山正實画伯の鎮魂)／戦争悲話(二・二六事件と渋谷三郎、戦争の記録―宮崎神宮に参拝した特攻隊員・山本薫中將、秋月左都夫と吉田茂の終戦工作)

◆お詫びと訂正

前々号136掲載「大阪歴史懇談会会報」記事中の執筆者名に誤りがありました。お詫びして訂正します。

50頁右 21行 誤「和久敦也」 正「加藤照也」

◆後記

筑摩書房のPR誌『ちくま』の本年新年号から、経済学者 猪木武徳氏の「地霊を訪ねる」と題する連載が始まった。同氏は〈旅も「学校」〉と考えるほどの旅好きで、現役を半ば退いてからも10年余り、若い研究者を誘い、年来の関心事である近代工業化の担い手であった鉱業の操業地跡と近隣の史跡、そして温泉を巡る四季折々の旅を続けている。連載第1回は、伊那谷から中山道を巡るもので、多治見から飯田に入り、女性勤王家 松尾多勢子、英文学者 日夏耿之介、民俗学者 柳田國男の足跡を訪ね、鹿塩温泉に浸かり、阿智の満蒙開拓記念館、平田篤胤ら国学四大人を祀った本学霊社、天狗党の跡を追って木曾の妻籠、馬籠へ出て、藤村の「夜明け前」に思いをはせる。このエッセイで同氏は、評論家・翻訳家の福田恒存が日夏耿之介記念館を訪ねた折、飯田線で乗り合わせた老婆について綴った文章を紹介している。老婆は「窓を開けたいと思うが、迷惑でないか」と福田に問うた。恐らく学歴も読書習慣もないであろう老婆の、見慣れぬ者に対して距離を保って自分を位置付ける鄭重な物言いに驚き、福田はこれが教養というもののだと感じとる。改めて福田の文章(「教養について」)を読むと、エリオットの言葉を引き、「文化とは生きかたである」とあった。「地霊の声(Erdgeist)の聴きながら大都會では味わえない思想や芸術の空気を吸うことができるのではないか」というこの旅と滋味深い文章。旅はこの後、恵那に泊まり、杉原千畝記念館から大井ダム湖の発電所へと続く。次回が待ち遠しい。

(飯澤)

地方史情報 138 2019年(平成31年)4月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757